

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning A						
担当教員	柏本 吉章						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 使用するコンピュータソフトはTOEICの傾向と対策を目的としたものだが、英語の総合力アップを目指したものなので、英語力養成に必要な知識が身につく。 (2) 毎回の単語テストをすることによって、TOEIC 600点に必要なとされる語彙力がつく。						
授業計画	<p>新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト</p> <p>第1回 単語を見極める (1) 第2回 単語を見極める (2) 第3回 単語を見極める (3) 第4回 品詞を見極める (1) 第5回 品詞を見極める (2) 第6回 品詞を見極める (3) 第7回 品詞を見極める (4) 第8回 接続詞と前置詞 (1) 第9回 接続詞と前置詞 (2) 第10回 接続詞と前置詞 (3) 第11回 接続詞と前置詞 (4) 第12回 動詞の形 (1) 第13回 動詞の形 (2) 第14回 動詞の形 (3) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験</p> <p>『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』について</p> <p>第1回 語彙Unit 1 単語 (happen~disappear) の解説と例文 第2回 語彙Unit 2 単語 (consider~subject) の解説と例文 第3回 語彙Unit 3 単語 (complete~attorney) の解説と例文 第4回 語彙Unit 4 単語 (likely~stuff) の解説と例文 第5回 語彙Unit 5 単語 (executive~quantity) の解説と例文 第6回 語彙Unit 6 単語 (damage~favorite) の解説と例文 第7回 語彙Unit 7 単語 (grade~opinion) の解説と例文 第8回 語彙Unit 8 単語 (suspect~reduce) の解説と例文 第9回 語彙Unit 9 単語 (flat~reply) の解説と例文 第10回 語彙Unit 10 単語 (available~grind) の解説と例文 第11回 語彙Unit 11 単語 (sales~joint) の解説と例文 第12回 語彙Unit 12 単語 (sue~ruin) の解説と例文</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚えてくること。 事後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。外国語の学習では反復練習が最も効果的で、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた実習						
評価基準と評価方法	試験 (65%)、小テスト (30%)、ノート作成 (5%) をもとに最終評価を算出する。						
教科書	<p>白野伊津夫、Lisa A. Stefani 著 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』 語研 ISBN4-87615-125-3 C0082</p> <p>『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』 木村哲夫、John Heissian、ヘシャン田中ゆき子著 マクミラン ランゲージハウス ISBN978-4-7773-6253-0 C3082</p>						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning A						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 使用するコンピュータソフトはTOEICの傾向と対策を目的としたものだが、英語の総合力アップを目指したものなので、英語力養成に必要な知識が身につく。 (2) 毎回の単語テストをすることによって、TOEIC 600点に必要とされる語彙力がつく。						
授業計画	<p>新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト</p> <p>第1回 単語を見極める (1) 第2回 単語を見極める (2) 第3回 単語を見極める (3) 第4回 品詞を見極める (1) 第5回 品詞を見極める (2) 第6回 品詞を見極める (3) 第7回 品詞を見極める (4) 第8回 接続詞と前置詞 (1) 第9回 接続詞と前置詞 (2) 第10回 接続詞と前置詞 (3) 第11回 接続詞と前置詞 (4) 第12回 動詞の形 (1) 第13回 動詞の形 (2) 第14回 動詞の形 (3) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験</p> <p>『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』について</p> <p>第1回 語彙Unit 1 単語 (happen~disappear) の解説と例文 第2回 語彙Unit 2 単語 (consider~subject) の解説と例文 第3回 語彙Unit 3 単語 (complete~attorney) の解説と例文 第4回 語彙Unit 4 単語 (likely~stuff) の解説と例文 第5回 語彙Unit 5 単語 (executive~quantity) の解説と例文 第6回 語彙Unit 6 単語 (damage~favorite) の解説と例文 第7回 語彙Unit 7 単語 (grade~opinion) の解説と例文 第8回 語彙Unit 8 単語 (suspect~reduce) の解説と例文 第9回 語彙Unit 9 単語 (flat~reply) の解説と例文 第10回 語彙Unit 10 単語 (available~grind) の解説と例文 第11回 語彙Unit 11 単語 (sales~joint) の解説と例文 第12回 語彙Unit 12 単語 (sue~ruin) の解説と例文</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚えてくること。 事後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。外国語の学習では反復練習が最も効果的で、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた実習						
評価基準と評価方法	試験 (65%)、小テスト (30%)、ノート作成 (5%) をもとに最終評価を算出する。						
教科書	白野伊津夫、Lisa A. Stefani 著 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』語研 ISBN4-87615-125-3 C0082						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning A						
担当教員	橋本 貴						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 使用するコンピュータソフトはTOEICの傾向と対策を目的としたものだが、英語の総合力アップを目指したものなので、英語力養成に必要な知識が身につく。 (2) 毎回の単語テストをすることによって、TOEIC 600点に必要なとされる語彙力がつく。						
授業計画	<p>新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト</p> <p>第1回 単語を見極める (1) 第2回 単語を見極める (2) 第3回 単語を見極める (3) 第4回 品詞を見極める (1) 第5回 品詞を見極める (2) 第6回 品詞を見極める (3) 第7回 品詞を見極める (4) 第8回 接続詞と前置詞 (1) 第9回 接続詞と前置詞 (2) 第10回 接続詞と前置詞 (3) 第11回 接続詞と前置詞 (4) 第12回 動詞の形 (1) 第13回 動詞の形 (2) 第14回 動詞の形 (3) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験</p> <p>『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』について</p> <p>第1回 語彙Unit 1 単語 (happen~disappear) の解説と例文 第2回 語彙Unit 2 単語 (consider~subject) の解説と例文 第3回 語彙Unit 3 単語 (complete~attorney) の解説と例文 第4回 語彙Unit 4 単語 (likely~stuff) の解説と例文 第5回 語彙Unit 5 単語 (executive~quantity) の解説と例文 第6回 語彙Unit 6 単語 (damage~favorite) の解説と例文 第7回 語彙Unit 7 単語 (grade~opinion) の解説と例文 第8回 語彙Unit 8 単語 (suspect~reduce) の解説と例文 第9回 語彙Unit 9 単語 (flat~reply) の解説と例文 第10回 語彙Unit 10 単語 (available~grind) の解説と例文 第11回 語彙Unit 11 単語 (sales~joint) の解説と例文 第12回 語彙Unit 12 単語 (sue~ruin) の解説と例文</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚えてくること。 事後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。外国語の学習では反復練習が最も効果的で、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた実習						
評価基準と評価方法	試験 (65%)、小テスト (30%)、ノート作成 (5%) をもとに最終評価を算出する。						
教科書	<p>白野伊津夫、Lisa A. Stefani 著 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』語研 ISBN4-87615-125-3 C0082</p> <p>『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』 木村哲夫、John Heissian、ヘシャン田中ゆき子著 マクミラン ランゲージハウス ISBN978-4-7773-6253-0 C3082</p>						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 使用するコンピュータソフトはTOEICの傾向と対策を目的としたものだが、英語の総合力アップを目指したものなので、英語力養成に必要な知識が身につく。 (2) 毎回の単語テストをすることによって、TOEIC 600点に必要とされる語彙力がつく。						
授業計画	<p>新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト</p> <p>第1回 よく出る文法構文問題 (1) 第2回 よく出る文法構文問題 (2) 第3回 出る順 語彙(ビジネス) (1) 第4回 出る順 語彙(ビジネス) (2) 第5回 出る順 語彙(ビジネス) (3) 第6回 出る順 語彙(ビジネス) (4) 第7回 出る順 語彙(生活・一般) (1) 第8回 出る順 語彙(生活・一般) (2) 第9回 出る順 語彙(生活・一般) (3) 第10回 出る順 語彙(生活・一般) (4) 第10回 出る順 語彙(生活・一般) (4) 第11回 ビジネス編 (1) マネジメント 第12回 ビジネス編 (2) 経済・金融・ 第13回 ビジネス編 (3) 商品開発・プロジェクト 第14回 ビジネス編 (4) 人事・労働問題 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験</p> <p>『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』について</p> <p>第1回 語彙Unit 13 単語 (pile~confirm) の解説と例文 第2回 語彙Unit 14 単語 (annual~rough) の解説と例文 第3回 語彙Unit 15 単語 (household~aspect) の解説と例文 第4回 語彙Unit 16 単語 (decorate~proof) の解説と例文 第5回 語彙Unit 17 単語 (split~defendant) の解説と例文 第6回 語彙Unit 18 単語 (confident~snap) の解説と例文 第7回 語彙Unit 19 単語 (innocent~generate) の解説と例文 第8回 語彙Unit 20 単語 (starve~cheat) の解説と例文 第9回 語彙Unit 21 単語 (grave~award) の解説と例文 第10回 語彙Unit 22 単語 (tease~formulate) の解説と例文 第11回 語彙Unit 23 単語 (alert~feminine) の解説と例文 第12回 語彙Unit 24 単語 (faint~retain) の解説と例文</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚えてくること。 事後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。外国語の学習では反復練習が最も効果的で、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた実習						
評価基準と評価方法	TOEIC (60%)、試験 (15%)、小テスト (20%)、ノート作成 (5%) をもとに最終評価を算出する。 単位認定のためには、1. TOEICの成績=400点以上、2. 小テストの成績=40%以上の両条件を満たしていることが必須となる。						
教科書	<p>白野伊津夫、Lisa A. Stefani 著 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』語研 ISBN4-87615-125-3 C0082</p> <p>『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』 木村哲夫、John Heissian、ヘシヤン田中ゆき子著 マクミラン ランゲージハウス ISBN978-4-7773-6253-0 C3082</p>						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B						
担当教員	橋本 貴						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 使用するコンピュータソフトはTOEICの傾向と対策を目的としたものだが、英語の総合力アップを目指したものなので、英語力養成に必要な知識が身につく。 (2) 毎回の単語テストをすることによって、TOEIC 600点に必要とされる語彙力がつく。						
授業計画	<p>新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト</p> <p>第1回 よく出る文法構文問題 (1) 第2回 よく出る文法構文問題 (2) 第3回 出る順 語彙(ビジネス) (1) 第4回 出る順 語彙(ビジネス) (2) 第5回 出る順 語彙(ビジネス) (3) 第6回 出る順 語彙(ビジネス) (4) 第7回 出る順 語彙(生活・一般) (1) 第8回 出る順 語彙(生活・一般) (2) 第9回 出る順 語彙(生活・一般) (3) 第10回 出る順 語彙(生活・一般) (4) 第10回 出る順 語彙(生活・一般) (4) 第11回 ビジネス編 (1) マネジメント 第12回 ビジネス編 (2) 経済・金融・ 第13回 ビジネス編 (3) 商品開発・プロジェクト 第14回 ビジネス編 (4) 人事・労働問題 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験</p> <p>『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』について</p> <p>第1回 語彙Unit 13 単語 (pile~confirm) の解説と例文 第2回 語彙Unit 14 単語 (annual~rough) の解説と例文 第3回 語彙Unit 15 単語 (household~aspect) の解説と例文 第4回 語彙Unit 16 単語 (decorate~proof) の解説と例文 第5回 語彙Unit 17 単語 (split~defendant) の解説と例文 第6回 語彙Unit 18 単語 (confident~snap) の解説と例文 第7回 語彙Unit 19 単語 (innocent~generate) の解説と例文 第8回 語彙Unit 20 単語 (starve~cheat) の解説と例文 第9回 語彙Unit 21 単語 (grave~award) の解説と例文 第10回 語彙Unit 22 単語 (tease~formulate) の解説と例文 第11回 語彙Unit 23 単語 (alert~feminine) の解説と例文 第12回 語彙Unit 24 単語 (faint~retain) の解説と例文</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚えてくること。 事後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。外国語の学習では反復練習が最も効果的で、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた実習						
評価基準と評価方法	TOEIC (60%)、試験 (15%)、小テスト (20%)、ノート作成 (5%) をもとに最終評価を算出する。 単位認定のためには、1. TOEICの成績=400点以上、2. 小テストの成績=40%以上の両条件を満たしていることが必須となる。						
教科書	<p>白野伊津夫、Lisa A. Stefani 著 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』語研 ISBN4-87615-125-3 C0082</p> <p>『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』 木村哲夫、John Heissian、ヘシヤン田中ゆき子著 マクミラン ランゲージハウス ISBN978-4-7773-6253-0 C3082</p>						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	予備登録						
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	予備登録						
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	予備登録						
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	予備登録						
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	M. Benton						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English conversation						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades. As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.						
教科書	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407373</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407298</p>						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	M. Benton						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English conversation						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades. As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.						
教科書	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407373</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407298</p>						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	M. Benton						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English conversation						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades. As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.						
教科書	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407373</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407298</p>						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	M. Benton						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English conversation						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades. As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.						
教科書	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407373</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407298</p>						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	J. Brooks						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English conversation						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades. As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.						
教科書	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407373</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407298</p>						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	J. Brooks						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English conversation						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades. As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.						
教科書	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407373</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407298</p>						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	J. Brooks						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English conversation						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades. As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.						
教科書	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407373</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407298</p>						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	D. Chatham						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English conversation						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Making comparisons 2. Talking about clothing 3. Describing people 4. Talking about appearance and personality 5. Talking about cities and making suggestions 6. Talking about local attractions 7. Review session 8. Talking about places 9. More talk about places 10. Talking about vacations 11. More talk about vacations 12. Talking about future plans 13. Talking about careers and schools 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades. As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.						
教科書	<p>Wilson, Ken. Smart Choice 1. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407373</p> <p>Wilson, Ken. Smart Choice 1 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978-0-19-4407298</p>						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	A. J. Silva						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English conversation						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. The themes or activities and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Course Introduction & Classroom Language 2. Introductions 3. Food 4. Work 5. Experiences 6. Evaluations 7. Review Unit 1 8. Family 9. Personality 10. Beliefs 11. Hobbies 12. Evaluations 13. Revision and Listening Test 14. Student Interviews 15. Course Overview and Conclusion <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades. As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.						
教科書	Sullivan, Kristen & Todd Beukens: Impact Conversation 2 (Student book with CD). Hong Kong: Pearson Longman Asia ELT, 2009. ISBN 978-962-01-9934-9						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	A. J. Silva						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English conversation						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. The themes or activities and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Course Introduction & Classroom Language 2. Introductions 3. Food 4. Work 5. Experiences 6. Evaluations 7. Review Unit 1 8. Family 9. Personality 10. Beliefs 11. Hobbies 12. Evaluations 13. Revision and Listening Test 14. Student Interviews 15. Course Overview and Conclusion <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades. As this class is being taught by several different teachers, individual classes will have different emphases and will vary in the exact mode of evaluation.						
教科書	Sullivan, Kristen & Todd Beukens: Impact Conversation 2 (Student book with CD). Hong Kong: Pearson Longman Asia ELT, 2009. ISBN 978-962-01-9934-9						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	R. Saint-Pierre						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Natural Idiomatic English Conversation						
授業の概要	<p>Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression ; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.</p> <p>The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.</p> <p>The class syllabus will follow the units in the textbook.</p>						
到達目標	To give students practice listening and speaking natural idiomatic English Conversation						
授業計画	<p>The themes or activities and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Course Introduction & Classroom language 2. Home 3. Fashion 4. Travel 5. Conversation Creation Day 1 6. Health 7. Personality 8. Relationships 9. Conversation Creation Day 2 10. Memories 11. Inspiration 12. Review Unit 2 13. Conversation Creation Day 3 14. Student Interviews 15. Revision and listening test <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades.						
教科書	Sullivan, Kristen & Todd Beukens: Impact Conversation 2 (Student book with CD). Hong Kong: Pearson Longman Asia ELT, 2009. ISBN 978-962-01-9934-9						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	R. Saint-Pierre						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Natural Idiomatic English Conversation						
授業の概要	<p>Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression ; pronunciation and listening practice; reading and talk based on reading topics; entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.</p> <p>The overall objective is to develop students' comfort in speaking English and improving their fluency.</p>						
到達目標	To give students practice listening and speaking natural idiomatic English Conversation.						
授業計画	<p>The themes or activities and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Course Introduction & Classroom language 2. Home 3. Fashion 4. Travel 5. Conversation Creation Day 1 6. Health 7. Personality 8. Relationships 9. Conversation Creation Day 2 10. Memories 11. Inspiration 12. Review Unit 2 13. Conversation Creation Day 3 14. Student Interviews 15. Revision and listening test <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on conversational ability for 60% and listening ability for 40% of their grades.						
教科書	Sullivan, Kristen & Todd Beukens: Impact Conversation 2 (Student book with CD). Hong Kong: Pearson Longman Asia ELT, 2009. ISBN 978-962-01-9934-9						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	予備登録						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	柏本 吉章						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力の養成						
授業の概要	授業クラスは、入学時に実施される英語の統一試験の成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用いて、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をもおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力を身につけること (2) 語学的な知識だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を身につけること						
授業計画	第1回 授業の紹介とLesson 1 Parties (前半) 第2回 Lesson 1 Parties (後半) 第3回 Lesson 2 Payment on Date (前半) 第4回 Lesson 2 Payment on Date (後半) 第5回 Lesson 3 Laughter 第6回 Lesson 4 Traditional Cures 第7回 Lesson 5 Back Injuries 第8回 Lesson 1~5のまとめと復習 第9回 Lesson 6 Bookcrossing 第10回 Lesson 7 Blood Transfusion 第11回 Lesson 8 Dog Blood Donor 第12回 Lesson 9 Bermuda Triangle 第13回 Lesson 10 Easter Island 第14回 Lesson 6~10のまとめと復習 第15回 質疑応答と試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力を磨きと英語に対する感覚を養う。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法である。授業で習った重要な構文、表現、単語を復習することで、大きな力と自信を身につけてほしい。						
授業方法	講義(講読)						
評価基準と評価方法	定期試験70% 平常点30%						
教科書	Reading Expert 1 宍戸真 Kia Nordyke著 成美堂 ISBN978-4-7919-1084-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成する。						
授業の概要	Power Reading IAは、英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成することを目的とする。授業クラスは、入学時に実施される英語の統一試験の成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用い、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明もおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 Lesson 1 Men Are From Mars, Women Are From Venus - Reading 第2回 Lesson 1 Men Are From Mars, Women Are From Venus - Exercises 第3回 Lesson 2 Chocolate - Reading 第4回 Lesson 2 Chocolate - Exercises 第5回 Lesson 3 Product Placement - Reading 第6回 Lesson 3 Product Placement - Exercises 第7回 Lesson 1~3の質問と試験 第8回 Lesson 6 Blogs - Reading 第9回 Lesson 6 Blogs - Exercises 第10回 Lesson 7 Placebo Effect - Reading 第11回 Lesson 7 Placebo Effect - Exercises 第12回 Lesson 9 The Amazon - Reading 第13回 Lesson 9 The Amazon - Exercises 第14回 Lesson 10 Space Junk - Reading 第15回 Lesson 6, 7, 9, 10の質問と試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業外における学習 授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力と英語に対する感覚が身に付く。授業には必ず予習して出席すること。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法だ。授業で習った重要な構文、表現、単語を、たとえわずかな時間であっても復習すれば、大きな力と自信が身につく。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	定期試験(2回)70%、平常点(小テスト、課題)30%						
教科書	Reading Expert 2 宍戸真 Bruce Allen著 成美堂 ISBN978-4-7919-3113-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	白川 計子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力の養成						
授業の概要	授業クラスは、入学時に実施される英語の統一試験の成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用いて、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をもおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力を身につけること (2) 語学的な知識だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を身につけること						
授業計画	第1回 授業の紹介とLesson 1 Parties (前半) 第2回 Lesson 1 Parties (後半) 第3回 Lesson 2 Payment on Date (前半) 第4回 Lesson 2 Payment on Date (後半) 第5回 Lesson 3 Laughter 第6回 Lesson 4 Traditional Cures 第7回 Lesson 5 Back Injuries 第8回 Lesson 1~5のまとめと復習 第9回 Lesson 6 Bookcrossing 第10回 Lesson 7 Blood Transfusion 第11回 Lesson 8 Dog Blood Donor 第12回 Lesson 9 Bermuda Triangle 第13回 Lesson 10 Easter Island 第14回 Lesson 6~10のまとめと復習 第15回 質疑応答と試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力を磨きと英語に対する感覚を養う。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法である。授業で習った重要な構文、表現、単語を復習することで、大きな力と自信を身につけてほしい。						
授業方法	講義(講読)						
評価基準と評価方法	定期試験70% 平常点30%						
教科書	Reading Expert 1 宍戸真 Kia Nordyke著 成美堂 ISBN978-4-7919-1084-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	橋本 貴						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成する。						
授業の概要	Power Reading IAは、英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成することを目的とする。授業クラスは、入学時に実施される英語の統一試験の成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用い、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明もおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 ガイダンス PART 1 MARIEANTOINETTEOFVERSAILLES (ヴェルサイユのマリー・アントワネット) 第2回 MARIEANTOINETTEOFVERSAILLES (ヴェルサイユのマリー・アントワネット) PART2 第3回 文法確認 1 比較級、部分否定 第4回 TRAGEDYINTHESWISSALPS (スイス・アルプスの悲劇) PART 1 第5回 TRAGEDYINTHESWISSALPS (スイス・アルプスの悲劇) PART2 第6回 文法確認 2 時制の一致、同等比較 第7回 THEHIDDENGOLDOFTHEINCAS (インカ帝国の秘宝) PART 1 第8回 THEHIDDENGOLDOFTHEINCAS (インカ帝国の秘宝) PART2 第9回 文法確認 3 be going to、不定代名詞 第10回 TITUSANDTHELION (ライオンの恩返し) PART 1 第11回 TITUSANDTHELION (ライオンの恩返し) PART2 第12回 文法確認 4 関係代名詞、態 第13回 THELEGENDOFATLANTIS (アトランティス伝説) PART 1 第14回 THELEGENDOFATLANTIS (アトランティス伝説) PART2 第15回 文法確認 5 Tereis文型、強調構文、前期定期試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業時間内に3～5名程度発表を行ってもらうが、それ以外の人にも事前にテキストを一読しておくこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	定期試験(1回)70%、授業への参加度(小テスト、課題発表)30%						
教科書	『Tell Me A Story』(Brian Powle, 南雲堂, 2007年)						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	■ともかく英語をどんどん読む■						
授業の概要	この授業では、細かな文法はできるだけ扱わず、ともかく英語をどんどん読み進める技術を身につけることを第一目標にします。もちろん、文法的に分からない箇所があれば、リクエストをしてくれれば細かく説明をします。授業は1回に1課を終える予定です。						
到達目標	細かな文法にとらわれず、ともかく少しでもずんずんと英文が読めるようになること。						
授業計画	第1回 イントロ [授業説明・教科書紹介] 第2回 Lesson 1: Pet Boom 第3回 Lesson 2: Endangered Animals 第4回 Lesson 3: Alien Species 第5回 Lesson 4: Popular Breeds of Dogs 第6回 Lesson 5: The Whaling Debate / 試験範囲・内容発表 第7回 ここまでの復習 第8回 質疑応答・中間試験 第9回 Lesson 6: Pampered Pets 第10回 Lesson 7: Artificial Pets 第11回 Lesson 8: The Role of Zoos 第12回 Lesson 9: Animal-Assisted Therapy 第13回 Lesson 10: Animal Phobias / 試験範囲・内容発表 第14回 ここまでの復習 第15回 質疑応答・期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	必ず予習をしてきて下さい。授業開始後すぐに手が挙げられるような態勢にないと、とてもCPポイントは取ることができません。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	■試験(中間+期末)×50%、CPポイント(授業中に松田の質問に自発的に手を挙げて正答した回数に対する評価)×50% ■出席は取りません。ただしCPポイントが取れないと単位は絶望的です。						
教科書	Lynch, Jonathan/委文光太郎著 Animal Sense (三修社, ISBN=978-4-384-33412-8)						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	予備登録						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力の養成						
授業の概要	習熟度別クラス編成のもと、習熟度に応じた教科書を使用し、単語、イディオム、構文のような語法に関することのみならず、文化と社会を含む周辺の知識についても解説をおこない、英語の総合的読解力の向上を目指す。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力が身につけること (2) 語学的な知識だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を身につけること						
授業計画	第1回 Lesson 11 Greek Food 第2回 Lesson 12 A Food Stylist 第3回 Lesson 13 Banknotes 第4回 Lesson 14 World Bank 第5回 Lesson 15 Asimo 第6回 Lesson 16 The Blue Screen Technique 第7回 Lesson 11～16のまとめと復習 第8回 Lesson 21 Maneki Neko 第9回 Lesson 22 Fortune Cookies 第10回 Lesson 23 Liar 第11回 英語のスピーチを読む 第12回 2012Kobe Shoin Speech Contestに出席、宿題：Speech Contestのレポート 第13回 Lesson 24 Colors 第14回 Lesson 21～24のまとめと復習 第15回 質疑応答と試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力を磨き、英語に対する感覚を養う。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法である。授業で習った重要な構文、表現、単語を復習することで、大きな力と自信を身につけてほしい。						
授業方法	講義（講読）						
評価基準と評価方法	定期試験70% 平常点30%						
教科書	Reading Expert 1 宍戸真 Kia Nordyke著 成美堂 ISBN978-4-7919-1084-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成する。						
授業の概要	Power Reading IBは、Power Reading IAと同じように、習熟度別クラス編成の下、クラスに応じた教科書を使用し、英語を単語、イディオム、構文のような語法に関することのみならず、文化と社会を含む百科事典的知識についても解説をおこない、英語の総合的読解力の向上を目指す。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 Lesson 11 ID Theft - Reading 第2回 Lesson 11 ID Theft -Exercises 第3回 Lesson 12 Euthanasia - Reading 第4回 Lesson 12 Euthanasia - Exercises 第5回 Lesson 15 Beauty in the Media - Reading 第6回 Lesson 15 Beauty in the Media - Exercises 第7回 Lesson 11, 12, 15についての質問と試験 第8回 Lesson 18 Aroma Oils - Reading 第9回 Lesson 18 Aroma Oils - Exercises 第10回 Lesson 22 Wine in France - Reading 第11回 Lesson 22 Wine in France - Exercises 第12回 Lesson 23 The Pygmalion Effect - Reading 第13回 Lesson 23 The Pygmalion Effect - Exercises 第14回 Lesson 24 Multinational Business - Reading 第15回 Lesson 18, 22, 23, 24についての質問と試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力と英語に対する感覚が身に付く。授業には必ず予習して出席すること。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法だ。授業で習った重要な構文、表現、単語を、たとえわずかな時間であっても復習すれば、大きな力と自信が身につく。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	定期試験（試験2回）70% 平常点（小テスト、課題）30%						
教科書	Reading Expert 2 央戸真 Bruce Allen著 成美堂 ISBN978-4-7919-3113-2						
参考書	特になし。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	白川 計子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力の養成						
授業の概要	習熟度別クラス編成のもと、習熟度に応じた教科書を使用し、単語、イディオム、構文のような語法に関することのみならず、文化と社会を含む周辺の知識についても解説をおこない、英語の総合的読解力の向上を目指す。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力が身につけること (2) 語学的な知識だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を身につけること						
授業計画	第1回 Lesson 11 Greek Food 第2回 Lesson 12 A Food Stylist 第3回 Lesson 13 Banknotes 第4回 Lesson 14 World Bank 第5回 Lesson 15 Asimo 第6回 Lesson 16 The Blue Screen Technique 第7回 Lesson 11～16のまとめと復習 第8回 Lesson 21 Maneki Neko 第9回 Lesson 22 Fortune Cookies 第10回 Lesson 23 Liar 第11回 英語のスピーチを読む 第12回 2012Kobe Shoin Speech Contestに出席、宿題：Speech Contestのレポート 第13回 Lesson 24 Colors 第14回 Lesson 21～24のまとめと復習 第15回 質疑応答と試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力を磨き、英語に対する感覚を養う。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法である。授業で習った重要な構文、表現、単語を復習することで、大きな力と自信を身につけてほしい。						
授業方法	講義（講読）						
評価基準と評価方法	定期試験70% 平常点30%						
教科書	Reading Expert 1 宍戸真 Kia Nordyke著 成美堂 ISBN978-4-7919-1084-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	橋本 貴						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成する。						
授業の概要	Power Reading IBは、英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成することを目的とする。授業クラスは、入学時に実施される英語の統一試験の成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用い、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明もおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 THECURSEOFUTANKHAMEN (ツタンカーメンの呪い) PART 1 第2回 THECURSEOFUTANKHAMEN (ツタンカーメンの呪い) PART2 第3回 文法確認6 基本時制と進行形、動名詞 第4回 THEMOONSAVEAMAN' SLIFE (月に救われた男) PART 1 第5回 THEMOONSAVEAMAN' SLIFE (月に救われた男) PART2 第6回 文法確認7 語法、不定詞 第7回 CARDSSAVEDAKING' SLIFE (トランプで命びろい) PART 1 第8回 CARDSSAVEDAKING' SLIFE (トランプで命びろい) PART2 第9回 文法確認8 分詞、5文型 第10回 THEPIRATE' STREASURE (海賊の宝物) PART 1 第11回 THEPIRATE' STREASURE (海賊の宝物) PART2 第12回 文法確認9 V+0+?ing文型、間接疑問詞 第13回 THENEW EARTHQUAKEPREDICTION (新しい地震予知法) PART 1 第14回 THENEW EARTHQUAKEPREDICTION (新しい地震予知法) PART2 第15回 文法事項総まとめ、後期定期試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業時間内に3～5名程度発表を行ってもらうが、それ以外の人も事前にテキストを一読しておくこと。						
授業方法	講義、購読発表、質疑						
評価基準と評価方法	定期試験(1回)70%、授業への参加度(小テスト、課題発表、質疑応答)30%						
教科書	『Tell Me A Story』(Brian Powle, 南雲堂, 2007年)						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	■ともかく英語をどんどん読む■						
授業の概要	この授業では、細かな文法はできるだけ扱わず、ともかく英語をどんどん読み進める技術を身につけることを第一目標にします。もちろん、文法的に分からない箇所があれば、リクエストをしてくれれば細かく説明をします。授業は1回に1課を終える予定です。						
到達目標	細かな文法にとらわれずに、すこしでもずんずんと英語が読めるようになること。						
授業計画	第1回 イントロ [授業説明・教科書紹介] 第2回 Lesson 1: The Miracle on the Hudson 第3回 Lesson 2: Down with Selfishness 第4回 Lesson 3: Students and Cell Phones 第5回 Lesson 4: Garmarjobat 第6回 Lesson 5: Lay Judge System / 試験範囲・内容発表 第7回 ここまでの復習 第8回 質疑応答・中間試験 第9回 Lesson 6: The Knight of Sudan 第10回 Lesson 7: America's Game? 第11回 Lesson 8: The Road to the Presidency 第12回 Lesson 9: The Jazz Funeral 第13回 Lesson 10: Kenichiro Mogi / 試験範囲・内容発表 第14回 ここまでの復習 第15回 質疑応答・期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	必ず予習をして下さい。予習をしないとともCPポイントを取ることは出来ません。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	■試験(中間+期末)×50%、CPポイント(授業中に松田の質問に自発的に手を挙げて正答した回数に対する評価)×50% ■出席は取りません。ただしCPポイントが取れないと単位は絶望的です。						
教科書	松尾秀樹(他)著 Reading Crystalline(三修社, ISBN=978-4-384-33402-9C1082)						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIA						
担当教員	柏本 吉章						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英語読解力の向上：身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く						
授業の概要	さまざまな場面で人々の関心を呼んでいる話題について書かれたテキストを用いて、英文をすばやく正確に読む訓練をします。語、イディオム、構文のようなことばの理解だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識を得ることで、英文を正確に読み、的確に把握する力を養成します。また、TOEIC対策に役立つ語彙力の強化も目指します。						
到達目標	効率的でかつ正確なリーディングのための基本的技術や語彙力が身につくこと						
授業計画	第1回 授業オリエンテーション：Readingの技術、Readingの視点 第2回 1. Never Give up (前半) 第3回 1. Never Give up (後半) 第4回 2. Communicating with Your Cell Phone (前半) 第5回 2. Communicating with Your Cell Phone (後半) 第6回 3. Different Culture, Different superstitions (前半) 第7回 3. Different Culture, Different superstitions (後半) 第8回 1～3のまとめと復習、中間試験 第9回 4. The Story of Amazing Grace (前半) 第10回 4. The Story of Amazing Grace (後半) 第11回 5. Communicating with People You Don' t Like (前半) 第12回 5. Communicating with People You Don' t Like (後半) 第13回 6. A Story of Eternal Love (前半) 第14回 6. A Story of Eternal Love (後半) 第15回 4～6のまとめと復習、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	指示された部分の語彙の意味調べや練習問題など、授業前の十分な予習を前提とします。						
授業方法	講読と問題演習						
評価基準と評価方法	中間試験と期末試験70%、平常点30%						
教科書	Joan McConnell & Shuichi Takeda、『Speed Reading with the TOEIC Vocabulary』（成美堂） ISBN4-7919-1033-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIA						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成する。						
授業の概要	2年次のPower Reading II Aは、1年次のPower Reading I A, Bに引き続き、同じ方針の下、英語の読解力のさらなる向上を目指す授業である。繰り返しになるが方針は、語、イディオム、構文のような言葉の説明だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明もおこなうことによって、英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成する。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 Lesson 1 Energy Drinks - Reading 第2回 Lesson 1 Energy Drinks - Exercises 第3回 Lesson 4 Endocrine Disruptors - Reading 第4回 Lesson 4 Endocrine Disruptors - Exercises 第5回 Lesson 7 Undercover Marketing - Reading 第6回 Lesson 7 Undercover Marketing - Exercises 第7回 Lesson 1, 4, 7についての質問と試験 第8回 Lesson 8 Temperature - Reading 第9回 Lesson 8 Temperature - Exercises 第10回 Lesson 14 The Bandwagon Effect - Reading 第11回 Lesson 14 The Bandwagon Effect - Exercises 第12回 Lesson 17 Panopticism - Reading 第13回 Lesson 17 Panopticism - Exercises 第14回 Lesson 19 Hypnosis - Reading 第15回 Lesson 8, 14, 17, 19についての質問と試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力と英語に対する感覚が身に付く。授業には必ず予習して出席すること。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法だ。授業で習った重要な構文、表現、単語を、たとえわずかな時間であっても復習すれば、大きな力と自信が身につく。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	定期試験(2回)70%、平常点(小テスト、課題)30%						
教科書	Reading Expert 3 宍戸真、小野倫寛、横山悟 Bruce Allen著 成美堂 ISBN978-4-7919-3082-1						
参考書	特になし。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIA						
担当教員	白川 計子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	リーディングを楽しむ						
授業の概要	英文を楽しく読む体験をする。英語の読解力の向上を目指す。特に、語彙力、内容の推測力を鍛え、訳読に頼らず内容把握できることを目指す。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 On About A Boy 第3回 Unit 1 第4回 Unit 2 第5回 Unit 3 第6回 Unit 4 第7回 Unit 5 第8回 Midterm Exam (Idioms and Vocabularies) 第9回 Unit 6 第10回 Unit 7 第11回 Unit 8 第12回 Unit 9 第13回 Unit 10 第14回 Review and Pre-exam 第15回 Review and Final Exam						
授業外における学習(準備学習の内容)	テキストの予習						
授業方法	リーディングと講義						
評価基準と評価方法	平常点50%、試験50%						
教科書	「アバウト・ア・ボーイ」神谷久美子他編、松柏社 ISBN978-4-88198-643-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIB						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英語読解力の向上：身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く						
授業の概要	さまざまな場面で人々の関心を呼んでいる話題について書かれたテキストを用いて、英文をすばやく正確に読む訓練をします。語、イディオム、構文のようなことばに関する説明だけでなく、文化を含む百科事典的知識についても解説を行い、英語の総合的読解力の向上を目指します。あわせてTOEIC対策に役立つ語彙力の強化も目指します。						
到達目標	効率的でかつ正確なリーディングのための基本的技術や語彙力が身につくこと						
授業計画	第1回 8. Words That Change Your Life (前半) 第2回 8. Words That Change Your Life (後半) 第3回 9. Everybody Needs a Friend (前半) 第4回 9. Everybody Needs a Friend (後半) 第5回 10. Colors and Culture (前半) 第6回 10. Colors and Culture (後半) 第7回 11. Communicating with People You Like (前半) 第8回 11. Communicating with People You Like (後半) 第9回 8～11のまとめと復習、中間試験 第10回 13. A Song of Peace (前半) 第11回 13. A Song of Peace (後半) 第12回 14. Don't Be a Shrinking Violet! Don't Be Shy! (前半) 第13回 14. Don't Be a Shrinking Violet! Don't Be Shy! (後半) 第14回 15. The Power of Love 第15回 13～15のまとめと復習、期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	指示された部分の語彙の意味調べや練習問題など、授業前の十分な予習を前提とします。						
授業方法	講読と問題演習						
評価基準と評価方法	中間試験と期末試験70%、平常点30%						
教科書	Joan McConnell & Shuichi Takeda、『Speed Reading with the TOEIC Vocabulary』(成美堂) ISBN4-7919-1033-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIB						
担当教員	白川 計子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	リーディングを楽しむ						
授業の概要	英文を楽しく読む体験をする。英語の読解力の向上を目指す。特に、語彙力、内容の推測力を鍛え、訳読に頼らず内容把握できることを目指す。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 On Notting Hill 第3回 Unit 1 第4回 Unit 2 第5回 Unit 3 第6回 Unit 4 第7回 Unit 5 第8回 Midterm Exam (Idioms and Vocabularies) 第9回 Unit 6 第10回 Unit 7 第11回 Unit 8 第12回 Unit 9 第13回 Unit 10 第14回 Review and Pre-exam 第15回 Review and Final Exam						
授業外における学習(準備学習の内容)	テキストの予習						
授業方法	リーディングと講義						
評価基準と評価方法	平常点50%、試験50%						
教科書	「ノッティング・ヒルの恋人」 松柏社 (著者) Richard Curtis (編著) 神谷久美子/Kim R. Kanel						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	予備登録						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	予備登録						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	予備登録						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	予備登録						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	J. Angel						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 1a</p> <p>3 Unit 1b: Self-Study</p> <p>4 Unit 2a</p> <p>5 Unit 2b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Units 1 or 2</p> <p>9 Unit 3a</p> <p>10 Unit 3b: Self-Study</p> <p>11 Unit 4a</p> <p>12 Unit 4b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 3 or 4</p> <p>15 Unit 5a</p> <p>16 Unit 5b: Self-Study</p> <p>17 Unit 6a</p> <p>18 Unit 6b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 5 or 6</p> <p>21 Unit 7a</p> <p>22 Unit 7b: Self-Study</p> <p>23 Unit 8a</p> <p>24 Unit 8b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 7 or 8</p> <p>27 Challenge Conversations</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. Note: Power Speaking meets twice a week,</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	J. Angel						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 1a</p> <p>3 Unit 1b: Self-Study</p> <p>4 Unit 2a</p> <p>5 Unit 2b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Units 1 or 2</p> <p>9 Unit 3a</p> <p>10 Unit 3b: Self-Study</p> <p>11 Unit 4a</p> <p>12 Unit 4b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 3 or 4</p> <p>15 Unit 5a</p> <p>16 Unit 5b: Self-Study</p> <p>17 Unit 6a</p> <p>18 Unit 6b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 5 or 6</p> <p>21 Unit 7a</p> <p>22 Unit 7b: Self-Study</p> <p>23 Unit 8a</p> <p>24 Unit 8b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 7 or 8</p> <p>27 Challenge Conversations</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. Note: Power Speaking meets twice a week,</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	J. Angel						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing Students English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving individual students skills in English Communication to as high a level as possible.						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 1a</p> <p>3 Unit 1b: Self-Study</p> <p>4 Unit 2a</p> <p>5 Unit 2b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Units 1 or 2</p> <p>9 Unit 3a</p> <p>10 Unit 3b: Self-Study</p> <p>11 Unit 4a</p> <p>12 Unit 4b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 3 or 4</p> <p>15 Unit 5a</p> <p>16 Unit 5b: Self-Study</p> <p>17 Unit 6a</p> <p>18 Unit 6b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 5 or 6</p> <p>21 Unit 7a</p> <p>22 Unit 7b: Self-Study</p> <p>23 Unit 8a</p> <p>24 Unit 8b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 7 or 8</p> <p>27 Challenge Conversations</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. Note: Power Speaking meets twice a week,</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	D. Boyle						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 1a</p> <p>3 Unit 1b: Self-Study</p> <p>4 Unit 2a</p> <p>5 Unit 2b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Units 1 or 2</p> <p>9 Unit 3a</p> <p>10 Unit 3b: Self-Study</p> <p>11 Unit 4a</p> <p>12 Unit 4b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 3 or 4</p> <p>15 Unit 5a</p> <p>16 Unit 5b: Self-Study</p> <p>17 Unit 6a</p> <p>18 Unit 6b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 5 or 6</p> <p>21 Unit 7a</p> <p>22 Unit 7b: Self-Study</p> <p>23 Unit 8a</p> <p>24 Unit 8b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 7 or 8</p> <p>27 Challenge Conversations</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. Note: Power Speaking meets twice a week,</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	D. Boyle						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing Students English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving individual students skills in English Communication to as high a level as possible.						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 1a</p> <p>3 Unit 1b: Self-Study</p> <p>4 Unit 2a</p> <p>5 Unit 2b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Units 1 or 2</p> <p>9 Unit 3a</p> <p>10 Unit 3b: Self-Study</p> <p>11 Unit 4a</p> <p>12 Unit 4b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 3 or 4</p> <p>15 Unit 5a</p> <p>16 Unit 5b: Self-Study</p> <p>17 Unit 6a</p> <p>18 Unit 6b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 5 or 6</p> <p>21 Unit 7a</p> <p>22 Unit 7b: Self-Study</p> <p>23 Unit 8a</p> <p>24 Unit 8b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 7 or 8</p> <p>27 Challenge Conversations</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. Note: Power Speaking meets twice a week,</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	D. Boyle						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 1a</p> <p>3 Unit 1b: Self-Study</p> <p>4 Unit 2a</p> <p>5 Unit 2b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Units 1 or 2</p> <p>9 Unit 3a</p> <p>10 Unit 3b: Self-Study</p> <p>11 Unit 4a</p> <p>12 Unit 4b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 3 or 4</p> <p>15 Unit 5a</p> <p>16 Unit 5b: Self-Study</p> <p>17 Unit 6a</p> <p>18 Unit 6b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 5 or 6</p> <p>21 Unit 7a</p> <p>22 Unit 7b: Self-Study</p> <p>23 Unit 8a</p> <p>24 Unit 8b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 7 or 8</p> <p>27 Challenge Conversations</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. Note: Power Speaking meets twice a week,</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	D. Boyle						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 1a</p> <p>3 Unit 1b: Self-Study</p> <p>4 Unit 2a</p> <p>5 Unit 2b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Units 1 or 2</p> <p>9 Unit 3a</p> <p>10 Unit 3b: Self-Study</p> <p>11 Unit 4a</p> <p>12 Unit 4b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 3 or 4</p> <p>15 Unit 5a</p> <p>16 Unit 5b: Self-Study</p> <p>17 Unit 6a</p> <p>18 Unit 6b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 5 or 6</p> <p>21 Unit 7a</p> <p>22 Unit 7b: Self-Study</p> <p>23 Unit 8a</p> <p>24 Unit 8b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 7 or 8</p> <p>27 Challenge Conversations</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. Note: Power Speaking meets twice a week,</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	D. Chatham						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 1a</p> <p>3 Unit 1b: Self-Study</p> <p>4 Unit 2a</p> <p>5 Unit 2b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Units 1 or 2</p> <p>9 Unit 3a</p> <p>10 Unit 3b: Self-Study</p> <p>11 Unit 4a</p> <p>12 Unit 4b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 3 or 4</p> <p>15 Unit 5a</p> <p>16 Unit 5b: Self-Study</p> <p>17 Unit 6a</p> <p>18 Unit 6b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 5 or 6</p> <p>21 Unit 7a</p> <p>22 Unit 7b: Self-Study</p> <p>23 Unit 8a</p> <p>24 Unit 8b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 7 or 8</p> <p>27 Challenge Conversations</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. Note: Power Speaking meets twice a week,</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	D. Chatham						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing Students English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving individual students skills in English Communication to as high a level as possible.						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 1a</p> <p>3 Unit 1b: Self-Study</p> <p>4 Unit 2a</p> <p>5 Unit 2b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Units 1 or 2</p> <p>9 Unit 3a</p> <p>10 Unit 3b: Self-Study</p> <p>11 Unit 4a</p> <p>12 Unit 4b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 3 or 4</p> <p>15 Unit 5a</p> <p>16 Unit 5b: Self-Study</p> <p>17 Unit 6a</p> <p>18 Unit 6b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 5 or 6</p> <p>21 Unit 7a</p> <p>22 Unit 7b: Self-Study</p> <p>23 Unit 8a</p> <p>24 Unit 8b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 7 or 8</p> <p>27 Challenge Conversations</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. Note: Power Speaking meets twice a week,</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	E. Dean						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Power Speaking in English						
授業の概要	Learning to express ideas and opinions in English through listening and speaking practice. Everyday topics of interest such as making friends and choosing food will be discussed.						
到達目標	Students will improve their English listening skills and acquire the ability to discuss their ideas and opinions about topics of interest in their daily lives.						
授業計画	Lesson 1 - Course introduction Lessons 2, 3, 4, 5 and 6 - Unit 2: Friendship Lessons 7 - Project 1 (Unit 2) Lessons 8, 9, 10, 11 and 12 - Unit 4: Food Lesson 13 - Project 2 (Unit 4) Lessons 14 and 15 - Unit 6: Home						
授業外における学習(準備学習の内容)	Online practice and project preparation.						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and online practice						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, speaking activities and projects. Class participation: 40 % Assignments: 20% Speaking activities and projects: 40%						
教科書	Q: Skills for Success: Listening and Speaking Intro By Kevin McClure and Mari Vargo Published by OUP Student book: 978-0-19-475646-4 Class Audio: 978-0-19-475645-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	R. K. Mason						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 1a</p> <p>3 Unit 1b: Self-Study</p> <p>4 Unit 2a</p> <p>5 Unit 2b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Units 1 or 2</p> <p>9 Unit 3a</p> <p>10 Unit 3b: Self-Study</p> <p>11 Unit 4a</p> <p>12 Unit 4b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 3 or 4</p> <p>15 Unit 5a</p> <p>16 Unit 5b: Self-Study</p> <p>17 Unit 6a</p> <p>18 Unit 6b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 5 or 6</p> <p>21 Unit 7a</p> <p>22 Unit 7b: Self-Study</p> <p>23 Unit 8a</p> <p>24 Unit 8b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 7 or 8</p> <p>27 Challenge Conversations</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. Note: Power Speaking meets twice a week,</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	B. Plett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Power Speaking in English						
授業の概要	Learning to express ideas and opinions in English through listening and speaking practice. Everyday topics of interest such as school and having fun will be discussed.						
到達目標	Students will improve their English listening skills and acquire the ability to discuss their ideas and opinions about topics of interest in their daily lives.						
授業計画	Lessons 1,2,3,4 and 5 - Unit 1 : People Lesson 6 - Project 1 (Unit 1) Lessons 7,8,9,10 and 11 - Unit 3: Education Lesson 12 - Project 2 (Unit 3) Lessons 13,14 and 15 - Unit 5: Fun						
授業外における学習(準備学習の内容)	Online practice and project preparation.						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and online practice						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, speaking activities and projects. Class participation: 40 % Assignments: 20% Speaking activities and projects: 40%						
教科書	Q:Skills for Success; Listening and Speaking Intro By Kevin McClure and Mari Vargo Published by OUP Student book: 978-0-19-475646-4 Class Audio: 978-0-19-475645-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	R. Saint-Pierre						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 1a</p> <p>3 Unit 1b: Self-Study</p> <p>4 Unit 2a</p> <p>5 Unit 2b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Units 1 or 2</p> <p>9 Unit 3a</p> <p>10 Unit 3b: Self-Study</p> <p>11 Unit 4a</p> <p>12 Unit 4b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 3 or 4</p> <p>15 Unit 5a</p> <p>16 Unit 5b: Self-Study</p> <p>17 Unit 6a</p> <p>18 Unit 6b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 5 or 6</p> <p>21 Unit 7a</p> <p>22 Unit 7b: Self-Study</p> <p>23 Unit 8a</p> <p>24 Unit 8b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 7 or 8</p> <p>27 Challenge Conversations</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. Note: Power Speaking meets twice a week,</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	R. Saint-Pierre						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English for Communication						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving individual students skills in English Communication to as high a level as possible.						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 1a</p> <p>3 Unit 1b: Self-Study</p> <p>4 Unit 2a</p> <p>5 Unit 2b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Units 1 or 2</p> <p>9 Unit 3a</p> <p>10 Unit 3b: Self-Study</p> <p>11 Unit 4a</p> <p>12 Unit 4b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 3 or 4</p> <p>15 Unit 5a</p> <p>16 Unit 5b: Self-Study</p> <p>17 Unit 6a</p> <p>18 Unit 6b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 5 or 6</p> <p>21 Unit 7a</p> <p>22 Unit 7b: Self-Study</p> <p>23 Unit 8a</p> <p>24 Unit 8b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 7 or 8</p> <p>27 Challenge Conversations</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. Note: Power Speaking meets twice a week,</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	予備登録						
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	予備登録						
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	予備登録						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	予備登録						
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	J. Angel						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Students' English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b : Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	J. Angel						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Students' English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b : Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	J. Angel						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Students' English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b : Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	D. Boyle						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Students' English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b : Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	D. Boyle						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Students' English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b : Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	D. Boyle						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Students' English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b : Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	D. Boyle						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Students' English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b : Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	D. Chatham						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing Students English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving individual students skills in English Communication to as high a level as possible.						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b : Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	D. Chatham						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Students' English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b : Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	E. Dean						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Power Speaking in English						
授業の概要	Learning to express ideas and opinions in English through listening and speaking practice. Everyday topics of interest such as making a good home and staying healthy will be discussed.						
到達目標	Students will improve their English listening skills and acquire the ability to discuss their ideas and opinions about topics of interest in their daily lives.						
授業計画	Lesson 1, 2 and 3 - Unit 6: Home Lesson 4 - Project 3 (Unit 6) Lessons 5, 6, 7, 8 and 9 - Unit 8: Health Lesson 10 - Project 4 (Unit 8) Lessons 11, 12, 13 and 14 - Unit 10: Milestones Lesson 15 - Project 5 (Unit 10)						
授業外における学習(準備学習の内容)	Online practice and project preparation.						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and online practice						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, speaking activities and projects. Class participation: 40 % Assignments: 20% Speaking activities and projects: 40%						
教科書	Q: Skills for Success: Listening and Speaking Intro By Kevin McClure and Mari Vargo Published by OUP Student book: 978-0-19-475646-4 Class Audio: 978-0-19-475645-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	R. K. Mason						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Students' English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b : Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	B. Plett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Power Speaking in English						
授業の概要	Learning to express ideas and opinions in English through listening and speaking practice. Everyday topics of interest such as world weather and cities will be discussed.						
到達目標	Students will improve their English listening skills and acquire the ability to discuss their ideas and opinions about topics of interest in their daily lives.						
授業計画	Lesson 1 and 2 - Unit 5: Fun Lesson 3 - Project 3 (Unit 5) Lessons 4, 5, 6, 7 and 8 - Unit 7: World weather Lesson 9 - Project 4 (Unit 7) Lessons 10, 11, 12, 13 and 14 - Unit 9: Cities Lesson 15 - Project 5 (Unit 9)						
授業外における学習(準備学習の内容)	Online practice and project preparation.						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and online practice						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, speaking activities and projects. Class participation: 40 % Assignments: 20% Speaking activities and projects: 40%						
教科書	Q: Skills for Success: Listening and Speaking Intro By Kevin McClure and Mari Vargo Published by OUP Student book: 978-0-19-475646-4 Class Audio: 978-0-19-475645-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	R. Saint-Pierre						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Students' English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b : Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	R. Saint-Pierre						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Students' English Communication Skills						
授業の概要	This course, taught fully in English, will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. Finally, readings will be included that support the topics introduced.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>Class Number and Class Content</p> <p>Day</p> <p>1 Course Introduction</p> <p>2 Unit 9a</p> <p>3 Unit 9b: Self-Study</p> <p>4 Unit 10a</p> <p>5 Unit 10b: Self-Study</p> <p>6 Progress Check</p> <p>7 Conversation Day 1: Unit 9 or 10</p> <p>9 Unit 11a</p> <p>10 Unit 11b : Self-Study</p> <p>11 Unit 12a</p> <p>12 Unit 12b: Self-Study</p> <p>13 Progress Check</p> <p>14 Conversation Day 2: Unit 11 or 12</p> <p>15 Unit 13a</p> <p>16 Unit 13b: Self-Study</p> <p>17 Unit 14a</p> <p>18 Unit 14b: Self-Study</p> <p>19 Progress Check</p> <p>20 Conversation Day 3: Unit 13 or 14</p> <p>21 Unit 15a</p> <p>22 Unit 15b: Self-Study</p> <p>23 Unit 16a</p> <p>24 Unit 16b: Self-Study</p> <p>25 Progress Check</p> <p>26 Conversation Day 4: Unit 15 or 16</p> <p>27 Make-up Day</p> <p>28 Listening Test</p> <p>29 Challenge Conversations</p> <p>30 Review and Course Conclusion</p> <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	None						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Students will be evaluated based on class participation 20%, conversational and listening ability 80%. This may vary according to individual teachers.						
教科書	Jack C. Richards New Interchange 1. Cambridge: UK, Cambridge University Press, 1997. (ISBN-13: 9780521601719 ISBN-10: 0521601711)						

参考書	None
-----	------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	J. Brooks						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking IA,B. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIA は、Power Speaking IA,Bを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation. 授業では様々な練習を通じて、より長く持続できるコミュニケーションと会話術を学ぶ。授業時間の一部を割いて、プレゼンテーションの準備と発表を行う。						
授業計画	第1回 : Meeting people (Unit 1) 第2回 : Expressing yourself (Unit 2) 第3回 : Talking about crime (Unit 3) 第4回 : Talking about surprising happenings (Unit 4) 第5回 : Review Units 1-4 and further practice 第6回 : Choosing a topic for the poster presentation 第7回 : Talking about education and learning (Unit 5) 第8回 : Talking about famous people (Unit 6) 第9回 : Review Units 5 and 6 and further practice 第10回 : Preparation and practice for poster presentation 第11回 : In class poster presentation contest 第12回 : Talking about the world (Unit 7) 第13回 : Talking about technology (Unit 8) 第14回 : Review Units 7 and 8 and further practice 第15回 : Review and test						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%). 授業活動 (20%)、プレゼンテーション (20%)、定期試験 (20%) で総合的に評価する。						
教科書	Let' s Talk 3, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69287-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	H. Mallett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking IA,B. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIA は、Power Speaking IA,Bを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation. 授業では様々な練習を通じて、より長く持続できるコミュニケーションと会話術を学ぶ。授業時間の一部を割いて、プレゼンテーションの準備と発表を行う。						
授業計画	第1回： Introducing oneself. Basic conversation. (Unit 1) 第2回： Meeting people (Unit 2) 第3回： Talking about food and cooking (Unit 3) 第4回： Talking about the weather (Unit 4) 第5回： Review Units 1-4 and further practice 第6回： Choosing a topic for the poster presentation 第7回： Talking about work (Unit 5) 第8回： Talking about hobbies and other activities (Unit 6) 第9回： Review Units 5 and 6 and further practice 第10回： Preparation and practice for poster presentation 第11回： In class poster presentation contest 第12回： Talking about sports and games (Unit 7) 第13回： Talking about transportation and travel (Unit 8) 第14回： Review Units 7 and 8 and further practice 第15回： Review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%). 授業活動 (20%)、プレゼンテーション (20%)、定期試験 (20%) で総合的に評価する。						
教科書	Let' s Talk 2, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69284-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	H. Mallett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking IA,B. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIA は、Power Speaking IA,Bを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation. 授業では様々な練習を通じて、より長く持続できるコミュニケーションと会話術を学ぶ。授業時間の一部を割いて、プレゼンテーションの準備と発表を行う。						
授業計画	第1回： Introducing oneself. Basic conversation. (Unit 1) 第2回： Meeting people (Unit 2) 第3回： Talking about food and cooking (Unit 3) 第4回： Talking about the weather (Unit 4) 第5回： Review Units 1-4 and further practice 第6回： Choosing a topic for the poster presentation 第7回： Talking about work (Unit 5) 第8回： Talking about hobbies and other activities (Unit 6) 第9回： Review Units 5 and 6 and further practice 第10回： Preparation and practice for poster presentation 第11回： In class poster presentation contest 第12回： Talking about sports and games (Unit 7) 第13回： Talking about transportation and travel (Unit 8) 第14回： Review Units 7 and 8 and further practice 第15回： Review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%). 授業活動 (20%)、プレゼンテーション (20%)、定期試験 (20%) で総合的に評価する。						
教科書	Let' s Talk 2, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69284-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	A. J. Silva						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking IA,B. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIA は、Power Speaking IA,Bを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation. 授業では様々な練習を通じて、より長く持続できるコミュニケーションと会話術を学ぶ。授業時間の一部を割いて、プレゼンテーションの準備と発表を行う。						
授業計画	第1回： Meeting people (Unit 1) 第2回： Expressing yourself (Unit 2) 第3回： Talking about crime (Unit 3) 第4回： Talking about surprising happenings (Unit 4) 第5回： Review Units 1-4 and further practice 第6回： Choosing a topic for the poster presentation 第7回： Talking about education and learning (Unit 5) 第8回： Talking about famous people (Unit 6) 第9回： Review Units 5 and 6 and further practice 第10回： Preparation and practice for poster presentation 第11回： In class poster presentation contest 第12回： Talking about the world (Unit 7) 第13回： Talking about technology (Unit 8) 第14回： Review Units 7 and 8 and further practice 第15回： Review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%). 授業活動 (20%)、プレゼンテーション (20%)、定期試験 (20%) で総合的に評価する。						
教科書	Let' s Talk 3, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69287-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking IA,B. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIA は、Power Speaking IA,Bを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation. 授業では様々な練習を通じて、より長く持続できるコミュニケーションと会話術を学ぶ。授業時間の一部を割いて、プレゼンテーションの準備と発表を行う。						
授業計画	第1回： Meeting people (Unit 1) 第2回： Expressing yourself (Unit 2) 第3回： Talking about crime (Unit 3) 第4回： Talking about surprising happenings (Unit 4) 第5回： Review Units 1-4 and further practice 第6回： Choosing a topic for the poster presentation 第7回： Talking about education and learning (Unit 5) 第8回： Talking about famous people (Unit 6) 第9回： Review Units 5 and 6 and further practice 第10回： Preparation and practice for poster presentation 第11回： In class poster presentation contest 第12回： Talking about the world (Unit 7) 第13回： Talking about technology (Unit 8) 第14回： Review Units 7 and 8 and further practice 第15回： Review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%). 授業活動 (20%)、プレゼンテーション (20%)、定期試験 (20%) で総合的に評価する。						
教科書	Let' s Talk 3, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69287-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking IA,B. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIA は、Power Speaking IA,Bを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation. 授業では様々な練習を通じて、より長く持続できるコミュニケーションと会話術を学ぶ。授業時間の一部を割いて、プレゼンテーションの準備と発表を行う。						
授業計画	第1回： Meeting people (Unit 1) 第2回： Expressing yourself (Unit 2) 第3回： Talking about crime (Unit 3) 第4回： Talking about surprising happenings (Unit 4) 第5回： Review Units 1-4 and further practice 第6回： Choosing a topic for the poster presentation 第7回： Talking about education and learning (Unit 5) 第8回： Talking about famous people (Unit 6) 第9回： Review Units 5 and 6 and further practice 第10回： Preparation and practice for poster presentation 第11回： In class poster presentation contest 第12回： Talking about the world (Unit 7) 第13回： Talking about technology (Unit 8) 第14回： Review Units 7 and 8 and further practice 第15回： Review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%). 授業活動 (20%)、プレゼンテーション (20%)、定期試験 (20%) で総合的に評価する。						
教科書	Let' s Talk 2, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69284-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIB						
担当教員	J. Brooks						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIB is the follow-up course to Power Speaking II. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIBは、Power Speaking IIAを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	In Power Speaking IIB students will focus on improving their conversational abilities, as well as practice engaging in simple discussion on topics of personal and social interest. One part of class time will be dedicated to the preparation of a speech and participation in a class speech contest. Power Speaking IIBでは英語会話能力がある一定のレベルに達した学生が、教室での活動を通じて、若者に興味のある様々な個人的・社会的な話題についての自分の意味を形成し、明確かつ簡潔に正確な英語で表現できるようになることを目指す。授業時間の一部を割いて、スピーチの準備と発表をおこなう。						
授業計画	第1回： Talking about health (Unit 9) 第2回： Talking about money (Unit 10) 第3回： Review Units 9 and 10 and further practice 第4回： Talking about the news (Unit 11) 第5回： Talking about relationships (Unit 12) 第6回： Choosing a topic for the speech contest 第7回： Talking about adventure (Unit 13) 第8回： Review Units 11-13 and further practice 第9回： Preparation for the speech contest 第10回： In class speech contest 第11回： Talking about self-improvement (Unit 14) 第12回： Talking about travel and tourism (Unit 15) 第13回： Talking about employment (Unit 16) 第14回： Review Units 14-16 and further practice 第15回： Review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their speech, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their speech (20%), and a final test (20%). 授業活動 (20%)、スピーチ (20%)、定期試験 (20%) で総合的に評価する。						
教科書	Let' s Talk 3, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69287-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIB						
担当教員	H. Mallett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIB is the follow-up course to Power Speaking II. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIBは、Power Speaking IIAを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	In Power Speaking IIB students will focus on improving their conversational abilities, as well as practice engaging in simple discussion on topics of personal and social interest. One part of class time will be dedicated to the preparation of a speech and participation in a class speech contest. Power Speaking IIBでは英語会話能力がある一定のレベルに達した学生が、教室での活動を通じて、若者に興味のある様々な個人的・社会的な話題についての自分の意味を形成し、明確かつ簡潔に正確な英語で表現できるようになることを目指す。授業時間の一部を割いて、スピーチの準備と発表をおこなう。						
授業計画	第1回： Talking about vacation (Unit 9) 第2回： Talking about machines and technology (Unit 10) 第3回： Review Units 9 and 10 and further practice 第4回： Talking about the environment (Unit 11) 第5回： Talking about news and current events (Unit 12) 第6回： Choosing a topic for the speech contest 第7回： Talking about city life (Unit 13) 第8回： Review Units 11-13 and further practice 第9回： Preparation for the speech contest 第10回： In class speech contest 第11回： Talking about entertainment and art (Unit 14) 第12回： Talking about memories (Unit 15) 第13回： Comedy and humor (Unit 16) 第14回： Review Units 14-16 and further practice 第15回： Review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their speech, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their speech (20%), and a final test (20%). 授業活動 (20%)、スピーチ (20%)、定期試験 (20%) で総合的に評価する。						
教科書	Let' s Talk 2, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69284-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIB						
担当教員	H. Mallett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIB is the follow-up course to Power Speaking II. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIBは、Power Speaking IIAを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	In Power Speaking IIB students will focus on improving their conversational abilities, as well as practice engaging in simple discussion on topics of personal and social interest. One part of class time will be dedicated to the preparation of a speech and participation in a class speech contest. Power Speaking IIBでは英語会話能力がある一定のレベルに達した学生が、教室での活動を通じて、若者に興味のある様々な個人的・社会的な話題についての自分の意味を形成し、明確かつ簡潔に正確な英語で表現できるようになることを目指す。授業時間の一部を割いて、スピーチの準備と発表をおこなう。						
授業計画	第1回： Talking about vacation (Unit 9) 第2回： Talking about machines and technology (Unit 10) 第3回： Review Units 9 and 10 and further practice 第4回： Talking about the environment (Unit 11) 第5回： Talking about news and current events (Unit 12) 第6回： Choosing a topic for the speech contest 第7回： Talking about city life (Unit 13) 第8回： Review Units 11-13 and further practice 第9回： Preparation for the speech contest 第10回： In class speech contest 第11回： Talking about entertainment and art (Unit 14) 第12回： Talking about memories (Unit 15) 第13回： Comedy and humor (Unit 16) 第14回： Review Units 14-16 and further practice 第15回： Review and test						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their speech, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their speech (20%), and a final test (20%). 授業活動 (20%)、スピーチ (20%)、定期試験 (20%) で総合的に評価する。						
教科書	Let' s Talk 2, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69284-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIB						
担当教員	A. J. Silva						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIB is the follow-up course to Power Speaking II. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIBは、Power Speaking IIAを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	In Power Speaking IIB students will focus on improving their conversational abilities, as well as practice engaging in simple discussion on topics of personal and social interest. One part of class time will be dedicated to the preparation of a speech and participation in a class speech contest. Power Speaking IIBでは英語会話能力がある一定のレベルに達した学生が、教室での活動を通じて、若者に興味のある様々な個人的・社会的な話題についての自分の意味を形成し、明確かつ簡潔に正確な英語で表現できるようになることを目指す。授業時間の一部を割いて、スピーチの準備と発表をおこなう。						
授業計画	第1回： Talking about health (Unit 9) 第2回： Talking about money (Unit 10) 第3回： Review Units 9 and 10 and further practice 第4回： Talking about the news (Unit 11) 第5回： Talking about relationships (Unit 12) 第6回： Choosing a topic for the speech contest 第7回： Talking about adventure (Unit 13) 第8回： Review Units 11-13 and further practice 第9回： Preparation for the speech contest 第10回： In class speech contest 第11回： Talking about self-improvement (Unit 14) 第12回： Talking about travel and tourism (Unit 15) 第13回： Talking about employment (Unit 16) 第14回： Review Units 14-16 and further practice 第15回： Review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their speech, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their speech (20%), and a final test (20%). 授業活動 (20%)、スピーチ (20%)、定期試験 (20%) で総合的に評価する。						
教科書	Let' s Talk 3, 2nd edition Leo Jones Cambridge University Press ISBN 978-0-521-69287-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	J. Angel						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.						
到達目標	The aim of this course is to review different sorts of words and usage, clauses, sentences, and paragraphs. You will learn how to write about yourself and your hobbies, write a movie review and use different types of language for formal and informal situations.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Chapter 1 Keeping in Touch, Recent news about family and friends - Language Study 3. Chapter 1 Keeping in Touch - Writing 4. Chapter 2 Tourist Information, a place you have visited - Language Study 5. Chapter 2 Tourist Information - Writing 6. Chapter 3 Celebration, events and festivals - Language Study 7. Chapter 3 Celebration - Writing 8. Hand in homework / Language Review 1 9. Chapter 4 The Last Time, past events - Language Study 10. Chapter 4 The Last Time - Writing 11. Chapter 5 Memories, recalling childhood - Language Study 12. Chapter 5 Memories - Writing 13. Chapter 6 I'd Love to Come - Language Study 14. Chapter 6 I'd Love to Come - Writing 15. Hand in homework / Language Review 2 						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read the textbook before class and finish homework on time.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, homework, essays and reports.						
教科書	'Writing Plus', Alan Jackson, Kinseido ISBN 4-7647-3803-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.						
到達目標	The aim of this course is to review different sorts of words and usage, clauses, sentences, and paragraphs. You will learn how to write about yourself and your hobbies, write a movie review and use different types of language for formal and informal situations.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Chapter 1 Keeping in Touch, Recent news about family and friends 3. Chapter 2 Tourist Information, a place you have visited 4. Chapter 3 Celebration, events and festivals 5. Hand in homework / Language Review 1 6. Chapter 4 The Last Time, past events 7. Chapter 5 Memories, recalling childhood 8. Chapter 6 I'd Love to Come 9. Hand in homework / Language Review 2 10. Movie 11. Writing a movie review 12. Chapter 7 Cards for All Occasions, writing greeting cards 13. Chapter 8 Living Abroad, impressions of life in another country 14. Chapter 9 A Social Problem, issues and answers 15. Hand in homework / Language Review 3 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should read the textbook before class and finish homework on time.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, homework, essays and reports.						
教科書	'Writing Plus', Alan Jackson, Kinseido ISBN 4-7647-3803-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.						
到達目標	The aim of this course is to review different sorts of words and usage, clauses, sentences, and paragraphs. The ultimate goal is for you to write correct personal and business letters. You will learn how to write about yourself and your hobbies and use different types of language for formal and informal situations.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) Chapter 1: nouns, verb, adjectives and adverbs 3) Chapter 2: adjectives and descriptions 4) Chapter 3: countable and uncountable nouns 5) Chapter 4: definite and indefinite articles 6) Writing a CV 7) Chapter 5: the sentence 8) Chapter 6: longer sentences; contrasting clauses 9) Chapter 6: complex sentences; relative clauses 10) Chapter 7: use of 'when' for past actions and for future actions 11) Chapter 8: the paragraph; topic sentences 12) Chapter 8: the paragraph; supporting and concluding sentences 13) Chapter 11: Personal letters 14) Chapter 12: Business letters; formal language 15) Chapter 12: Business letters; peer-editing for style; envelopes 						
授業外における学習(準備学習の内容)	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
教科書	From Word to Letter Peter Mallett, Keiko Yamauchi Kaibunsha Publications ISBN 978-4-87571-742-3						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.						
到達目標	The aim of this course is to review different sorts of words and usage, clauses, sentences, and paragraphs. The ultimate goal is for you to write correct personal and business letters. You will learn how to write about yourself and your hobbies and use different types of language for formal and informal situations.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) Chapter 1: nouns, verb, adjectives and adverbs 3) Chapter 2: adjectives and descriptions 4) Chapter 3: countable and uncountable nouns 5) Chapter 4: definite and indefinite articles 6) Writing a CV 7) Chapter 5: the sentence 8) Chapter 6: longer sentences; contrasting clauses 9) Chapter 6: complex sentences; relative clauses 10) Chapter 7: use of 'when' for past actions and for future actions 11) Chapter 8: the paragraph; topic sentences 12) Chapter 8: the paragraph; supporting and concluding sentences 13) Chapter 11: Personal letters 14) Chapter 12: Business letters; formal language 15) Chapter 12: Business letters; peer-editing for style; envelopes 						
授業外における学習(準備学習の内容)	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
教科書	From Word to Letter Peter Mallett, Keiko Yamauchi Kaibunsha Publications ISBN 978-4-87571-742-3						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	B. Plett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.						
到達目標	The aim of this course is to review different sorts of words and usage, clauses, sentences, and paragraphs. You will learn how to write about yourself and your hobbies, write a movie review and use different types of language for formal and informal situations.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Chapter 1 Keeping in Touch, Recent news about family and friends - Language Study 3. Chapter 1 Keeping in Touch - Writing 4. Chapter 2 Tourist Information, a place you have visited - Language Study 5. Chapter 2 Tourist Information - Writing 6. Chapter 3 Celebration, events and festivals - Language Study 7. Chapter 3 Celebration - Writing 8. Hand in homework / Language Review 1 9. Chapter 4 The Last Time, past events - Language Study 10. Chapter 4 The Last Time - Writing 11. Chapter 5 Memories, recalling childhood - Language Study 12. Chapter 5 Memories - Writing 13. Chapter 6 I'd Love to Come - Language Study 14. Chapter 6 I'd Love to Come - Writing 15. Hand in homework / Language Review 2 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should read the textbook before class and finish homework on time.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, homework, essays and reports.						
教科書	'Writing Plus', Alan Jackson, Kinseido ISBN 4-7647-3803-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	C. L. Starling						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.						
到達目標	The aim of this course is to review different sorts of words and usage, clauses, sentences, and paragraphs. You will learn how to write about yourself and your hobbies, write a movie review and use different types of language for formal and informal situations.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Chapter 1 Keeping in Touch, Recent news about family and friends 3. Chapter 2 Tourist Information, a place you have visited 4. Chapter 3 Celebration, events and festivals 5. Hand in homework / Language Review 1 6. Chapter 4 The Last Time, past events 7. Chapter 5 Memories, recalling childhood 8. Chapter 6 I'd Love to Come 9. Hand in homework / Language Review 2 10. Movie 11. Writing a movie review 12. Chapter 7 Cards for All Occasions, writing greeting cards 13. Chapter 8 Living Abroad, impressions of life in another country 14. Chapter 9 A Social Problem, issues and answers 15. Hand in homework / Language Review 3 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should read the textbook before class and finish homework on time.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, homework, essays and reports.						
教科書	'Writing Plus', Alan Jackson, Kinseido ISBN 4-7647-3803-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing B						
担当教員	J. Angel						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.						
到達目標	You will learn how to write letters, speeches and use different types of language for formal and informal situations.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Chapter 7 Cards for All Occasions, writing greeting cards 2. Chapter 8 Living Abroad, impressions of life in another country - Language Study 3. Chapter 8 Living Abroad - Writing 4. Chapter 9 A Social Problem, issues and answers - Language Study 5. Chapter 9 A Social Problem - Writing 6. Hand in homework / Language Review 3 7. Chapter 10 - Study Abroad, Contacting a language school abroad - Language Study 8. Chapter 10 - Study Abroad - Writing 9. Chapter 11 - A New Employee, Dealing with a staff member from abroad - Language Study 10. Chapter 11 - A New Employee - Writing 11. Chapter 12 - Getting a job, The application and interview process - Language Study 12. Chapter 12 - Getting a job - Writing 13. Presentation 14. Hand in homework / Language Review 4 15. Course Review 						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read the textbook before class and finish homework on time.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, homework, essays and reports.						
教科書	'Writing Plus', Alan Jackson, Kinseido ISBN 4-7647-3803-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing B						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.						
到達目標	You will learn how to write letters, speeches and use different types of language for formal and informal situations.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Chapter 10 - Study Abroad, Contacting a language school abroad - Language Study 2. Chapter 10 - Study Abroad - Writing 3. Chapter 11 - A New Employee, Dealing with a staff member from abroad - Language Study 4. Chapter 11 - A New Employee - Writing 5. Speech writing 1 6. Speech writing 2 7. Class speech contest 8. Chapter 12 - Getting a job, The application and interview process - Language Study 9. Chapter 12 - Getting a job, The application and interview process - Writing 10. Presentation 11. Hand in homework / Language Review 4 12. Essay writing 1 13. Essay writing 2 14. Essay writing 3 15. Hand in homework / Course Review 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should read the textbook before class and finish homework on time.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, homework, essays and reports.						
教科書	'Writing Plus', Alan Jackson, Kinseido ISBN 4-7647-3803-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing B						
担当教員	B. Plett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.						
到達目標	You will learn how to write letters, speeches and use different types of language for formal and informal situations.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Chapter 7 Cards for All Occasions, writing greeting cards 2. Chapter 8 Living Abroad, impressions of life in another country - Language Study 3. Chapter 8 Living Abroad - Writing 4. Chapter 9 A Social Problem, issues and answers - Language Study 5. Chapter 9 A Social Problem - Writing 6. Hand in homework / Language Review 3 7. Chapter 10 - Study Abroad, Contacting a language school abroad - Language Study 8. Chapter 10 - Study Abroad - Writing 9. Chapter 11 - A New Employee, Dealing with a staff member from abroad - Language Study 10. Chapter 11 - A New Employee - Writing 11. Chapter 12 - Getting a job, The application and interview process - Language Study 12. Chapter 12 - Getting a job - Writing 13. Presentation 14. Hand in homework / Language Review 4 15. Course Review 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should read the textbook before class and finish homework on time.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, homework, essays and reports.						
教科書	'Writing Plus', Alan Jackson, Kinseido ISBN 4-7647-3803-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing B						
担当教員	C. L. Starling						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.						
到達目標	You will learn how to write letters, speeches and use different types of language for formal and informal situations.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Chapter 10 - Study Abroad, Contacting a language school abroad - Language Study 2. Chapter 10 - Study Abroad - Writing 3. Chapter 11 - A New Employee, Dealing with a staff member from abroad - Language Study 4. Chapter 11 - A New Employee - Writing 5. Speech writing 1 6. Speech writing 2 7. Class speech contest 8. Chapter 12 - Getting a job, The application and interview process - Language Study 9. Chapter 12 - Getting a job, The application and interview process - Writing 10. Presentation 11. Hand in homework / Language Review 4 12. Essay writing 1 13. Essay writing 2 14. Essay writing 3 15. Hand in homework / Course Review 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should read the textbook before class and finish homework on time.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, homework, essays and reports.						
教科書	'Writing Plus', Alan Jackson, Kinseido ISBN 4-7647-3803-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar A						
担当教員	予備登録						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar A						
担当教員	予備登録						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar A						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中学・高校で学習した英文法の復習と英文法知識の定着						
授業の概要	Practical English Grammar Aは、英語の4技能の強化をはかるための基礎科目である。中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法である。						
到達目標	授業では、文法用語の説明は必要最小限度にとどめ、用例を中心に文法の各項目の解説をおこない練習問題で学習内容を確認する。教科書は、学校文法に準拠したものを使い、実践的な英文法の知識を与えることを目的とする。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Review of Tenses 3. Present Tenses 4. Past Tenses 5. Test 1 / Grammar Game 6. Quantity 7. Verb Patterns / Future 8. Description / Comparison 9. Present Perfect 10. Test 2 / Grammar Game 11. Obligation 12. Time clauses / First Conditional 13. Passive 14. 2nd Conditional 15. Test 3 / Grammar Game 						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習をして授業に臨んでください。						
授業方法	実習						
評価基準と評価方法	小テスト(60%)， 期末試験(40%)						
教科書	American Headway Level 2 (2nd Edition) Workbook with Spotlight on Testing John Soars and Liz Soars Oxford University Press ISBN 978019-4727853						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar A						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中学・高校で学習した英文法の復習と英文法知識の定着						
授業の概要	Practical English Grammar Aは、英語の4技能の強化をはかるための基礎科目である。中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法である。						
到達目標	授業では、文法用語の説明は必要最小限度にとどめ、用例を中心に文法の各項目の解説をおこない練習問題で学習内容を確認する。教科書は、学校文法に準拠したものを使い、実践的な英文法の知識を与えることを目的とする。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Review of Tenses 3. Present Tenses 4. Past Tenses 5. Test 1 / Grammar Game 6. Quantity 7. Verb Patterns / Future 8. Description / Comparison 9. Present Perfect 10. Test 2 / Grammar Game 11. Obligation 12. Time clauses / First Conditional 13. Passive 14. 2nd Conditional 15. Test 3 / Grammar Game 						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習をして授業に臨んでください。						
授業方法	実習						
評価基準と評価方法	小テスト(60%)， 期末試験(40%)						
教科書	American Headway Level 2 (2nd Edition) Workbook with Spotlight on Testing John Soars and Liz Soars Oxford University Press ISBN 978019-4727853						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar A						
担当教員	柏本 吉章						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英語の4技能の上達を図るための基礎的文法力の強化						
授業の概要	中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を習得する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法です。授業では、文法用語の説明は必要最小限にとどめて、用例を中心に文法の各項目の解説を行い、豊富な練習問題で学習内容を確認します。						
到達目標	専門科目の学習に不可欠な、基礎的で実践的な英文法の知識を身につけることを目指します。						
授業計画	第1回 Introduction, 現在の表し方(単純現在) 第2回 現在の表し方(現在進行形) 第3回 過去の表し方(単純過去と現在完了) 第4回 未来の表し方(さまざまな未来表現の使い分け) 第5回 動詞時制のまとめと復習 第6回 義務や許可の対人関係の表し方(法助動詞1) 第7回 確かさ・あやふやさの表し方(法助動詞2) 第8回 仮定の世界の表し方(仮定法の表現) 第9回 法助動詞・仮定法のまとめと復習 第10回 中間試験、不定詞・動名詞・分詞の考え方 第11回 不定詞の基本用法 第12回 不定詞の注意すべき構文 第13回 動名詞の用法 第14回 不定詞・動名詞のまとめと復習 第15回 学期のまとめと期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	練習問題など、指示された箇所を必ず予習した上で授業を受けること。						
授業方法	講義と問題演習						
評価基準と評価方法	平常点 30%、定期試験成績 70%						
教科書	プリントを使用します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar A						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英語の4技能の上達を図るための基礎的文法力の強化						
授業の概要	中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を習得する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法です。授業では、文法用語の説明は必要最小限にとどめて、用例を中心に文法の各項目の解説を行い、豊富な練習問題で学習内容を確認します。						
到達目標	専門科目の学習に不可欠な、基礎的で実践的な英文法の知識を身につけることを目指します。						
授業計画	第1回 Introduction, 現在の表し方(単純現在) 第2回 現在の表し方(現在進行形) 第3回 過去の表し方(単純過去と現在完了) 第4回 未来の表し方(さまざまな未来表現の使い分け) 第5回 動詞時制のまとめと復習 第6回 義務や許可の対人関係の表し方(法助動詞1) 第7回 確かさ・あやふやさの表し方(法助動詞2) 第8回 仮定の世界の表し方(仮定法の表現) 第9回 法助動詞・仮定法のまとめと復習 第10回 中間試験、不定詞・動名詞・分詞の考え方 第11回 不定詞の基本用法 第12回 不定詞の注意すべき構文 第13回 動名詞の用法 第14回 不定詞・動名詞のまとめと復習 第15回 学期のまとめと期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	練習問題など、指示された箇所を必ず予習した上で授業を受けること。						
授業方法	講義と問題演習						
評価基準と評価方法	平常点 30%、定期試験成績 70%						
教科書	プリントを使用します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar A						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	基礎英文法の総復習						
授業の概要	<p>中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、英語の4技能の運用に重要な、英文法の基礎力を身に付けることを目標とする。</p> <p>同時に、英文法の基礎的な知識を用いて、短い英文を読み、英文の内容を把握する能力を養う。また、英文法の知識を利用した英作文の能力も養う。復習テストを随時行い、必要に応じてプリントを配布し、練習問題を追加する。</p>						
到達目標	少なくとも最低限の英文法については理解できるようにする。						
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、履修指導</p> <p>第2回 Unit 1 品詞の種類</p> <p>第3回 Unit 2 5文型</p> <p>第4回 Unit 3 文の種類</p> <p>第5回 Unit 4 基本3時制と進行形</p> <p>第6回 Unit 5 完了形</p> <p>第7回 中間テストと復習</p> <p>第8回 Unit 6 受動態</p> <p>第9回 Unit 7 使役</p> <p>第10回 Unit 8 仮定法</p> <p>第11回 Unit 9 話法と時制の一致</p> <p>第12回 Unit 10 不定詞</p> <p>第13回 Unit 11 分詞</p> <p>第14回 文法のまとめ (TOEIC 形式の問題で練習)</p> <p>第15回 定期試験と前期のまとめ</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	必ず予習をすること。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	<p>平常点(出席点・小テストを含む)と定期試験で評価する。ノートチェック・小テストも随時行うので、予習・復習という学習の習慣を身につけるようにすること。</p> <p>小テストが40パーセント、定期試験の成績を60パーセントとする。</p>						
教科書	『基礎文法からはじめる大学英語学習』石井隆之ほか著(松柏社) 978-4-88198-629-5						
参考書	随時紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar A						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	基礎英文法の総復習						
授業の概要	<p>中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、英語の4技能の運用に重要な、英文法の基礎力を身に付けることを目標とする。</p> <p>同時に、英文法の基礎的な知識を用いて、短い英文を読み、英文の内容を把握する能力を養う。また、英文法の知識を利用した英作文の能力も養う。復習テストを随時行い、必要に応じてプリントを配布し、練習問題を追加する。</p>						
到達目標	少なくとも最低限の英文法については理解できるようにする。						
授業計画	第1回 オリエンテーション、履修指導 第2回 Unit 1 品詞の種類 第3回 Unit 2 5文型 第4回 Unit 3 文の種類 第5回 Unit 4 基本3時制と進行形 第6回 Unit 5 完了形 第7回 中間テストと復習 第8回 Unit 6 受動態 第9回 Unit 7 使役 第10回 Unit 8 仮定法 第11回 Unit 9 話法と時制の一致 第12回 Unit 10 不定詞 第13回 Unit 11 分詞 第14回 文法のまとめ 第15回 定期試験と前期のまとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習をすること、予習をしないと、CPポイントを取ることはできません。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	■試験（中間＋期末）×50%、CPポイント（授業中に松田の質問に自発的に手を挙げて正答した回数に対する評価）×50% ■出席は取りません。ただしCPポイントが取れないと単位は絶望的です。						
教科書	『基礎文法からはじめる大学英語学習』石井隆之ほか著（松柏社） 978-4-88198-629-5						
参考書	随時紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar A						
担当教員	吉井 康博						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2~4	単位数	1.0
授業のテーマ	実践英文法演習						
授業の概要	Practical English Grammar Aは、英語の4技能の強化をはかるための基礎科目です。中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法です。授業では、文法用語による説明は必要最小限にとどめ、用例を中心に文法の各項目の解説を行い、練習問題で学習内容を確認します。教科書は、学校文法に準拠したものを使い、実践的な英文法の知識の習得を目的とします。						
到達目標	文法知識を演習形式で体系づけることにより、英文の意味を正確に捉え、正しい英文が書けるようにします。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation / Perfect and Perfect Progressive Tenses (First Part) 2. Review Quiz / Future Time (First Part) 3. Review Quiz / Modals, Part II (First Part) 4. Review Quiz / The Passive (First Part) 5. Review Quiz / Noun Clauses (First Part) 6. Review Quiz / Adjective Clauses (First Part) 7. Review Quiz / Gerunds and Infinitives, Part I (First Part) 8. Review Quiz / Gerunds and Infinitives, Part II (First Part) 9. Review Quiz / Coordinating Conjunctions (First Part) 10. Review Quiz / Adverb Clauses (First Part) 11. Review Quiz / Reduction of Adverb Clauses to Adverbial Phrases (First Part) 12. Review Quiz / Connectives that Expresses Cause and Effect (First Part) 13. Review Quiz / Conditional Sentences and Wishes (First Part) 14. Question-and-Answer Session 15. End-of-Semester Review Quiz 						
授業外における学習(準備学習の内容)	毎回復習テストを行いますから、しっかりとテスト準備をすること。						
授業方法	基本事項の解説の後、練習問題を解いていきます。						
評価基準と評価方法	Review Quiz:30% Participation:10% End-of-Semester Review Quiz:60%						
教科書	Understanding and Using English Grammar WORKBOOK Betty S. Azar他 PEARSON EDUCATION Longman ISBN 0-13-241543-7 978-0-13-241543-9						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	予備登録						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	予備登録						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	この画面は予備登録用である。シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照のこと。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中学・高校で学習した英文法の復習と英文法知識の定着						
授業の概要	Practical English Grammar Aと同じように、Practical English Grammar Bの目的も、英文法の各項目を復習することで高校までの知識を整理し、英語の理解に役立てることである基本方針もAと同様、文法用語の解説は必要最小限度にとどめ、用例を用いてできるだけ具体的に説明し練習問題で学習内容を確認する。						
到達目標	前半のAと後半のBで、英語を理解するのに必要な英文法の基本的な項目全般について精通することを目指す。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Present Perfect Continuous 3. Relative Clauses 4. Gerund Constructions 5. Test 1 / Grammar Game 6. Enough / Too 7. Indirect Questions 8. Future Expressions 9. Past Perfect 10. Test 2 / Grammar Game 11. Passives 12. Reported Speech - Basis Tenses 13. Reported Speech - Questions 14. Have/Get Something Done 15. Test 3 / Grammar Game 						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習をして授業に臨んでください。						
授業方法	実習						
評価基準と評価方法	小テスト(60%)， 期末試験(40%)						
教科書	Prints + American Headway Level 2 (2nd Edition) Workbook with Spotlight on Testing John Soars and Liz Soars Oxford University Press ISBN 978019-4727853						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中学・高校で学習した英文法の復習と英文法知識の定着						
授業の概要	Practical English Grammar Aと同じように、Practical English Grammar Bの目的も、英文法の各項目を復習することで高校までの知識を整理し、英語の理解に役立てることである基本方針もAと同様、文法用語の解説は必要最小限度にとどめ、用例を用いてできるだけ具体的に説明し練習問題で学習内容を確認する。						
到達目標	前半のAと後半のBで、英語を理解するのに必要な英文法の基本的な項目全般について精通することを目指す。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Present Perfect Continuous 3. Relative Clauses 4. Gerund Constructions 5. Test 1 / Grammar Game 6. Enough / Too 7. Indirect Questions 8. Future Expressions 9. Past Perfect 10. Test 2 / Grammar Game 11. Passives 12. Reported Speech - Basis Tenses 13. Reported Speech - Questions 14. Have/Get Something Done 15. Test 3 / Grammar Game 						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習をして授業に臨んでください。						
授業方法	実習						
評価基準と評価方法	小テスト(60%)， 期末試験(40%)						
教科書	Prints + American Headway Level 2 (2nd Edition) Workbook with Spotlight on Testing John Soars and Liz Soars Oxford University Press ISBN 978019-4727853						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英語の理解と運用に役立つ基礎文法力の養成						
授業の概要	Practical English Grammar Aと合わせて、英語の理解・運用に必要な英文法の基本的な項目全般について見るようになります。文法用語の解説は最小限にとどめて、用例を用いてできるだけ具体的に説明し、豊富な練習問題によって学習内容を確認します。						
到達目標	専門科目において求められる英語の理解力・運用力の基礎となる文法知識を身につけることを目指します。						
授業計画	第1回 分詞の用法 第2回 現在分詞・過去分詞の注意すべき構文1 第3回 現在分詞・過去分詞の注意すべき構文2 第4回 不定詞・動名詞・分詞の意味上の主語 第5回 不定詞・動名詞・分詞のまとめと復習 第6回 関係代名詞 第7回 関係副詞 第8回 関係詞のまとめと復習、中間試験 第9回 比較(比較級・最上級) 第10回 能動態と受動態1(受動態の形式) 第11回 能動態と受動態2(受動態の慣用表現) 第12回 不定詞・動名詞・分詞の総合問題 第13回 関係詞・比較の総合問題 第14回 受動態の総合問題 第15回 学期のまとめと期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	練習問題など、指示された箇所を必ず予習した上で授業を受けること。						
授業方法	講義と問題演習						
評価基準と評価方法	平常点 30%、定期試験成績 70%						
教科書	プリントを使用します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英語の理解と運用に役立つ基礎文法力の養成						
授業の概要	Practical English Grammar Aと合わせて、英語の理解・運用に必要な英文法の基本的な項目全般について見るようになります。文法用語の解説は最小限にとどめて、用例を用いてできるだけ具体的に説明し、豊富な練習問題によって学習内容を確認します。						
到達目標	専門科目において求められる英語の理解力・運用力の基礎となる文法知識を身につけることを目指します。						
授業計画	第1回 分詞の用法 第2回 現在分詞・過去分詞の注意すべき構文1 第3回 現在分詞・過去分詞の注意すべき構文2 第4回 不定詞・動名詞・分詞の意味上の主語 第5回 不定詞・動名詞・分詞のまとめと復習 第6回 関係代名詞 第7回 関係副詞 第8回 関係詞のまとめと復習、中間試験 第9回 比較(比較級・最上級) 第10回 能動態と受動態1(受動態の形式) 第11回 能動態と受動態2(受動態の慣用表現) 第12回 不定詞・動名詞・分詞の総合問題 第13回 関係詞・比較の総合問題 第14回 受動態の総合問題 第15回 学期のまとめと期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	練習問題など、指示された箇所を必ず予習した上で授業を受けること。						
授業方法	講義と問題演習						
評価基準と評価方法	平常点 30%、定期試験成績 70%						
教科書	プリントを使用します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文法の総復習。						
授業の概要	Practical English Grammar Aと同じ。						
到達目標	Practical English Grammar Aと同じ。						
授業計画	第1回 後期の履修指導、オリエンテーション 第2回 Unit 12 動名詞 第3回 Unit 13 助動詞 第4回 Unit 14 名詞と冠詞 第5回 Unit 15 代名詞 第6回 Unit 16 形容詞と副詞 第7回 中間テストと復習 第8回 Unit 17 比較 第9回 Unit 18 前置詞と「句」の概念 第10回 Unit 19 接続詞と「節」の概念 第11回 Unit 20 関係詞 第12回 Unit 21 否定 第13回 Unit 22 特殊構文 第14回 文法のまとめ(TOEIC 形式の問題で基礎事項を再確認する) 第15回 定期テストと後期のまとめ						
授業外における学習(準備学習の内容)	必ず予習をしてこること。						
授業方法	講義と演習による。						
評価基準と評価方法	平常点(出席・小テストを含む)と定期試験の総合評価。 小テストが40パーセント、定期試験を60パーセントとする。						
教科書	『基礎文法からはじめる大学英語学習』石井隆之ほか著(松柏社) 978-4-88198-629-5						
参考書	随時指示する。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文法の総復習。						
授業の概要	Practical English Grammar Aと同じ。						
到達目標	最低限の英文法が理解できるようになること。						
授業計画	第1回 後期の履修指導、オリエンテーション 第2回 Unit 12 動名詞 第3回 Unit 13 助動詞 第4回 Unit 14 名詞と冠詞 第5回 Unit 15 代名詞 第6回 Unit 16 形容詞と副詞 第7回 中間テストと復習 第8回 Unit 17 比較 第9回 Unit 18 前置詞と「句」の概念 第10回 Unit 19 接続詞と「節」の概念 第11回 Unit 20 関係詞 第12回 Unit 21 否定 第13回 Unit 22 特殊構文 第14回 文法のまとめ(TOEIC 形式の問題で基礎事項を再確認する) 第15回 定期テストと後期のまとめ						
授業外における学習(準備学習の内容)	必ず予習をすること。						
授業方法	講義と演習による。						
評価基準と評価方法	■試験(中間+期末)×50%、CPポイント(授業中に松田の質問に自発的に手を挙げて正答した回数に対する評価)×50% ■出席は取りません。ただしCPポイントが取れないと単位は絶望的です。						
教科書	『基礎文法からはじめる大学英語学習』石井隆之ほか著(松柏社) 978-4-88198-629-5						
参考書	随時指示する。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	吉井 康博						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2~4	単位数	1.0
授業のテーマ	実践英文法演習						
授業の概要	Practical English Grammar Bの目的は、Aと同様中学校・高等学校で学んだ英文法を復習し知識を整理することで、英語の理解に役立てることです。授業も文法用語による説明は必要最小限にとどめ、用例を用いてできるだけ具体的に説明し、練習問題で学習内容を確認します。前期のAと後期のBで、英語を理解するのに必要な英文法の基本的な項目全般について一通り見ていきます。						
到達目標	文法知識を演習形式で体系づけることにより、英文の意味を正確に捉え、正しい英文が書けるようにします。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Orientation / Perfect and Perfect Progressive Tenses (Second Part) 2. Review Quiz / Future Time (Second Part) 3. Review Quiz / Modals, Part II (Second Part) 4. Review Quiz / The Passive (Second Part) 5. Review Quiz / Noun Clauses (Second Part) 6. Review Quiz / Adjective Clauses (Second Part) 7. Review Quiz / Gerunds and Infinitives, Part I (Second Part) 8. Review Quiz / Gerunds and Infinitives, Part II (Second Part) 9. Review Quiz / Coordinating Conjunctions (Second Part) 10. Review Quiz / Adverb Clauses (Second Part) 11. Review Quiz / Reduction of Adverb Clauses to Adverbial Phrases (Second Part) 12. Review Quiz / Connectives that Expresses Cause and Effect (Second Part) 13. Review Quiz / Conditional Sentences and Wishes (Second Part) 14. Question-and-Answer Session 15. End-of-Semester Review Quiz 						
授業外における学習(準備学習の内容)	毎回復習テストを行いますから、しっかりとテスト準備をすること。						
授業方法	基本事項の解説の後、練習問題を解いていきます。						
評価基準と評価方法	Review Quiz:30% Participation:10% End-of-Semester Review Quiz:60%						
教科書	Understanding and Using English Grammar WORKBOOK Betty S. Azar他 PEARSON EDUCATION Longman ISBN 0-13-241543-7 978-0-13-241543-9						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	TOEFLと海外留学A/TOEFL & Study Abroad A						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEFL ITP受験対策と留学準備						
授業の概要	TOEFLと海外留学Aは、英語学科2年次後期に予定されている中期留学に備え、大学で学ぶ英語に対する学生の能力を高めることによって、1年次の終りのTOEFL試験で高成績を上げるためのコースの前半を成す。教室では、文法知識の授業に加えて、リスニングとリーディングスキルに焦点を当てる。さらに、現代の英語圏諸国での慣習を紹介し、留学先での大学生活に関するアドバイスも与える。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言い換え、否定、受動態、疑問文のリスニング 2. 要約と詳細な情報を得るためのリーディング 3. 文法上の間違いを発見すること 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 クラス分け / Course Introduction 2 Listening 1, Reading 1 3 Structure 1/2, Semester Abroad 4 Listening 2, Reading 2 5 Structure 3/4, Adelaide / S. Australia 6 Listening 3, Reading (TRE1-2) 7 Structure 5/6, Delaware / Washington D.C. & New York 8 Review and Course Test 1 9 Listening 4, Reading 3 10 Structure 7/8, York St. John / York 11 Listening 5, Reading (TRE1-3) 12 Structure 9/10, Homestay 13 Listening 6, Reading 4 14 Structure 11/12/13 15 Course Test 2, Course Summary 						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEFL ITP 試験問題の練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題(20%)、2 x テスト(80%)に基づきます。						
教科書	Phillips, D. Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test (with Answer Key) Pearson Longman ISBN 0-1318-4718-X						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	TOEFLと海外留学A／TOEFL & Study Abroad A						
担当教員	内田 ひろ子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEFL ITP受験対策と留学準備						
授業の概要	TOEFLと海外留学Aは、英語学科2年次後期に予定されている中期留学に備え、英語能力を高めて、1年次の終わりのTOEFL試験で好成績を上げるためのコースの前半を成す。教室では、文法知識の授業に加えて、リスニングとリーディングスキルにも焦点を当てる。さらに、現代の英語圏諸国での慣習を紹介し、留学先での大学生活に関するアドバイスも与える。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言い換え、否定、受動態、疑問文のリーディング 2. 要約と詳細な情報を得るためのリーディング 3. 文法上の間違いを発見すること。 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラス分け/ Course Introduction 2. Structure 1-2, Listening 1 3. Reading 1 4. Structure 3-4, Listening 2 5. Reading 2-1 6. Reading 2-2, Listening 3 7. Structure 5-6 8. Review, Course Test A 9. Reading 3-1, Listening 4 10. Reading 3-2 11. Structure 7-8, Listening 5 12. Reading 4-1 13. Reading 4-2, Listening 6 14. Structure 9-10 15. Review, Course Test B 						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEFL ITP試験問題の練習と海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	宿題（20%）、2 x テスト（80%）						
教科書	Phillips, D. Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test (with Answer Key) Pearson Longman ISBN 0-1318-4718-X						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	TOEFLと海外留学B/TOEFL & Study Abroad B						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEFL ITP受験対策と留学準備						
授業の概要	TOEFLと海外留学Bでは、以下の3点に焦点を当てることにより、さらにリスニングとリーディングスキル、文法知識を伸ばすことを図る。さらに、英語圏の社会での家庭生活を紹介し、学生がホームステイと地域社会での生活にうまく溶け込めるようなアドバイスを与える。最後に実際のTOEFL試験問題を集中的に練習し、受験に備える。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 長い会話と講義のリスニング 2. 行間を読むことと文脈から語彙の意味を推測する 3. 誤解されやすい文法事項と慣用表現 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Listening 7, Reading TRE1-4 (One/Two) 2. Structure 14/15, Study Abroad Questions 3. Listening 8, Reading 5 (One/Two) 4. Structure 17/18, Study Abroad Answers 5. Listening 9, Reading TRE1-5 (One/Two) 6. Structure 19/20, Pre-TOEFL Listening - Practice Test 7. Pre-TOEFL S&R, Reading TRE1-5 (Three) 8. Listening 11, Reading 6 (One/Two) 9. Review and Course Test 1 10. Listening 12, Structure 23 11. Structure 24/25, Reading 6 (Three) 12. Reading (TRE1-6), Structure (TRE1-25) 13. Post-test Listening 14. Post-test Structure 15. Course Test 2, Course Summary 						
授業外における学習(準備学習の内容)	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEFL-PBT試験問題の練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題(20%)、2 x テスト(80%)に基づきます。						
教科書	Philips, D. Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test (with Answer Key) Pearson Longman ISBN 0-1318-4718-X						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	TOEFLと海外留学B／TOEFL & Study Abroad B						
担当教員	内田 ひろ子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEFL ITP受験対策と留学準備						
授業の概要	TOEFLと海外留学Bは、到達目標の3点に焦点を当てることにより、さらにリスニングとリーディングスキル、文法知識を伸ばすことを図る。さらに、英語圏の社会での家庭生活を紹介し、学生がホームステイと地域社会での生活にうまく溶け込めるようなアドバイスを与える。最後に実際のTOEFL試験問題を集中的に練習し、受験に備える						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 長い会話と講義のリスニング 2. 行間を読むことと文脈から語彙の意味を推測する 3. 誤解されやすい文法事項と慣用表現 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Reading 5, Listening 7-9 2. Structure 11-13 3. Reading 6-1 4. Reading 6-2, Listening 10-12 5. Structure 14-15 6. Structure 16-18 7. Reading Post Test 8. Review, Course Test A 9. Structure 19-20 10. Structure 21-23, Listening Post Test 11. Structure 24-25 12. Structure Post Test 13. Complete Test 1 14. Complete Test 2 15. Review, Course Test 						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEFL ITP試験問題の練習と海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	宿題（20%）、2 x テスト（80%）						
教科書	Phillips, D. Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test (with Answer Key) Pearson Longman ISBN 0-1318-4718-X						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	歌・ドラマで学ぶ英語A/English through Music and Drama A						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Fantasy in English literature through song and drama						
授業の概要	This course will introduce students to works of fantasy in English literature such as Mother Goose Nursery Rhymes, Alice in Wonderland, and so on. Students will explore the cultural and social background of these works, and experience the pleasure that literature can afford through recitation and the performance of dialogue and song. These activities will help students develop their pronunciation and self-confidence, while drama games will require students to exercise imagination and express emotion.						
到達目標	Focusing on song, drama or film based on verse or novels, the aim of this course is to give students not only an understanding of literature but also an opportunity to experience literary expression in performance and appreciate its value in education.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction - Fantasy 2. The 'Word of Mouth' Tradition - "Mother Goose" 3. Rhythm, Rhyme and Recitation - Children's Verse 4. Rhythm, Rhyme and Recitation - Light Verse 5. Individual Presentations 6. Lewis Carroll and the "Alice" Books 7. Reading an Extract - Cheshire Cat 8. Wordplay and Riddles - The Mad Hatter's Tea Party 9. Group Task - Screenplay Transcription and Performance 10. Musical Theatre in London's West End 11. Discussion of P.L.Travers and her "Mary Poppins" Books 12. Mary Poppins - The Movie (1) / Q&A 13. Mary Poppins - The Movie (2) / Q&A 14. Group Presentations - Songs 15. Review and Test 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Read lesson material before class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on participation (20%), presentations (40%) and end-of-term test (40%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	歌・ドラマで学ぶ英語B/English through Music and Drama B						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Realism in English literature through song and drama						
授業の概要	This course will introduce students to longer and more challenging works in English that portray the reality of social conditions and the complexity of human relations, such as the 19th-century <i>Oliver Twist</i> and the more contemporary popular and folk music of the 1960s. Students will explore the historical and social background of these works, and experience the pleasure that literature can afford through a variety of performance activities in the classroom.						
到達目標	Focusing on song, drama or film based on verse or novels, the aim of this course is to give students not only an understanding of literature but also an opportunity to experience literary expression in performance and appreciate its value in education.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction - Realism 2. Charles Dickens, 19th Century London, and <i>Oliver Twist</i> 3. <i>Oliver!</i> - The Movie (1) / Q&A 4. <i>Oliver!</i> - The Movie (2) / Q&A 5. Group Presentations - Songs 6. Alice Walker and Georgia in the 1930s 7. Reading an Extract from "The Color Purple" 8. <i>The Color Purple</i> - The Movie (1) / Q&A 9. <i>The Color Purple</i> - The Movie (2) / Q&A 10. Group Presentations - Memorable Scenes 11. Popular Music in the 1960s 12. Contemporary Folk Music 13. Women's Voices 14. Group Presentations - Songs 15. Review and Test 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Read lesson material before class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on participation (20%), presentations (40%), a movie report (20%), and an end-of-term test (20%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	エアラインイングリッシュ						
担当教員	安藤 裕子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	エアライン（航空業界）を素材にして、英語でのCommunication能力を習得、向上させる						
授業の概要	飛行機や機内の旅などを題材として、楽しみながら英語力を向上をはかります。英語による自己紹介から In-Flight Englishや機内アナウンスまで広範囲にわたる学習内容で、エアラインへの就職を目指している方だけでなく、英語と海外に関心のある方ならだれでも、さまざまな場面に対応できるcommunication能力を身につけることができます。また、乗客としても乗務員としても活用範囲の広いエアライン用語などもふんだんに紹介し、その習得を通じて、英語力の総合的な向上を目指します。						
到達目標	1. 英語による自己紹介ができるようになる 2. 会話において、きちんとした丁寧な言い方を身につけることができる 3. 英語の機内アナウンスを、理解できるようになる 「エアライン」に関する用語を習得する						
授業計画	1. Introduction /Basic Questions 1~7 (名前、専攻etc.) 2. Basic Questions 8~13 (出身地etc.) / Public Address 離陸許可・出発遅延 3. Basic Questions 14~15 (海外経験etc.) /Greeting&入退室 4. Basic Questions 16~18 (英語力etc.) / Public Address 搭乗御礼 5. Basic Questions 19~20 (学生生活etc.) /Public Address 手荷物収納 6. Basic Questions 21~22 (性格etc.) / Public Address 電子機器使用制限 7. Motives & Reasons 23 (志望動機) / Public Address 救命胴衣. ベルトサイン 8. Motives & Reasons 25 (自己PR) / Public Address 搭乗御礼&FAREWELL 9. Greeting&入退室 / General review 10. Applied Interview Questions / In-Flight English(Before Departure) 11. In-Flight English(Before Departure) 12. In-Flight English(Liquor Service) 13. In-Flight English(Meal Service) 14. In-Flight English(others) 15. Interview questions Review & Mock Interview *Our schedule allows a few minutes for vocabularyd studying every session.						
授業外における学習（準備学習の内容）	初回授業時に、クラス内にて指示します。						
授業方法	講義と、テキストに沿った実践的practiceで行います。						
評価基準と評価方法	平常点15%、試験85%（実技試験と筆記試験）						
教科書	教科書に関しては、初回授業時に、クラス内にて指示します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	エアラインイングリッシュ						
担当教員	安藤 裕子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	エアライン（航空業界）を素材にして、英語でのCommunication能力を習得、向上させる						
授業の概要	飛行機や機内の旅などを題材として、楽しみながら英語力を向上をはかります。英語による自己紹介から In-Flight Englishや機内アナウンスまで広範囲にわたる学習内容で、エアラインへの就職を目指している方だけでなく、英語と海外に関心のある方ならだれでも、さまざまな場面に対応できるcommunication能力を身につけることができます。また、乗客としても乗務員としても活用範囲の広いエアライン用語などもふんだんに紹介し、その習得を通じて、英語力の総合的な向上を目指します。						
到達目標	1. 英語による自己紹介ができるようになる 2. 会話において、きちんとした丁寧な言い方を身につけることができる 3. 英語の機内アナウンスを、理解できるようになる 「エアライン」に関する用語を習得する						
授業計画	1. Introduction /Basic Questions 1~7 (名前、専攻etc.) 2. Basic Questions 8~13 (出身地etc.) / Public Address 離陸許可・出発遅延 3. Basic Questions 14~15 (海外経験etc.) /Greeting&入退室 4. Basic Questions 16~18 (英語力etc.) / Public Address 搭乗御礼 5. Basic Questions 19~20 (学生生活etc.) /Public Address 手荷物収納 6. Basic Questions 21~22 (性格etc.) / Public Address 電子機器使用制限 7. Motives & Reasons 23 (志望動機) / Public Address 救命胴衣.ベルトサイン 8. Motives & Reasons 25 (自己PR) / Public Address 搭乗御礼&FAREWELL 9. Greeting&入退室 / General review 10. Applied Interview Questions / In-Flight English(Before Departure) 11. In-Flight English(Before Departure) 12. In-Flight English(Liquor Service) 13. In-Flight English(Meal Service) 14. In-Flight English(others) 15. Interview questions Review & Mock Interview *Our schedule allows a few minutes for vocabularyd studying every session.						
授業外における学習（準備学習の内容）	初回授業時に、クラス内にて指示します。						
授業方法	講義と、テキストに沿った実践的practiceで行います。						
評価基準と評価方法	平常点15%、試験85%（実技試験と筆記試験）						
教科書	教科書に関しては、初回授業時に、クラス内にて指示します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語学概論A						
担当教員	柏本 吉章						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	さまざまな視点から英語の成り立ちを概観する						
授業の概要	<p>国際社会の中での英語の位置づけ、英語の歴史、英語の音韻、語の形態など、英語の姿をとらえるいくつかの通時的側面、共時的側面について紹介し、英語学の基本的な考え方への導入を図る。</p> <p>受講希望者へ 英語教育関係を進路とする人に限らず、「英語ってどんな言語」と関心を持つ人、英語をより身近なものにしたいと考える人を対象に、英語学の基本的な考え方に親しんでもらうことを目指します。</p>						
到達目標	専門課程において、また卒業後の社会生活においても英語と深く付き合っていく学生にとって、その土台となる英語という言葉の歴史と変遷、またその形式的特性についての基礎的知識の獲得が目標となる。						
授業計画	第1回 英語について考える視点 第2回 世界の中の英語 第3回 英語の方言、アメリカ英語とイギリス英語 第4回 イギリスの歴史、英語の始まり 第5回 古期英語の姿 第6回 中期英語 への変遷 第7回 近代英語への流れ 第8回 発音のしくみと音の種類 第9回 音素の考え方 第10回 音節の構造、音の変化 第11回 強勢とイントネーション 第12回 形態論の考え方 第13回 語を作る要素 第14回 語形成のしくみ 第15回 授業内容のまとめ・総復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の授業で取り扱う箇所の事前学習						
授業方法	講義と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	平常点 30%、期末試験 70% 授業回数の3分の2以上出席した人が定期試験の受験資格を得るものとします。						
教科書	『新 えいご・エイゴ・英語学』、稲木昭子・堀田知子・沖田知子著、松柏社、ISBN4-7754-0004-5						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語学概論B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語という言語の性質を理解するための基礎的概念を概観する。						
授業の概要	<p>英語学の分野のうち、英語の文法構造、意味のあり方、対人関係の中での機能、ことばと社会の関係など、現代英語を構成するさまざまな形式的、機能的側面を取り上げ、英語研究への更なる関心を導き出すことを目指す。英語学の基礎的概念の理解だけでなく、言語を観察、分析するための方法論についても紹介し、科学的な視点からの英語の観察法や分析法に親しむ機会を提供する。</p> <p>受講者希望者へ さまざまな視点から「英語の成り立ちと働き」を概観する授業です。英語教育関係を進路とする人のほか、色々な分野で英語と深く付き合っていくみなさんにとって、その活動の土台となる知識を提供します。</p>						
到達目標	専門課程における多方向からの英語の探求に備えて、英語学の基本的知識や考え方の理解に基づく素地作りを目的とする。						
授業計画	第1回 はじめに：英語の音のしくみ、語のしくみ、文のしくみ 第2回 統語論(1) 文の分析方法 第3回 統語論(2) 文の構造と意味 第4回 統語論(3) 英文法と普遍文法 第5回 意味論(1) 意味の多様性 第6回 意味論(2) 意味の変化と意味関係 第7回 意味論(3) 意味の意味 第8回 語用論(1) 発話としてのことばの意味 第9回 語用論(2) 会話のルールとていねいさ、テキストと談話 第10回 語用論(3) テキストと談話 第11回 文体論(1) 文体と使用域 第12回 文体論(2) 英語のスタイル 第13回 コミュニケーションの成立、動物のコミュニケーションと人間の言語 第14回 言語と社会、言語と文化 第15回 学期のまとめと総復習、期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	教科書内の授業で扱う箇所の事前学習						
授業方法	講義と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	平常点 30%、期末試験成績 70% 授業回数の3分の2以上出席した人が定期試験の受験資格を得るものとします。						
教科書	『新 えいご・エイゴ・英語学』、稲木昭子・堀田知子・沖田知子著、松柏社、ISBN4-7754-0004-5						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語教育概論A						
担当教員	岩井 麻紀						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語教育と英語学習						
授業の概要	母語習得、及び第二言語習得理論などを紹介し、その理論をどのように外国語学習、及び指導に生かすことができるか考えます。また、英語の絵本や歌も紹介します。						
到達目標	英語教育の背景にある基本的な理論を理解し、英語の4技能を高めるための指導に必要な実践的な知識を修得する。 英語の絵本や歌などを通して、早期英語教育に必要な英語力を高める。						
授業計画	第1回：母語を基礎に外国語は習得される 第2回：母語を基礎に外国語は習得される 第3回：なぜ子どもはことばが習得できるのか―「臨界期仮説」を考える 第4回：なぜ子どもはことばが習得できるのか―「臨界期仮説」を考える 第5回：どんな学習者が外国語学習に成功するか―個人差と動機づけの問題 第6回：どんな学習者が外国語学習に成功するか―個人差と動機づけの問題 第7回：外国語学習のメカニズム―言語はルールでは割り切れない 第8回：外国語学習のメカニズム―言語はルールでは割り切れない 第9回：外国語を身につけるために―第二言語習得理論の成果をどう生かすか 第10回：外国語を身につけるために―第二言語習得理論の成果をどう生かすか 第11回：効果的な外国語学習法 第12回：効果的な外国語学習法 第13回：効果的な外国語学習法 第14回：質疑応答・試験 第15回：総復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従って、該当箇所を読んでおいてください。 授業後学習：授業で学んだことをまとめ、復習してください。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	テスト40% 平常点60%						
教科書	白井恭弘著『外国語学習の科学：第二言語習得論とは何か』（岩波書店）						
参考書	Pamela Conn Beall & Susan Hagen Nipp著『Wee Sing: The Best of Wee Sing』（Price Stern Sloan） Janet Schulman編『20th Century Children's Book Treasury』（Alfred A. Knopf）						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語教育概論B						
担当教員	岩井 麻紀						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語教育と英語学習						
授業の概要	英語の教授法を紹介し、指導法を学びます。また、英語を教える際に必要となる英語表現を身につけることも目指します。						
到達目標	第二言語習得の基礎理論と方法論などを学ぶ。 教室英語など指導に必要な実践的な英語コミュニケーション能力を高める。						
授業計画	第1回：英語教授法① Warm up・Closing Remarks 第2回：英語教授法② Classroom Commands 第3回：英語教授法③ Performance Activities 第4回：リスニングの指導① Interactions with ALT 第5回：リスニングの指導② Games: Sugoroku・Bingo 第6回：スピーキングの指導① Games: Cards 第7回：スピーキングの指導② Total Physical Response 第8回：リーディングの指導① Coloring・Drawing・Making 第9回：リーディングの指導② Festivals and Events 第10回：ライティングの指導① School Life 第11回：ライティングの指導② Play 第12回：異文化理解① Sports 第13回：異文化理解② Animals and Insects 第14回：質疑応答・試験 第15回：総復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従って、教科書の該当箇所の問題をしておいてください。 授業後学習：授業内容を復習してください。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	テスト40% 平常点60%						
教科書	カレイラ松崎順子著『子どもに英語を教えるための教室英語』（南雲堂）						
参考書	Pamela Conn Beall & Susan Hagen Nipp著『Wee Sing: The Best of Wee Sing』（Price Stern Sloan） Janet Schulman編『20th Century Children's Book Treasury』（Alfred A. Knopf）						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化概論A／Introduction to English-Speaking Cu						
担当教員	C. L. Starling						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English-speaking cultures: how they developed and how they became diverse.						
授業の概要	英語圏の文化概論Aではイギリス英語の歴史や発展を考察した後、アメリカ英語誕生の経緯を観察し、さらには、イギリス英語とアメリカ英語というもともと影響力のある2種類の英語について、その比較をおこなう。授業では英語の歴史の重要な諸相に重点を置き、ノルマン征服、古期英語とフランス語から中世英語が誕生したこと、シェークスピアの16世紀に初期英語が誕生するに至った変遷、印刷技術と創成期の辞書がイギリス英語とアメリカ英語の標準化に果たした役割を検証する。						
到達目標	To develop students' knowledge of English-speaking cultures in their diversity. To develop students' reading, writing and listening skills.						
授業計画	第1回 : Course information; overview of English variants; pre-English cultures in Britain 第2回 : The Historical development of English in Britain (i) 第3回 : The Historical development of English in Britain (ii) 第4回 : The Historical development of English in Britain (iii) 第5回 : The Historical development of English in Britain (iv) 第6回 : Review of classes 1-5 第7回 : English goes to America 第8回 : Early "ingredients" of American English 第9回 : African American English 第10回 : The French influence on American English 第11回 : Cajun language and life as seen in "Jambalaya" 第12回 : Britain and America: What's different? 第13回 : Review of classes 1-5 第14回 : Review of classes 7-11 第15回 : Revision of all classes and final test						
授業外における学習(準備学習の内容)	Before the course, students should make themselves familiar with world geography in order to understand and references to countries in class activities.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Points total 100. In almost all classes, there will be a task sheet. This sheet will usually contain questions on a reading and questions on a lecture. 50% of grades will be based on these task sheets. The other 50% will be based on your score in the final examination (class 15).						
教科書	None (prints are used)						
参考書	McCrum, Cran and MacNeil (1986). The Story of English. London: Faber						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化概論B／Introduction to English-Speaking Cu						
担当教員	C. L. Starling						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English-speaking cultures: how they developed and how they became diverse.						
授業の概要	英語圏の文化概論Bでは、他の主要な英語として、オセアニア、アジア、アフリカ各地で使用されている英語についての研究をおこなう。授業の中では、英語を急速に世界中に広めることにつながった歴史上のいくつかの重要なできごとを紹介し、結果として拡大した英語圏の社会についての基本的な知識が身につくようにする。						
到達目標	To develop students' knowledge of English-speaking cultures in their diversity. To develop students' reading, writing and listening skills.						
授業計画	第1回 : Summary lesson on Introduction to English-speaking cultures A 第2回 : Rural cultures of Britain 第3回 : A sample of British urban cultures: Brummie, Geordie, Scouse 第4回 : Cockney language and culture 第5回 : Irish English 第6回 : Australian English 第7回 : Review of classes 1-6 第8回 : New Zealand English 第9回 : Aussie and Kiwi culture 第10回 : Indian English and Singaporean English 第11回 : Ghanaian English and others 第12回 : English, the global language 第13回 : Review of classes 2-8 第14回 : Review of classes 9-12 第15回 : Revision of all classes and final test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Before the course, students should make themselves familiar with world geography in order to understand and references to countries in class activities.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Points total 100. In almost all classes, there will be a task sheet. This sheet will usually contain questions on a reading and questions on a lecture. 50% of grades will be based on these task sheets. The other 50% will be based on your score in the final examination (class 15).						
教科書	None (prints are used)						
参考書	McCrum, Cran and MacNeil (1986). The Story of English. London: Faber and Faber						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化特論A/Special Lecture on English-Speaking						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	An introduction to Britain and its people.						
授業の概要	In this course we will look at Britain and its society to discover what it means to be British and live in Britain today. The course will be taught by lecture, supplemented by readings in English and audio-visual material.						
到達目標	You will learn about Britain and the British people and make comparisons with Japan and Japanese society.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) What is Britain and Who are the British? 3) An Introduction to Britain (Text book: Unit 1) 4) Regions of Britain 5) Multicultural Britain 6) The Class System. 7) British Cinema: My Fair Lady 8) Schools (Text book: Unit 2) 9) The English Language 10) British Food (Text book: Unit 3) 11) British Food (Text book: Unit 3) 12) Northern Ireland. British Cinema: In the Name of the Father 13) British Cinema: In the Name of the Father 14) Revision 15) Review and Test 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Sometimes you will be required to read or do worksheets at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Test Poor attendance will affect your grade and failure to attend the required number of classes may result in failure.						
教科書	Window on Britain (Activity Book), Richard MacAndrew, Oxford University Press ISBN: 0-19-459038-0 Prints. You must buy a clear file in which to keep them and the work you do.						
参考書	Please bring a dictionary to class.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化特論B/Special Lecture on English-Speaking						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	An introduction to the people and culture of Britain						
授業の概要	This course will build on the introduction of Special Lecture on English-Speaking Cultures A, looking in more detail at aspects of British life and culture. You will be expected to make comparisons with Japan and Japanese society.						
到達目標	To give an insight into British society today and to help you make comparisons with Japan and Japanese society. You will make a presentation during this class.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) British Cinema: Trainspotting 2) British Cinema: Trainspotting 3) The Royal Family 4) The British Home (Text book: Unit 4) 5) The British Home (Text book: Unit 4) 6) Sport (Text book: Unit 5) 7) Pop Music (Text book: Unit 7) 8) London (Text book: Unit 8) 9) Oral Presentations 10) Oral Presentations 11) Festivals: Christmas (Text book: Unit 6) 12) Festivals (Text book: Unit 6) 13) Marriage/British Cinema: Four Weddings and a Funeral 14) Revision 15) Review and Test 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Sometimes you will be required to read or do worksheets at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	<p>Oral Presentation. Test</p> <p>Poor attendance will affect your grade and failure to attend the required number of classes may result in failure.</p>						
教科書	<p>Window on Britain (Activity Book), Richard MacAndrew, Oxford University Press ISBN: 0-19-459038-0</p> <p>Prints. You must buy a clear file in which to keep them and the work you do.</p>						
参考書	Please bring a dictionary to class.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論A						
担当教員	川中 紀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化とコミュニケーション						
授業の概要	<p>文化とコミュニケーション</p> <p>この授業のねらいは主に2つあります。1つは英語圏の人々と「異文化間コミュニケーション」ができるような実践的英語力の基礎を身につけることです。もう1つは、「コミュニケーション」のしくみを理論的に学ぶことです。</p> <p>本年度は、英語圏を中心とした海外のテレビ・コマーシャルを実際に数多く見ることによって、ナチュラル・スピードの英語の聴解力を養い、英語圏の文化に対する理解を深めます。</p> <p>コマーシャルの分析を通じて、メッセージの伝達方法と文化の関連を考え、日本文化と英語圏文化の差異について具体例に基づいて検討します。また、コミュニケーション論の隣接領域である心理学の基礎知識や英語通訳技術の基礎、そしてコミュニケーションの理論を紹介し、効果的な異文化間コミュニケーション能力を養成します。</p> <p>このような知識・能力は、ジャーナリズムや航空・旅行業界などの接客業に関心がある人にとっても就職に有利な武器になるでしょう。</p> <p>また、将来、留学を考えている人にとっては、実践的な異文化間コミュニケーション力の基礎を養うことができるでしょう。</p>						
到達目標	<p>実践的な英語コミュニケーション力を身につけること。</p> <p>文化とコミュニケーションについて理解を深めること。</p>						
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 第1章</p> <p>第2回 第2章：比較広告①</p> <p>第3回 第3章：ステレオタイプ</p> <p>第4回 演習：コミュニケーションの理論（身体運動学、近接学）</p> <p>第5回 第4章：英国とデンマークのコマーシャル</p> <p>第6回 第5章：高齢者をテーマにした米国のコマーシャル</p> <p>第7回 第6章：英国と米国のコマーシャルの比較</p> <p>第8回 演習：非言語コミュニケーション（近接学II）</p> <p>第9回 第7章：ドイツのコマーシャル</p> <p>第10回 第8章：韓国のコマーシャル</p> <p>第11回 第9章：米国で放送禁止のコマーシャル</p> <p>第12回 第10章：動物をトピックにしたコマーシャル</p> <p>第13回 第11章：比較広告②</p> <p>第14回 第12章：PSAの広告</p> <p>第15回 まとめとテスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習を十分して授業にのぞむこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	<p>受講状況を考慮に入れ、レポート(3割)・試験(7割)の総合評価。最終試験の成績を重視します。欠席についてはマイナス点として評価します。</p> <p>試験で60点未満の人、また試験を受験しなかった人はレポートを提出しても不合格になります。レポートを提出しなかった人は、試験で満点に近い点数がとれないと不合格となります。</p>						
教科書	<p>TVコマーシャルに見る異文化 (I)</p> <p>岩崎暁男ほか著 (成美堂)</p> <p>ISBN 4-7919-4544-1</p>						
参考書	<p>参考書の購入は受講生に任せます。授業の内容を更に深めたい学生は、以下の参考書の購入が望ましいです。また、様々な参考文献を毎回紹介します。</p> <p>テキスト心理学 橋本憲尚ほか著 (ミネルヴァ書房)</p>						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論A						
担当教員	辻野 理花						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化とコミュニケーション						
授業の概要	英語コミュニケーション概論Aでは、異文化間コミュニケーションの理論と実践を学ぶ。コンテキストと伝達情報の関係、非言語コミュニケーションの理論を紹介し、文化による差異を考察する。また、テレビ・コマーシャルを含むメディア研究カルチャーショックの事例研究を基にして異文化間コミュニケーション能力と実践的英語力を養う。						
到達目標	異文化間コミュニケーションの理論について学ぶことができる 実践的な英語能力を身につける						
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 第2回 非言語コミュニケーション① 第3回 非言語コミュニケーション② 第4回 非言語コミュニケーション③ 第5回 コンテキストと情報伝達 第6回 TVコマーシャルに見るステレオタイプ 第7回 PSA広告① 第8回 PSA広告② 第9回 映像に見るステレオタイプ① 第10回 映像に見るステレオタイプ② 第11回 映像に見るステレオタイプ③ 第12回 カルチャーショック① 第13回 カルチャーショック② 第14回 異文化のまなざし 第15回 まとめ</p> <p>各テーマごとに、映像資料などをとりいれ、進めていきます。また英語の教材も適宜使います。講義の進捗によって、順序や内容を変更することもあります</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習として出される課題をしっかりと準備してくる						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	受講状況、授業中に書いてもらう小レポートと小テスト（複数回）で評価する（小テスト：小レポート：平常点＝3：1：1で評価する）						
教科書	プリントを配布します。						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論B						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化とコミュニケーション						
授業の概要	<p>テレビ・コマーシャルに見る異文化</p> <p>この授業では、主に英語圏のテレビ・コマーシャルを数多く見て、ナチュラル・スピードの英語の聞き取りに慣れ、異文化への理解を深めることを目標にします。</p> <p>短時間で、製品やサービスを売り込むことをねらって制作されているコマーシャルには、それぞれの文化が「最も効果的」だと考えるコミュニケーション・スタイルのエッセンスが詰まっています。</p> <p>「英語コミュニケーション概論A」の応用編、という意味のある授業なので、川中紀子担当の概論Aを受講した上でこの授業を受ければ、異文化間コミュニケーションへの理解が深まり、より高度な英語の聞き取りに挑戦することができるでしょう。</p> <p>また、2回生から初めて川中紀子担当の授業を受ける人にとっても、海外のコマーシャルを見ながら、実践的な英語力が身につくように指導します。留学・就職にも役に立つ授業になるでしょう。</p> <p>随時、実際に英語圏の大学・大学院で使われているコミュニケーション論のテキスト（洋書）やTOEFLの練習問題も使いますので、留学を考えている人には、その準備となるでしょう。</p>						
到達目標	ナチュラル・スピードの英語の聞き取りに慣れ、英語圏の文化について理解を深めること。						
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション（広告の社会・文化的背景）</p> <p>第2回：第1章（アメリカ合衆国の広告の特徴）</p> <p>第3回：第2章（比較広告）</p> <p>第4回：第3章（SFをテーマにした広告）</p> <p>第5回：第4章（問題解決志向の広告）</p> <p>第6回：第5章（歴史的な事実を用いた広告）</p> <p>第7回：第6章（誇大広告）</p> <p>第8回：第7章（環境保護をテーマにした広告）</p> <p>第9回：第8章（映画をもとに作られた広告）</p> <p>第10回：第9章（「お金」がテーマの広告）</p> <p>第11回：第10章（ストーリー形式の広告）</p> <p>第12回：第11章（音楽を用いた広告）</p> <p>第13回：第12章（非言語コミュニケーションの理論を学ぶ広告）</p> <p>第14回：まとめと受講生のプレゼンテーション</p> <p>第15回：復習と受講生のプレゼンテーション、テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習を十分して授業にのぞむこと。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	<p>受講状況（出席・発表）を考慮に入れ、試験（7割）とレポート（3割）の総合評価。</p> <p>試験を受験しなかった人は、レポートを提出しても不合格となります。</p> <p>また、レポートを提出しなかった人は、テストが満点に近くないと不合格となりますので、注意してください。</p>						
教科書	<p>TVコマーシャルに見る異文化（II）</p> <p>岩崎暁男ほか（成美堂）</p> <p>ISBN 4-7919-4559-X</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論B						
担当教員	辻野 理花						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化とコミュニケーション						
授業の概要	英語コミュニケーション概論Bでは、英語コミュニケーション概論Aで身につけた知識と英語力をもとに、更に専門的な異文化間コミュニケーションについての理論を学ぶ。時間・空間の認識の文化による差異、自己、アイデンティティと文化との関わりなどについての理論を、英語の文献で紹介することによって、高度な英語力の読解力と異文化理解についての理解を深める。カルチャーショックに対応するために開発されたシミュレーションゲームや異文化理解のためのロールプレイなども、随時とりいれながら、実践的なコミュニケーション能力を養う。						
到達目標	異文化間コミュニケーションの理論についての理解を深める 実践的な英語能力を身につける						
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 第2回 空間・時間の認識① 第3回 空間・時間の認識② 第4回 空間・時間の認識③ 第5回 異文化理解とカルチャーショック① 第6回 異文化理解とカルチャーショック② 第7回 異文化理解とカルチャーショック③ 第8回 価値、規則と異文化衝突① 第9回 価値、規則と異文化衝突② 第10回 グローバリゼーションとアイデンティティ① 第11回 グローバリゼーションとアイデンティティ② 第12回 グローバリゼーションとアイデンティティ③ 第13回 TVコマーシャルの創りだすイメージ① 第14回 メディアの創りだすイメージ 第15回 まとめ</p> <p>各テーマごとに、映像資料などをとりいれ、進めていきます。また英語の教材も適宜使います。講義の進度によって、順序や内容を変更することもあります</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習として出される課題をしっかりと準備してくること						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	受講状況、授業中に書いてもらう小レポートと小テスト（複数回）で評価する。（小テスト：小レポート：平常点＝3：1：1で評価する）						
教科書	プリントを配布します。						
参考書	授業注意紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション特論A/Special Lecture on Communicati						
担当教員	川中 紀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画理論と文化						
授業の概要	<p>映画理論と文化</p> <p>映画ビデオを観ながら、映画理論・分析方法論を紹介します。社会の中でメディアが果たす役割と文化に及ぼす影響、また「女性性」の表現について考察します。時代とともに変化するディズニー・プリンセスの女性像にも焦点をあて、映画を通して英語表現を学ぶことも目指します。時間が許せば、宮崎アニメの女性像・男性像も考察します。</p> <p>前期（特論A）はヒッチコックの映画『裏窓』『めまい』を中心に「見る男性・行動する男性」に対して「見られる女性・受身の女性」という図式を映像の中に読み取っていくフェミニスト映画理論について批評します。</p> <p>後期（特論B）は、前期で紹介したカメラ・アイ、ファッションなどを含む映画理論・分析方法論を「女性の心の発達」というテーマから考察していきます。</p> <p>後期では、女性の心が成長するプロセスを扱った映画の中で、ヒッチコックの『レベッカ』を鑑賞し、批評家の分析を紹介することから始めます。女性の心の発達を映画を通じて考える良い機会になるでしょう。『ローマの休日』『千と千尋の神隠し』『時をかける少女』『ハウルの動く城』などの映画の鑑賞・分析も予定していますが、後期で中心となるのは、受講生みなさんの映画の発表とディスカッションです。</p> <p>3、4回生での演習・卒論に取り組む際にはもちろん、社会人になっても重要となる「プレゼンテーション力」「コミュニケーション力」を鍛えるためにも、レジュメを作成して発表するという経験に早くから挑戦してもらいたいものです。時間が許せば、映画のほかにも人気漫画や演劇などにも触れ、さまざまな女性像・男性像を考えてみたいのです。</p> <p>映画が好きな受講生はもちろん、ポピュラー・カルチャー、ファッション、フェミニズムなど幅広い関心を持った皆さんの積極的な参加を期待します。映画を楽しみ、積極的にディスカッションや発表に参加したい人はぜひ受講して下さい。できれば、特論A、Bと通年で履修されることを薦めます。</p>						
到達目標	<p>映画と文化のかかわりについて、理解を深めること。</p> <p>また、字幕無しで映画テキストを理解し、英語の文献を読む力を養います。</p>						
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション</p> <p>第2回：コミュニケーションのしくみと非言語コミュニケーションの役割</p> <p>第3回：『裏窓』鑑賞と批評Ⅰ</p> <p>第4回：『裏窓』鑑賞と批評Ⅱ</p> <p>第5回：『裏窓』鑑賞と批評Ⅲ</p> <p>第6回：『めまい』鑑賞と批評Ⅰ</p> <p>第7回：『めまい』鑑賞と批評Ⅱ</p> <p>第8回：『めまい』鑑賞と批評Ⅲ</p> <p>第9回：『裏窓』『めまい』の比較</p> <p>第10回：映画理論のまとめ</p> <p>第11回：受講生の選択による映画</p> <p>第12回：受講生のプレゼンテーション</p> <p>第13回：受講生のプレゼンテーションⅡ</p> <p>第14回：プレゼンテーションの技法とレポート作成について</p> <p>第15回：まとめと試験</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	しっかり予習をして授業に臨むこと。						
授業方法	講義形式						
評価基準と評価方法	受講状況（毎回のレポートと希望者による発表）を考慮に入れ、最終レポート（5割）試験（5割）の総合評価。						
教科書	配布プリント						

参考書	『ビデオで女性学』井上輝子ほか著、有斐閣 その他、たくさんの参考書、参考文献を授業中に指示します。
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション特論B/Special Lecture on Communicati						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画理論と文化						
授業の概要	<p>映画理論と文化</p> <p>映画ビデオを観ながら、映画理論・分析方法論を紹介し、社会の中でメディアが果たす役割と文化に及ぼす影響、また「女性性」の表現について考察します。白雪姫、シンデレラ、(シンデレラII)、オーロラ姫、ベル、アリエル、ジャスミン、そして『魔法にかけられて』のジゼルなど、様々なディズニー・プリンセスもとりあげ、時代によって変化する女性像を考察していきます。英語で映画を見ることにより、英語の力を向上させることも目指します。</p> <p>前期(特論A)はヒッチコックの映画『裏窓』『めまい』を中心に「見る男性・行動する男性」に対して「見られる女性・受身の女性」という図式を映像の中に読み取っていくフェミニスト映画理論について批評します。</p> <p>後期(特論B)は、前期で紹介したカメラ・アイ、ファッションなどを含む映画理論・分析方法論を「女性の心の発達」というテーマから考察していきます。</p> <p>後期では、女性の心が成長するプロセスを扱った映画の中で、ヒッチコックの『レベッカ』を鑑賞し、批評家の分析を紹介することから始めます。女性の心の発達を映画を通じて考える良い機会になるでしょう。『ローマの休日』『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』『時をかける少女』などの映画の鑑賞・分析も予定していますが、後期で中心となるのは、受講生みなさんの映画の発表とディスカッションです。</p> <p>3、4回生での演習・卒論に取り組む際にはもちろん、社会人になっても重要となる「プレゼンテーション力」「コミュニケーション力」を鍛えるためにも、レジュメを作成して発表するという経験に早くから挑戦してもらいたいものです。時間が許せば、映画のほかにも人気漫画や演劇などにも触れ、さまざまな女性像・男性像を考えてみたいですね。</p> <p>映画が好きな受講生はもちろん、ポピュラー・カルチャー、ファッション、フェミニズムなど幅広い関心を持った皆さんの積極的な参加を期待します。映画を楽しみ、積極的にディスカッションや発表に参加したい人はぜひ受講して下さい。特論A、Bと通年で履修されることを薦めます。</p>						
到達目標	<p>映画と文化のかかわりについて理解を深めること。</p> <p>字幕無しで映画を理解し、英語テキストを講読する力も養います。</p> <p>また、受講生が選んだ映画についてのプレゼンテーションを通じて、表現力、コミュニケーション力も向上させていきます。</p>						
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション(非言語コミュニケーションと映画理論)</p> <p>第2回：女性の心の発達と映画に見る女性像</p> <p>第3回：『レベッカ』鑑賞と批評 ①</p> <p>第4回：『レベッカ』鑑賞と批評 ②</p> <p>第5回：『レベッカ』鑑賞と批評 ③</p> <p>第6回：精神分析と映画理論</p> <p>第7回：『レベッカ』の女性像にみるエレクトラ・コンプレックス</p> <p>第8回：女性の心の発達と映画にみる「通過儀礼」のテーマ</p> <p>第9回：『時をかける少女』鑑賞と批評</p> <p>第10回：『時をかける少女』鑑賞と批評</p> <p>第11回：ブリュンヒルド・モチーフの異文化比較『ハウルの動く城』</p> <p>第12回：受講生のプレゼンテーション①</p> <p>第13回：受講生のプレゼンテーション②</p> <p>第14回：受講生のプレゼンテーション③</p> <p>第15回：まとめとテスト</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	予習を十分して授業に臨むこと。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験：5、レポート：3、平常点：2＝計10						
教科書	プリントを配布						

参考書	授業中にたくさんの参考文献を指示します。
-----	----------------------

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ概論A						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータで遊ぼう！						
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ デスクトップまわりをカスタマイズ ・ メールの使い方---大学生ならPCのメールを使おう！大学のウェブメールの設定、iPhone での設定など。 ・ iPhoneを使いこなそう---iPhoneはPCと連携してこそちゃんと使える。 ・ iTunes を使いこなそう---iTunes は高校生も使ってるけど、ちゃんとした使い方を学ぼう。 ・ Podcast 知ってる？---これもiTunes の知られざる魅力のひとつです。英語の教材がすごい！ ・ Let's play GarageBand!--- GarageBandは音楽の部品を組み合わせてオリジナルな音楽を作らせてくれるソフトウェアです。基本操作を学んで音楽を作り、iPhone の着信音にしよう！ ・ iMovie を活用しよう --- iMovie は写真や動画を組み込んで自分だけのムービーを作ることができるソフトウェアです。iMovie の基本から、応用してマルチメディア英語教材を作ってみよう♪ 						
到達目標	コンピュータのさわり方から始めて、音楽を作ったり、マルチメディアの英語教材を作ったり --- コンピュータでおしゃれに遊ぼう！。						
授業計画	<p>Week 1: Mac に慣れよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デスクトップ、Windows との共通点・相違点 (OSについて) ・ ハードウェアとソフトウェア ・ 「ディスク」「フォルダ」「ファイル」の扱い <p>Week 2: メールを設定しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸松蔭のウェブメールを活用するための設定 <p>Week 3: iPhoneとiTunes を使いこなそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iPhone を活用するためにはPCのiTunes を使いこなす必要があります <p>Week 4: iTunes を使いこなそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Podcast を活用しよう <p>Week 5: iTunes を使いこなそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Podcast から書き取りの練習 <p>Week 6: Let's Play GarageBand! (1)</p> <p>Week 7: Let's Play GarageBand! (2)</p> <p>Week 8: Let's Play GarageBand! (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GarageBand で作成した音楽をiPhone の着信音に♪ <p>Week 9: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iMovie の基本から応用まで <p>Week 10: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (2)</p> <p>Week 11: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (3)</p> <p>Week 12: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (4)</p> <p>Week 13: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (5)</p> <p>Week 14: 作品完成！</p> <p>Week 15: まとめと復習</p>						
授業外における学習 (準備学習の内容)	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						
評価基準と評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。詳細は教室で説明します。						

教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ概論B						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使って英語とことばを考える						
授業の概要	<p>リスニング教材を選び、その内容に合った背景写真を選びます。それらと音声をiMovieで組み合わせ、テーマ機能、トランジション機能を利用してリスニング教材のムービーにします。</p> <p>英語の意味と発音、リズムをよく考えないとできない作業です。</p> <p>次に、Word を使ってきちんとした英語の文章を書く練習をします。 気をつけるのは次のようなことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英文を書くのに適したフォントを使っているか ・ちゃんとパンクチュエーション (punctuation) の規則を守っているか ・スタイル機能を活用してちゃんとした文章に。 <p>最後にPowerPointを使ってマルチメディア英語教材を作ります。 効果的な教材の提示方法を考えよう。</p>						
到達目標	この授業では、iMovie を使って英語リスニング教材のムービーを作ることを通して音声と映像のデジタル処理の基礎を学び、同時に英語の総合的な学習にも役立てます。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mac のデスクトップ、ブラウザ、メールの設定 <ul style="list-style-type: none"> *ファイルの扱いと情報の概念の基礎 *メールのなりたちとネットワークの基礎 2. 英語リスニングのムービーを作る(1) <ul style="list-style-type: none"> *リスニング教材を選び、内容に合った背景写真を選ぶ 3. 英語リスニングのムービーを作る(2) <ul style="list-style-type: none"> *音声のデジタル・ファイル (mp3) を GarageBandを使って分割する *さまざまなデジタル・メディアについて 4. 英語リスニングのムービーを作る(3) <ul style="list-style-type: none"> *画像の扱い方 5. 英語リスニングのムービーを作る(4) <ul style="list-style-type: none"> *iMovie でムービーにつなぎあわせ、テーマ機能で歌詞を書き込む 6. 英語リスニングのムービーを作る(5) <ul style="list-style-type: none"> *iMovie でムービーにつなぎあわせ、テーマ機能で歌詞を書き込む 7. ムービーを「共有」できるフォーマットに変換、YouTubeに <ul style="list-style-type: none"> *著作権 (知的財産権) など情報倫理について説明します 8. Word で英語をきちんと書こう <ul style="list-style-type: none"> ・英語を書くときに使うフォント ・英語のパンクチュエーション (punctuation) 9. Word で英語をきちんと書こう <ul style="list-style-type: none"> ・Podcast の英語教材を書き取ってみよう 10. Word の文書に画像を入れよう <ul style="list-style-type: none"> ・Photoshop で画像をアレンジ♪ ・CG について 11. PowerPoint を使ってマルチメディア英語教材 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な単語、表現の提示 12. PowerPoint を使ってマルチメディア英語教材 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的なテキスト表示 ・音声も入れてマルチメディア英語教材 13. 人工知能とロボット <ul style="list-style-type: none"> ・特にことばの処理に関連して 14. ウェブサイトとかんたんプログラミング 15. 授業のまとめと復習 						
授業外における学習 (準備学習の内容)	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						

評価基準と 評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。詳細は教室で説明します。
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ特論A						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜5	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使って英語とことばを考える						
授業の概要	<p>*iMovie を使って英語の歌のカラオケや歌詞表示のムービーを作ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞の意味をよく考えてふさわしい背景写真を選び、ムービーの素材にします。 ・ Photoshop を使って写真を加工し、歌詞を書き込みます。 ・ iMovie を使って画像と音楽をつなぎ合わせ、カラオケまたは歌詞表示のムービーに。 <p>*音声分析 MP3 とは何か？音声をデジタル化することによって、音声分析のソフトを使って、英語の発音の秘密を明らかにすることができます。</p>						
到達目標	コンピュータを使って、英語、そしてことば全体について考える方法を学びます。前期は特にマルチメディアとその活用について学びます。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. この授業についての全体的な紹介と注意事項 2. マルチメディア英語教材のムービーを作る(1) *著作権上問題のない音源を提供し、内容に合った背景写真を選ぶ *あわせて著作権について学びます 3. マルチメディア英語教材のムービーを作る(2) *Photoshop で写真を加工し、歌詞を書きます。 4. マルチメディア英語教材のムービーを作る(3) *Photoshop による作業続行 5. マルチメディア英語教材のムービーを作る(4) *iMovie で画像と音楽をムービーにつなぎあわせませす。 6. マルチメディア英語教材のムービーを作る(5) *iMovie で作業続行 7. ムービーを「共有」できるフォーマットに変換、提出 *YouTube と著作権について 8. MP3 って何？ *MP3のしくみとオーディオ・エディタの活用 9. オーディオ・エディタを使って英語教材を編集してみる(1) 10. オーディオ・エディタを使って英語教材を編集してみる(2) 11. オーディオ・エディタで見る英語の発音の秘密 (1) 12. オーディオ・エディタで見る英語の発音の秘密 (2) 13. 英語の発音をムービーで表現！(1) 14. 英語の発音をムービーで表現！(2) 15. 授業のまとめ 						
授業外における学習(準備学習の内容)	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						
評価基準と評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。詳細は教室で説明します。						

教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ特論B						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜5	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使って英語とことばを考える						
授業の概要	<p>Word をちゃんと使って、きれいな英文やレポートを書く練習をします。 ちゃんとしたフォントやスタイル機能を使ってきれいな文章を書く、さらに画像を取り込んだり、表機能を活用して文書をきれいに配置するテクニックを学びます。</p> <p>Html の基本を学んできれいなウェブサイトを作る練習をします。 Html の基本的なコマンドの使い方、画像やカラーの基本、表を利用した配置、さらにスタイル・ファイルを使ったきれいなサイトを作ります。あわせてウェブサイトのしくみと知的財産権について学びます。 Photoshop を使ってロゴなどの素材を作り、音声も取り込んだマルチメディアのサイトを作るところまで学びます。</p>						
到達目標	この授業のポイントは Word とウェブサイト作りです。Word と HTML を学ぶことで、「構造のある文書」の概念を学びます。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の概要について 2. Word できちんとした英文を書く <ul style="list-style-type: none"> ・スタイル機能を活用してきれいな英文を書く 3. Word できちんとした英文を書く <ul style="list-style-type: none"> ・画像を取り込んできれいな文書を作る 4. Word できちんとした英文を書く <ul style="list-style-type: none"> ・表機能を活用してきれいな文書を作る 5. Word できちんとした英文を書く <ul style="list-style-type: none"> ・作業続行・完成 6. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・エディタのインストールと html の基本 ・ウェブサイトの規格・概要 7. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・html: リスト、表、リンク 8. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・html: 画像、カラーを使ってみる ・知的財産権-使えない画像について 9. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・スタイル・ファイル (CSS) を試してみる 10. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・スタイルの活用 11. ロゴや素材を作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・Photoshop を使ってロゴやボタンなどの素材を作ってみよう 12. ロゴや素材を作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・Photoshop を使って作業続行 13. ウェブサイトに音声を組み込む <ul style="list-style-type: none"> ・知的財産権について注意 14. ウェブサイトに音声を組み込む <ul style="list-style-type: none"> ・作品完成! 15. 授業のまとめ 						
授業外における学習(準備学習の内容)	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						
評価基準と評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。詳細は教室で説明します。						

教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングA						
担当教員	櫻井 敏子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	自信のもてる英語の発音を習得						
授業の概要	指導者としてモデルになる英語の発音を音声学理論の裏付けをしながら習得する。発音トレーニングAでは母音を基盤にしたトレーニングとr, th等の日本語話者が不得意とする音のトレーニングを行う。 英語発音トレーニングBも続けて履修して英語の発音に自信を持って学生生活を続け、社会に出て下さい。一度習得した発音は忘れることはありません。						
到達目標	自信のもてる英語の発音を習得しよう。自信のもてる発音を自分のものにして英語が好きになろう。						
授業計画	<p>発音記号をwebに出すことが出来ませんので、発音記号を用いたsyllabusは最初の授業で配付します。 前期のsyllabus</p> <ol style="list-style-type: none"> Orientation: <ul style="list-style-type: none"> ◆Introduction of vowels pp. 59-67 (pp. 63-67の説明を読みながら) <ul style="list-style-type: none"> ◆Introduction of vowels and consonants 呼吸法 (腹式呼吸), 摩擦, 発声器官 について ◆central vowels (early, bird) をp. 67のfootnoteの図に口の形を加えて練習 P. 7, 14, 16 の 摩擦の練習 ◆rの1方法 を練習 Syllabus#2の復習強化 <ul style="list-style-type: none"> ◆rの2つ目のコツを練習 ◆at the, mail the を用いてassimilation (同化) からthの発音を習得 ◆L.L.の機械のorientation このあたりでTapeの提出を検討しましょう。 Tapeのコメント返却、質疑応答、練習 <ul style="list-style-type: none"> ◆heard vs. hard, fur vs. far発音が違うと意味も違う。 ◆wor を含む単語の練習 : word, work, worldの練習 ◆th, r lの練習 Syllabus#4の復習と強化 Syllabus #1-5までの、チェック、練習、テープ録音提出等 <ul style="list-style-type: none"> ◆heard, hard, fur, far等を用いて同時通訳ゲーム run, ran等を用いて同時通訳ゲーム (ranの時のrの舌先は1又は2の方法?) ◆aspirationをlighterを用いての練習開始 uを含む音の練習 (p. 68-69, p. 71) <ul style="list-style-type: none"> ◆ w + uのcombinationについて p. 35 注意点-2 ◆th r lを含む音の練習 /ou/等の練習 (p. 69-71) <ul style="list-style-type: none"> ◆woman, women, walk, work, woe, hart, hurt等を用いて同時通訳ゲーム Syllabus#7, 8のチェック、練習、テープ録音提出 Linking, Elision and assimilation pp. 87-94(今までに練習していますが、ここで理論を用いて整理しましょう。 Aspirationをここまでに出来るようにする。th, r l と 全母音が出来ていること。 前期の復習で定期試験の準備 前期のまとめと定期試験の準備 前期の復習と定期試験 (paperと 録音による試験) 定期試験の整理 (基本を理解していたかの確認が行われる大切な授業です) 						

授業外における学習（準備学習の内容）	復習が大切です。発音記号を書きながら発音練習をしてください。
授業方法	シラバスに従って練習を積み重ね英語の発音を習得する。練習の後に録音したメディアを提出し、担任からのフィードバックを得る。フィードバックに基づいて担任からの直接のアドバイスを受けて発音を目標に向けて磨く。
評価基準と評価方法	平常点になるテープ提出の回を重ねることで上達して定期試験の頃にやっと目標に到達することを鑑み、次の比率で評価する。 平常点20% 定期試験80% 欠席についてはマイナスする。
教科書	松井千枝 著 『英語音声学』（朝日出版社） 978-4-255-15193-9
参考書	http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングA						
担当教員	櫻井 敏子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	自信のもてる英語の発音を習得						
授業の概要	指導者としてモデルになる英語の発音を音声学理論の裏付けをしながら習得する。発音トレーニングAでは母音を基盤にしたトレーニングとr, th等の日本語話者が不得意とする音のトレーニングを行う。 英語発音トレーニングBも続けて履修して英語の発音に自信を持って学生生活を続け、社会に出て下さい。一度習得した発音は忘れることはありません。						
到達目標	自信のもてる英語の発音を習得しよう。自信のもてる発音を自分のものにして英語が好きになろう。						
授業計画	<p>発音記号をwebに出すことが出来ませんので、発音記号を用いたsyllabusは最初の授業で配付します。 前期のsyllabus</p> <ol style="list-style-type: none"> Orientation: <ul style="list-style-type: none"> ◆Introduction of vowels pp. 59-67 (pp. 63-67の説明を読みながら) <ul style="list-style-type: none"> ◆Introduction of vowels and consonants 呼吸法 (腹式呼吸), 摩擦, 発声器官 について ◆central vowels (early, bird) をp. 67のfootnoteの図に口の形を加えて練習 P. 7, 14, 16 の 摩擦の練習 ◆rの1方法 を練習 Syllabus#2の復習強化 <ul style="list-style-type: none"> ◆rの2つ目のコツを練習 ◆at the, mail the を用いてassimilation (同化) からthの発音を習得 ◆L.L.の機械のorientation このあたりでTapeの提出を検討しましょう。 Tapeのコメント返却、質疑応答、練習 <ul style="list-style-type: none"> ◆heard vs. hard, fur vs. far発音が違うと意味も違う。 ◆wor を含む単語の練習 : word, work, worldの練習 ◆th, r lの練習 Syllabus#4の復習と強化 Syllabus #1-5までの、チェック、練習、テープ録音提出等 <ul style="list-style-type: none"> ◆heard, hard, fur, far等を用いて同時通訳ゲーム run, ran等を用いて同時通訳ゲーム (ranの時のrの舌先は1又は2の方法?) ◆aspirationをlighterを用いての練習開始 uを含む音の練習 (p. 68-69, p. 71) <ul style="list-style-type: none"> ◆ w + uのcombinationについて p. 35 注意点-2 ◆th r lを含む音の練習 /ou/等の練習 (p. 69-71) <ul style="list-style-type: none"> ◆woman, women, walk, work, woe, hart, hurt等を用いて同時通訳ゲーム Syllabus#7, 8のチェック、練習、テープ録音提出 Linking, Elision and assimilation pp. 87-94(今までに練習していますが、ここで理論を用いて整理しましょう。 Aspirationをここまでに出来るようにする。th, r l と 全母音が出来ていること。 前期の復習で定期試験の準備 前期のまとめと定期試験の準備 前期の復習と定期試験 (paperと録音による試験) 定期試験の整理 (基本を理解していたかの確認が行われる大切な授業です) 						

授業外における学習（準備学習の内容）	復習が大切です。発音記号を書きながら発音練習をしてください。
授業方法	シラバスに従って練習を積み重ね英語の発音を習得する。練習の後に録音したメディアを提出し、担任からのフィードバックを得る。フィードバックに基づいて担任からの直接のアドバイスを受けて発音を目標に向けて磨く。
評価基準と評価方法	平常点になるテープ提出の回を重ねることで上達して定期試験の頃にやっと目標に到達することを鑑み、次の比率で評価する。 平常点20% 定期試験80% 欠席についてはマイナスする。
教科書	松井千枝 著 『英語音声学』（朝日出版社） 978-4-255-15193-9
参考書	http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングB						
担当教員	櫻井 敏子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	自信のもてる英語の発音を習得						
授業の概要	指導者としてモデルになる英語の発音を音声学理論の裏付けをしながら習得する。 発音トレーニングBでは子音を基盤にしたトレーニングと母音の復習のトレーニングを行う。 英語の発音に自信を持って学生生活を続け、社会に出て下さい。一度習得した発音は忘れることはありません。						
到達目標	自信のもてる英語の発音を習得しよう。自信のもてる発音を自分のものにして英語が好きになろう。						
授業計画	<p>syllabusを調整しながらやります。発音トレーニングBから始める方もsyllabusの最初で基本のコツを扱います。最初が大切です。基礎がないところに建物は完成しません。</p> <p>liaison (リエゾン) elision (脱落) assimilation (同化) という音の現象名をしばしば用います。 pp. 87-92に説明があります。</p> <p>1. 母音Vowelsの発音記号と実際の発音を確認しよう。 hard, heard, cut, cat等の母音の確認をpp.5-6 II. 音韻論を使って行う。</p> <p>2. p.16の子音Consonants全体の把握とpp.22-25の閉鎖音stops、無声閉鎖音/p, t, k/に起こるaspirationの確認 p.25閉鎖音の注意点 練習：pp.38-41 p.100のストレス、p.110の内容語の導入</p> <p>3. 練習：pp.38-41の練習と/wu/の確認 pp.34-35, rの確認 pp.35-36 NHKの会話 Iより</p> <p>4. 摩擦音fricatives pp.25-30 練習：pp.42-49</p> <p>5. fricatives & 破擦音affricates p.31 練習：p.50</p> <p>6. NHKの会話より</p> <p>7. 半母音/w, r/ vs. 側音/l/ 練習：pp.56-57, pp.54-55</p> <p>8. 鼻音nasals pp.31-33 /g/が入る語と入らない語：young younger, finger vs. singer p.52 時間があればNHKの会話 II</p> <p>9 Stress, pitch and intonation pp. 130-140 (p.130. 1-9, p.131. 1-5) Syllabus#2 でストレスと内容語は導入した。 弱形(weak form) vs. 強形(strong form) pp. 119-122</p> <p>10. Stress, pitch and intonation pp. 130-140 (p.130. 1-9, p.131. 1-5)</p> <p>11. syllables, stress, word stress and sentence stress pp.95-122</p> <p>12. syllables, stress, word stress and sentence stress pp.95-122 ◆Nasal plosion such as 'garden' and lateral plosion such as 'little' ◆'ear' vs. 'year, 'cars' vs. 'cards' の区別が出来ますか？ここで冬休み。</p> <p>13. 定期試験準備 phoneme (音素)、母音の長さの確認を含む</p> <p>14. 後期の既習事項の検討</p> <p>15. 質疑応答と後期試験 (paperとテープ)</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	復習が大切です。発音記号を書きながら発音練習をしてください。						

授業方法	シラバスに従って練習を積み重ね英語の発音を習得する。練習の後に録音したメディアを提出し、担任からのフィードバックを得る。フィードバックに基づいて担任からの直接のアドバイスを受けて発音を目標に向けて磨く。
評価基準と評価方法	平常点になるテープ提出の回を重ねることで上達して定期試験の頃にやっと目標に到達することを鑑み、次の比率で評価する。 平常点30% 定期試験70% 欠席についてはマイナス評価する。
教科書	松井千枝 著 『英語音声学』 (朝日出版社) 978-4-255-15193-9
参考書	http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングB						
担当教員	櫻井 敏子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	自信のもてる英語の発音を習得						
授業の概要	指導者としてモデルになる英語の発音を音声学理論の裏付けをしながら習得する。 発音トレーニングBでは子音を基盤にしたトレーニングと母音の復習のトレーニングを行う。 英語の発音に自信を持って学生生活を続け、社会に出て下さい。一度習得した発音は忘れることはありません。						
到達目標	自信のもてる英語の発音を習得しよう。自信のもてる発音を自分のものにして英語が好きになろう。						
授業計画	<p>syllabusを調整しながらやります。発音トレーニングBから始める方もsyllabusの最初で基本のコツを扱います。最初が大切です。基礎がないところに建物は完成しません。</p> <p>liaison (リエゾン) elision (脱落) assimilation (同化) という音の現象名 をしばしば用います。 pp. 87-92に説明があります。</p> <p>1. 母音Vowelsの発音記号と実際の発音を確認しよう。 hard, heard, cut, cat等の母音の確認をpp.5-6 II. 音韻論を使って行う。</p> <p>2. p.16の子音Consonants全体の把握とpp.22-25の閉鎖音stops、無声閉鎖音/p, t, k/に起こるaspirationの確認 p.25閉鎖音の注意点 練習：pp.38-41 p.100のストレス、 p.110の内容語の導入</p> <p>3. 練習：pp.38-41の練習と/wu/の確認 pp.34-35, rの確認 pp.35-36 NHKの会話 Iより</p> <p>4. 摩擦音fricatives pp.25-30 練習：pp.42-49</p> <p>5. fricatives & 破擦音affricates p.31 練習：p.50</p> <p>6. NHKの会話より</p> <p>7. 半母音/w, r/ vs. 側音/l/ 練習：pp.56-57, pp.54-55</p> <p>8. 鼻音nasals pp.31-33 /g/が入る語と入らない語：young younger, finger vs. singer p.52 時間があればNHKの会話 II</p> <p>9 Stress, pitch and intonation pp. 130-140 (p.130. 1-9, p.131. 1-5) Syllabus#2 でストレスと内容語は導入した。 弱形(weak form) vs. 強形(strong form) pp. 119-122</p> <p>10. Stress, pitch and intonation pp. 130-140 (p.130. 1-9, p.131. 1-5)</p> <p>11. syllables, stress, word stress and sentence stress pp.95-122</p> <p>12. syllables, stress, word stress and sentence stress pp.95-122 ◆Nasal plosion such as 'garden' and lateral plosion such as 'little' ◆'ear' vs. 'year, 'cars' vs. 'cards' の区別が出来ますか？ここで冬休み。</p> <p>13. 定期試験準備 phoneme (音素)、母音の長さの確認を含む</p> <p>14. 後期の既習事項の検討</p> <p>15. 質疑応答と後期試験 (paperとテープ)</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	復習が大切です。発音記号を書きながら発音練習をしてください。						

授業方法	シラバスに従って練習を積み重ね英語の発音を習得する。練習の後に録音したメディアを提出し、担任からのフィードバックを得る。フィードバックに基づいて担任からの直接のアドバイスを受けて発音を目標に向けて磨く。
評価基準と評価方法	平常点になるテープ提出の回を重ねることで上達して定期試験の頃にやっと目標に到達することを鑑み、次の比率で評価する。 平常点30% 定期試験70% 欠席についてはマイナス評価する。
教科書	松井千枝 著 『英語音声学』 (朝日出版社) 978-4-255-15193-9
参考書	http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニングA						
担当教員	山内 啓子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	英語リスニング能力向上トレーニング						
授業の概要	<p>発音の基本原則を再確認し学ぶ。日本語との差を認識しながら英語の特徴であるリズム、アクセント、抑揚を認識することで英語のリスニング能力の向上を目指します。</p> <p>この授業では英語の発音の練習法を学び、それを体得し、繰り返し練習することでリスニング力をつけます。また、英・米・豪などにより異なるネイティブの発音も意識して総合的に「聴くこと」を練習します。</p> <p>学びの方法として教科書を中心に理論と基礎を学びますが、同時に音楽の聴き取りや、映画のセリフの聴き取りなども加えて学びに変化と楽しさをもたらします。</p>						
到達目標	<p>いろいろな英語をの差が分かるようになります。また、発音の基本を学ぶことでリスニングのコツが分かるようになり、それがリスニング力の向上になります。</p>						
授業計画	<p>前期にはリスニングの基本であるリズム、アクセント、強弱の付け方を中心に授業が進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教科書 chapter 1&2 アクセントと音の区切り 2 教科書 chapter 3&4 スピードと緩急のつけかた 3 教科書 chapter 5&6 リズムと強弱のつかた 4 教科書 chapter 7 音のつながり 5 教科書 chapter 8 音の変化と脱落 6 確認テスト + 音楽の聴き取り 7 教科書 chapter 9 効果的な練習方法 8 教科書 chapter 10 語尾の上下 9 教科書 chapter 11 アクセント： 「会話のアクセント」 10 教科書 chapter 12 イントネーション： 「会話のイントネーション」 11 確認テスト + 音楽の聴き取り 12 映画の聴き取り1 13 映画の聴き取り2 14 リスニング練習のまとめ 15 期末テスト 						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前：テキストの予習 授業後：授業で学んだ発音の基本原則の復習と練習。 自由時間に音楽や英語ニュース、ドラマ、映画などを字幕なしで見る、などの練習を多く行う。</p>						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	<p>期末テスト 40% 確認テスト、および小テスト累計 40% 積極的授業参加 20%</p>						
教科書	矢作三蔵著『音の基本とshadowing 練習』（開文社出版）ISBN4-87571-547-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニングB						
担当教員	山内 啓子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	英語リスニング能力向上トレーニング						
授業の概要	<p>発音の基本原則を再確認し学ぶ。日本語との差を認識しながら英語の特徴であるリズム、アクセント、抑揚を認識することで英語のリスニング能力の向上を目指します。</p> <p>この授業では英語の発音の練習法を学び、それを体得し、繰り返し練習することでリスニング力をつけます。また、英・米・豪などにより異なるネイティブの発音も意識して総合的に「聴くこと」を練習します。</p> <p>学びの方法として教科書を中心に理論と基礎を学びますが、同時に音楽の聴き取りや、映画のセリフの聴き取りなども加えて学びに変化と楽しさをもたらします。</p>						
到達目標	<p>いろいろな英語をの差が分かるようになります。また、発音の基本を学ぶことでリスニングのコツが分かるようになり、それがリスニング力の向上になります。</p>						
授業計画	<p>前期にはリスニングの基本であるリズム、アクセント、強弱の付け方を中心に授業が進みました。後期にはそれらを踏まえた上でさらに応用力をつけるトレーニングを行います。授業は教科書を中心に、配布資料や音楽、映画も活用しながら実践力を付けるよう進めてゆきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 textbook unit 1 2 textbook unit 2 3 textbook unit 3 4 textbook unit 4 5 textbook unit 5 6 revision test + music listening 7 textbook unit 6 8 textbook unit 7&8 9 textbook unit 9&10 10 textbook unit 11&12 11 textbook unit 13&14 12 revision test + music listening 13 movie listening 1 14 movie listening 2 15 final exam <ol style="list-style-type: none"> 12 映画の聴き取り 1 13 映画の聴き取り 2 14 リスニング練習のまとめ 15 期末テスト 						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前：テキストの予習 授業後：授業で学んだ発音の基本原則の復讐と練習。 自由時間に音楽や英語ニュース、ドラマ、映画などを字幕なしで見る、などの練習を多く行う。</p>						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	<p>期末テスト 40% 確認テスト、および小テスト累計 40% 積極的授業参加 20%</p>						
教科書	行時 潔著『Let's Talk with Friends Around the World!』（松柏社）ISBN978-4-88198-656-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英米文学概論A						
担当教員	白川 計子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文学とは何か、文学研究とは何か						
授業の概要	この授業では文学とは何か、文学研究とは何かを講義する。娯楽としての読書、教養としての読書から、深く人間や社会について考えるきっかけとしての読書への導入をおこなう。英米の小説や詩を紹介し、分析の実例を講義する。						
到達目標	実際に英語で読むことによって、文学を研究対象として注意深く読む力、客観的分析力を培う。また、課題として与えられた文学テキストに対し、読書感想文ではない、論理的な批評文を書けるようになることが求められる。						
授業計画	第1回：文学とは何か、文学批評とは何か 第2回：ジェイムス・ジョイス紹介 第3回：小説技法について 第4回：「アラビー」鑑賞と批評 第5回：「アラビー」批評の実践とフィードバック 第6回：シルビア・ピアスとテッド・ヒューズ紹介 第7回：ジェンダーと米国女流詩人 第8回：テッド・ヒューズ“A childish Prank”鑑賞と批評 第9回：詩と詩人の生涯 第10回：詩の批評の実践 第11回：文学と映像テキスト 第12回：レイモンド・カーバー短編小説鑑賞 第13回：映画『ショートカット』鑑賞 第14回：作家と米国社会 第15回：文学批評レポートの書き方指導						
授業外における学習（準備学習の内容）	与えられた作品を読み、批評文を書く。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	平常点（授業中の提出物）50% 最終レポート50%						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英米文学概論B						
担当教員	白川 計子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化テキストとしての英米文学						
授業の概要	この授業では文学を芸術作品としてだけではなく、文化テキストとして読む方法を紹介する。すなわち、文学のある特定の時代の、特定の社会に生きた個人から発声された1つの現象として捉える姿勢を学ぶ。近代から現代の英米の文学作品を紹介し、作品への様々なアプローチについて講義する。文学が、われわれ自身、社会、世界のありようを問い直す力を潜在的にもっているものであることを伝えたい。						
到達目標	18世紀から21世紀にいたる社会背景と人間観の変容が文化表象としての文学テキストにいかにか反映してきたかを確認し、現代の欧米の文学批評の基礎を学び、文学へのアプローチの多様性を理解する。						
授業計画	第1回：D. H. ロレンス紹介 第2回：ロレンス「菊の香り」鑑賞 第3回：ロレンス「菊の香り」鑑賞と批評 第4回：ロレンスの動物詩鑑賞 第5回：ロレンスの動物詩の鑑賞と批評 第6回：『チャタレイ夫人の恋人』紹介 第7回：『チャタレイ夫人の恋人』鑑賞と批評 第8回：ジェイン・オースティン紹介 第9回：「高慢と偏見」鑑賞 第10回：「高慢と偏見」批評 第11回：『ブリジッド・ジョーンズの日記』紹介 第12回：『ブリジッド・ジョーンズの日記』批評 第13回：時代と作家と作品について 第14回：ポストモダニズム 第15回：文学批評のレポートの書き方指導						
授業外における学習（準備学習の内容）	与えられた文学テキストを読み、批評文を書く						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	平常点（授業中の提出物）50%、最終レポート50%						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際秘書概論A						
担当教員	嶽 麻美						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として必要な知識と実務能力の習得（基礎編）。						
授業の概要	国際化社会、情報化社会の中で変化するビジネス環境、企業組織において、国際秘書として効果的な役割を果たすために必要な職能、資質、知識、技能などについて学習し、必要な専門的知識と実務能力の習得を目指す。国際秘書の職務に関連する分野は極めて広範囲にわたるが、国際秘書概論Aでは、国際秘書の現状、地位、職能、資質、対人関係に関してはコミュニケーション能力、マナー、ホスピタリティ等についてみていく。						
到達目標	国際秘書としての業務の基本的な内容を知り、それに必要な知識を習得する。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：国際秘書について 2. 日本企業の国際化：国際秘書の現状 3. 国際企業の組織：国際秘書の役割（1） 4. 秘書の専門分化：国際秘書の役割（2） 5. 国際企業で求められる知識と技能：国際秘書の職能 6. 国際企業で求められる人材：国際秘書の資質 7. 国際秘書の職業観とキャリア 8. 国際秘書に必要な社会心理学についての知識 9. 国際秘書の言語コミュニケーション能力 10. 国際秘書の非言語コミュニケーション能力 11. 国際秘書のマナーと接遇 12. 国際秘書のプロトコル 13. 国際秘書のホスピタリティ 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業の内容を理解し、ほぼ毎回出されるタスクを提出する。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	定期試験（60%）、平常点（40%）の総合評価						
教科書	プリントを配布します。						
参考書	授業中に提示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際秘書概論A						
担当教員	嶽 麻美						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として必要な知識と実務能力の習得（基礎編）。						
授業の概要	国際化社会、情報化社会の中で変化するビジネス環境、企業組織において、国際秘書として効果的な役割を果たすために必要な職能、資質、知識、技能などについて学習し、必要な専門的知識と実務能力の習得を目指す。国際秘書の職務に関連する分野は極めて広範囲にわたるが、国際秘書概論Aでは、国際秘書の現状、地位、職能、資質、対人関係に関してはコミュニケーション能力、マナー、ホスピタリティ等についてみていく。						
到達目標	国際秘書としての業務の基本的な内容を知り、それに必要な知識を習得する。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：国際秘書について 2. 日本企業の国際化：国際秘書の現状 3. 国際企業の組織：国際秘書の役割（1） 4. 秘書の専門分化：国際秘書の役割（2） 5. 国際企業で求められる知識と技能：国際秘書の職能 6. 国際企業で求められる人材：国際秘書の資質 7. 国際秘書の職業観とキャリア 8. 国際秘書に必要な社会心理学についての知識 9. 国際秘書の言語コミュニケーション能力 10. 国際秘書の非言語コミュニケーション能力 11. 国際秘書のマナーと接遇 12. 国際秘書のプロトコル 13. 国際秘書のホスピタリティ 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業の内容を理解し、ほぼ毎回出されるタスクを提出する。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	定期試験（60%）、平常点（40%）の総合評価						
教科書	プリントを配布します。						
参考書	授業中に提示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際秘書概論B						
担当教員	嶽 麻美						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際社会、情報社会のなかで国際秘書として必要な知識と実務能力の習得（応用編）						
授業の概要	国際秘書概論Aでは国際秘書の職能、資質についてみたが、国際秘書概論Bでは、国際秘書の知識、技能についてみていく。国際秘書に求められるのは、国際経営、金融、国際関係にかんする専門的知識、商取引に関する法制度についての専門的知識、情報収集能力を含めた情報一般に関する専門的知識などとそれぞれの分野における高い実務能力である。授業では、これらのトピックについてできるかぎり具体例を用いて解説する。						
到達目標	国際秘書概論Aで学習した、国際秘書としての業務の基本的な内容をもとに、より専門的な知識、技能についての理解を深める。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：国際秘書について 2. 国際秘書の国際経営についての理解 3. 国際秘書に必要な商取引、貿易取引についての知識 4. 国際秘書に必要な法制度、規制についての知識 5. 国際秘書のコンプライアンスへの対応 6. 国際企業のリスク管理への対応 7. 国際秘書の外部メディアへの対応 8. 国際秘書の情報収集能力と情報倫理への対応 9. 国際秘書の事務管理能力 10. 国際秘書に必要な海外事情 11. 国際秘書に必要な国際関係についての知識 12. 国際秘書に必要な経済、金融についての知識 13. 国際秘書に必要な異文化理解 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業の内容を理解し、ほぼ毎回出されるタスクを提出する。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	定期試験（60%）、平常点（40%）の総合評価						
教科書	プリントを配布します。						
参考書	授業中に提示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際秘書概論B						
担当教員	嶽 麻美						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際社会、情報社会のなかで国際秘書として必要な知識と実務能力の習得（応用編）						
授業の概要	国際秘書概論Aでは国際秘書の職能、資質についてみたが、国際秘書概論Bでは、国際秘書の知識、技能についてみていく。国際秘書に求められるのは、国際経営、金融、国際関係にかんする専門的知識、商取引に関する法制度についての専門的知識、情報収集能力を含めた情報一般に関する専門的知識などとそれぞれの分野における高い実務能力である。授業では、これらのトピックについてできるかぎり具体例を用いて解説する。						
到達目標	国際秘書概論Aで学習した、国際秘書としての業務の基本的な内容をもとに、より専門的な知識、技能についての理解を深める。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：国際秘書について 2. 国際秘書の国際経営についての理解 3. 国際秘書に必要な商取引、貿易取引についての知識 4. 国際秘書に必要な法制度、規制についての知識 5. 国際秘書のコンプライアンスへの対応 6. 国際企業のリスク管理への対応 7. 国際秘書の外部メディアへの対応 8. 国際秘書の情報収集能力と情報倫理への対応 9. 国際秘書の事務管理能力 10. 国際秘書に必要な海外事情 11. 国際秘書に必要な国際関係についての知識 12. 国際秘書に必要な経済、金融についての知識 13. 国際秘書に必要な異文化理解 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業の内容を理解し、ほぼ毎回出されるタスクを提出する。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	定期試験（60%）、平常点（40%）の総合評価						
教科書	プリントを配布します。						
参考書	授業中に提示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスコミュニケーションA						
担当教員	平井 拓己						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	ビジネスにおける英語でのコミュニケーション						
授業の概要	本講義では、国際企業において最も必要とされるコミュニケーション能力について、多分野にわたる関連理論を理解した上で、言語および非言語による効果的な表現方法、合意形成、交渉など、ビジネス組織内および組織間における具体的な応用も含めて、基礎的な知識の習得と実務能力の養成を目指す。前期は、主としてコミュニケーションの基礎理論における様々な側面について、英語に関する具体例を挙げて理解を深める。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企業活動で用いられる用語を理解する。 ・英語圏をはじめ異文化における企業とのコミュニケーションについて理解する。 ・連絡、交渉などに用いる英語表現を習得する。 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション：企業活動と異文化コミュニケーション 2 ビジネスコミュニケーションの基礎(1) 3 ビジネスコミュニケーションの基礎(2) 4 ビジネスコミュニケーションの基礎(3) 5 企業の情報発信(1) 6 企業の情報発信(2) 7 企業の情報発信(3) 8 米国の企業とグローバル化(1) 9 米国の企業とグローバル化(2) 10 ネゴシエーションの英語表現(1) 11 ネゴシエーションの英語表現(2) 12 異文化コミュニケーション(1) 13 異文化コミュニケーション(2) 14 まとめ 15 定期試験 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>授業前：英字新聞や企業のIRレポートなどを通じて、企業で用いられる英語に触れる機会を増やす。</p> <p>授業後：学んだ内容を復習し、機会を捉えて実践する。</p>						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	平常点(毎回提出物があります) 40% 中間レポート及び期末試験 60%						
教科書	なし(資料を配付します)						
参考書	亀田尚己『国際ビジネスコミュニケーション再考』文真堂、2009年						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスコミュニケーションB						
担当教員	平井 拓己						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	ビジネスにおける英語でのコミュニケーション						
授業の概要	本講義では、国際ビジネスコミュニケーションAで学んだ基礎知識の実務への応用をみていく。対人コミュニケーションから始めて、集団内でのコミュニケーション、なかでも企業内のコミュニケーションとともに、対象を拡げ市場におけるコミュニケーションを扱う。また、ビジネスコミュニケーションにおける文書実務も扱う。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企業内外で用いる英語表現を習得する。 ・英語のプレゼンテーションについて理解する。 ・ビジネス英語の文章表現を習得する。 ・異文化コミュニケーションで生じる摩擦と対応について理解する。 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション：コミュニケーション 2 社内の対人コミュニケーション(1) 3 社内の対人コミュニケーション(2) 4 プレゼンテーション(1) 5 プレゼンテーション(2) 6 プレゼンテーション(3) 7 文書によるコミュニケーション(1) 8 文書によるコミュニケーション(2) 9 文書によるコミュニケーション(3) 10 文書によるコミュニケーション(4) 11 異文化摩擦とその解決(1) 12 異文化摩擦とその解決(2) 13 異文化摩擦とその解決(3) 14 まとめ 15 定期試験 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>授業前：英字新聞や企業のIRレポートなどを通じて、企業で用いられる英語に触れる機会を増やす。</p> <p>授業後：学んだ内容を復習し、機会を捉えて実践する。</p>						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	平常点(毎回提出物があります) 40% 中間レポート及び期末試験 60%						
教科書	なし(資料を配付します)						
参考書	亀田尚己『国際ビジネスコミュニケーション再考』文真堂、2009年						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスマネジメントA						
担当教員	福田 洋子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際的な経営活動の研究						
授業の概要	世界経済と国際経営について学ぶ。(基礎編) 日本企業および外国企業の経営環境をグローバルな視点で考察する。事例研究で具体例を研究する。						
到達目標	グローバル企業で必要とされる基礎的な知識を得る。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバル経営とは 2. 現代の世界経済 3. 国際的な経営戦略① 4. 国際的な経営戦略② 5. 国際的な経営戦略③ 6. 国際的な経営戦略④ 7. グローバル経営の組織 8. 本社と海外子会社 9. 多国籍企業の集権と分権 10. トランスナショナル経営論 11. ケース・スタディ (ネスレ) 12. ケース・スタディ (LVMH) 13. ケース・スタディ (P&G) 14. まとめとふり返し 15. 質疑応答と試験 						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習: 世界のビジネス情報に関心を持つ。教科書を読んでおく。 授業後学習: 学んだ内容を復習する。専門用語を理解し知識を蓄積する。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	試験50%、提出物および発表50%						
教科書	マネジメント・テキスト・グローバル経営入門、浅川和宏、日本経済新聞出版社、ISBN 978-4-532-13260-6						
参考書	現代世界経済をとらえるVer. 5、石田修他編、東洋経済新報社、ISBN 978-4-492-44366-8						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスマネジメントB						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際的な経営活動の研究						
授業の概要	世界経済と国際経営について学ぶ。(応用編) 日本企業および外国企業の経営環境をグローバルな視点で考察する。事例研究で具体例を研究する。						
到達目標	グローバル企業で必要とされる知識を得て応用する。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバル・イノベーション 2. ナレッジ・マネジメント 3. グローバルR&Dマネジメント 4. 海外ラボの発展段階 5. グローバル戦略提携 6. グローバル戦略の形成過程 7. 国際化と人的資源 8. 人的資源マネジメント 9. リージョナル・マネジメント 10. 多国籍企業と地域本社 11. グローバル経営と異文化 12. グローバル経営の課題 13. ケース・スタディ(資生堂) 14. まとめとふり返し 15. 質疑応答と試験 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>授業前学習：世界ビジネス情報に関心を持つ。教科書を読んでおく。</p> <p>授業後学習：学んだ内容を復習する。専門用語を理解し、知識を蓄積する。</p>						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	試験50%、提出物および発表50%						
教科書	マネジメント・テキストグローバル経営入門、浅川和宏、日本経済新聞出版社、ISBN 978-4-532-13260-6						
参考書	現代世界経済をとらえるVer. 5、石田修他編、東洋経済新報社、ISBN 978-4-492-44366-8						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際マナー入門						
担当教員	安藤 裕子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際化社会において、海外の人々と円滑な人間関係を構築するために必要な知識と能力を構築します						
授業の概要	Businessの国際化に伴い、日常のあらゆる場面で海外の人々に接する機会が多くなりました。一言に海外といっても、欧米のみならず、アジア・アフリカ・中東・ラテン系諸国等、さまざまです。国が違えば習慣などもおのずから異なり、それぞれにふさわしい対応が求められます。このコースでは、マナーとは何か、という基本的な考え方から始まり、社会人になる前に最低限身につけておくべき事柄や、海外の国々の文化、価値観の違いなどを学び、状況に応じた適切なコミュニケーションを取るために必要な知識・能力を養って、日本をはじめ、海外のあらゆる人々と良い人間関係が築ける人材の育成を目指します。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初対面の人々に、適切な挨拶ができ、よいコミュニケーションがとれる 2. 正しいテーブルマナーと、料理・ワインについての知識を身につける 3. パーティーなどの「社交」について、正しい知識を身につける 4. 国や宗教などが違って、正しい対応ができる 						
授業計画	第1回. Introduction: Mannerとはなにか 第2回. 紹介・挨拶・名刺 第3回. コミュニケーションのマナー 第4回. レディーファースト 第5回. レストランのマナー 第6回. フランス料理の基礎知識 第7回. テーブルマナー 1 第8回. ワインとマナー 第9回. ホームパーティーへの招待 第10回. 贈り物 第11回. パーティーとマナー 第12回. 国際儀礼 第13回. 宗教とマナー (イスラム教) 第14回. 宗教とマナー (ユダヤ教、他) 国 第15回. 国別対応 (アジア諸国、ヨーロッパ諸国、他)						
授業外における学習 (準備学習の内容)	授業時にそのつど、クラス内にて指示します。						
授業方法	講義形式にて行います						
評価基準と評価方法	試験85%、平常点 (毎授業時、A5版レポート提出) 15%、にて評価						
教科書	教科書に関しては、初回授業時に、クラス内にて指示します						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際マナー入門						
担当教員	安藤 裕子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際化社会において、海外の人々と円滑な人間関係を構築するために必要な知識と能力を構築します						
授業の概要	Businessの国際化に伴い、日常のあらゆる場面で海外の人々に接する機会が多くなりました。一言に海外といっても、欧米のみならず、アジア・アフリカ・中東・ラテン系諸国等、さまざまです。国が違えば習慣などもおのずから異なり、それぞれにふさわしい対応が求められます。このコースでは、マナーとは何か、という基本的な考え方から始まり、社会人になる前に最低限身につけておくべき事柄や、海外の国々の文化、価値観の違いなどを学び、状況に応じた適切なコミュニケーションを取るために必要な知識・能力を養って、日本をはじめ、海外のあらゆる人々と良い人間関係が築ける人材の育成を目指します。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初対面の人々に、適切な挨拶ができ、よいコミュニケーションがとれる 2. 正しいテーブルマナーと、料理・ワインについての知識を身につける 3. パーティーなどの「社交」について、正しい知識を身につける 4. 国や宗教などが違って、正しい対応ができる 						
授業計画	第1回. Introduction: Mannerとはなにか 第2回. 紹介・挨拶・名刺 第3回. コミュニケーションのマナー 第4回. レディーファースト 第5回. レストランのマナー 第6回. フランス料理の基礎知識 第7回. テーブルマナー 1 第8回. ワインとマナー 第9回. ホームパーティーへの招待 第10回. 贈り物 第11回. パーティーとマナー 第12回. 国際儀礼 第13回. 宗教とマナー (イスラム教) 第14回. 宗教とマナー (ユダヤ教、他) 国 第15回. 国別対応 (アジア諸国、ヨーロッパ諸国、他)						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業時にそのつど、クラス内にて指示します。						
授業方法	講義形式にて行います						
評価基準と評価方法	試験85%、平常点(毎授業時、A5版レポート提出)15%、にて評価						
教科書	教科書に関しては、初回授業時に、クラス内にて指示します						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	コンピューティングA/Computing A						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	インターネットがわかる。ウェブデザインの基本。						
授業の概要	この授業ではコンピュータを使ってインターネット上の情報にアクセスする方法を学びます。このために、まずコンピュータの基本的な働き、オペレーティング・システム（OS）そしてコンピュータ・ネットワークについて理解を深めることにします。それからCGなどのデジタルメディアを使ったウェブページの作成法、スタイルシートを使った情報の効果的な表示法を勉強します。さらにネット上でのあるべき倫理的問題、セキュリティとプライバシーの問題、そしてデジタルコンテンツの著作権の扱い方などにも触れます。授業では基本的概念の理解と実践の両方に重きを置く予定です。						
到達目標	テキストエディタ、グラフィックス・音声・動画ファイルなどを扱うさまざまなソフトウェアに使い慣れる。データのマークアップ、HTML、CSS、そして初歩のウェブプログラミングをマスターする。						
授業計画	第1回： コンピューターの基礎 第2回： ファイルエディターとファイルの種類 第3回： インターネットはなんですか？ 第4回： ブラウザーの種類 第5回： マークアップ言語：HTML/XHTML 第6回： ウェブサイトの計画 第7回： スタイルシート CSS 第8回： イメージの種類 第9回： 画像処理ソフトでイメージの変種 第10回： ユーザインターフェース 第11回： スクリプト 第12回： マルチメディア 第13回： プロジェクト作成 第14回： プロジェクト作成 第15回： プロジェクト作成						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業で習った概念を実際に自分で使って慣れること。授業で始めたプロジェクトは、授業時間外に終わらせる必要があります。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	クイズで授業で扱った理論的概念のチェックをします。また、授業で扱ったスキルを使って、プロジェクトを完成させる必要があります。授業参加とクイズは評価の30%、プロジェクトは70%です。						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	コンピューティングB/Computing B						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使ったデータ分析。						
授業の概要	この授業ではコンピュータを使ってデータを収集し、組み立て、分析する方法を学びます。まずコンピュータの基本的な働き、オペレーティング・システム(OS)、ハードウェアとソフトウェアの違いなどについて理解を深めます。それからデータ入力、いろいろなフォーマットでの保存法や暗号化法、表計算ソフトやデータベースを使ったデータ分析法を勉強します。さらにネット上でのあるべき倫理的問題、セキュリティとプライバシーの問題、そしてデジタルコンテンツの著作権の扱い方などにも触れることにします。						
到達目標	データ入力と分析のためにさまざまなツールをマスターすること。XMLなどによるデータのマークアップをマスターすること。						
授業計画	第1回： データベースはなんですか？ 第2回： 表計算ソフトを使う 第3回： データの種類 第4回： グラフを作る 第5回： データ分析法 第6回： データ構造 第7回： マークアップ言語：XML 第8回： データベース言語：MySQL 第9回： データベースの作成 第10回： データベースからデータを取り出す 第11回： セキュリティとプライバシーの問題 第12回： ウェブの接続 第13回： プロジェクト作成 第14回： プロジェクト作成 第15回： プロジェクト作成						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業で習った概念を実際に自分で使って慣れること。授業で始めたプロジェクトは、授業時間外に終わらせる必要があります。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	クイズで授業で扱った理論的概念のチェックをします。また、授業で扱ったスキルを使って、プロジェクトを完成させる必要があります。授業参加とクイズは評価の30%、プロジェクトは70%です。						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報処理A						
担当教員	松井 理直						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜5	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	就職に役立つビジネス・ソフトの基本操作を身につけると共に、情報処理関係の資格取得の準備を行います。						
授業の概要	概要情報/コンピュータ関係の資格は数百種類あると言われています。その中から、就職やキャリアアップに有用と思われる資格について説明を行います。特に、オフィスソフトとして一般的なマイクロソフト社のWordとExcelの操作を身につけることが目標です。これらはいずれも実社会での要求度の高いソフトウェアであり、レポート作成にも、また就職後の事務作業においても必要とされる能力です。ただし、本講義の受講のみで情報処理資格が取得できるものではないことに十分注意してください。						
到達目標	Word の操作について、一通りのことを身につけること。また、Excel の初歩についても理解しておくこと。						
授業計画	第 1 回 ガイダンス 第 2 回 Wordの機能とリボンの考え方 第 3 回 「見栄え」中心のレイアウトから「機能」中心のレイアウトへ。 第 4 回 フォント関係の操作 第 5 回 文章の構造関係の操作 第 6 回 図表の操作 第 7 回 簡単なマクロ関係の操作 第 8 回 Word のレイアウトの考え方 第 9 回 ビジネス文書の作成 第10 回 Word と Excel の連携 第11 回 Excel の基本操作 第12 回 相対アドレスと絶対アドレスの考え方 第13 回 関数の基本操作 第14 回 関数の拡張 第15 回 授業のまとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：前回の授業の内容について復習しておいてください。 授業後学習：授業の内容を整理しておくと共に、出された課題の作業をしておいてください。						
授業方法	授業で行う操作の講義を行ったあと、各人で実習を行う形式です。						
評価基準と評価方法	最終課題 60%、授業中の課題 40%						
教科書	プリントとデジタルデータを配布します。						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報処理B						
担当教員	松井 理直						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜5	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	就職に役立つビジネス・ソフトの基本操作を身につけると共に、情報処理関係の資格取得の準備を行います。						
授業の概要	ビジネスソフトの中で最もよく使用されているデータ処理ソフト・表計算ソフトであるExcelの操作を身につけることが目標です。Excel は実社会で最も要求度の高いソフトウェアであり、このソフトを扱う能力は就職後の事務作業において必要とされるものです。ただし、本講義の受講のみで情報処理資格が取得できるわけではないことに十分注意してください。						
到達目標	Excel の操作方法に習熟する。						
授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 文字列を扱う関数 (1) 第3回 文字列を扱う関数 (2) 第4回 データのソート 第5回 条件文を使った情報処理 第6回 複雑な条件分岐 第7回 グラフを使いこなす 第8回 グラフデータの変更 第9回 条件付き書式について 第10回 統計計算について 第11回 ピボットテーブルを使いこなす 第12回 ピボットテーブルの演習(2) 第13回 ピボットテーブルの演習(3) 第14回 ビジネスデータの処理 第15回 授業のまとめ						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習：前回までの授業内容をきちんと復習しておくこと。 授業後学習：授業で学んだことを自分なりに整理すると共に、課題をこなしておくこと。						
授業方法	講義と演習の両形式						
評価基準と評価方法	最終課題 50%、授業中の課題 50%						
教科書	プリントを配布します。						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報と倫理A/Computer and Ethics A						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜5	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	情報社会を生き抜くために						
授業の概要	<p>インターネットが充実した情報社会で情報を選別し、人に迷惑をかけず、迷惑行為や犯罪から身を守りながらコンピュータやメディアを積極的に使って知的生活に役立てる方法を考えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子メールとネット上のエチケット 電子メールはインターネットに関わっていく基本です。ネット上のエチケット、「ネチケット」(netiquette)についての文献を日英語で読み、電子メールのちゃんとした書き方、扱い方、そして電子メールを中心としたネット上のエチケットについて学びます。 ・スパム・メールについて インターネットを使った迷惑行為「スパム・メール」(迷惑メール)についての資料を読み、その手口、対策について考えます。 ・フィッシング (phishing) について スパムと似たものですが、もっと悪質な犯罪行為フィッシングについて、資料を読み、それから身を守る方法について考えます。 						
到達目標	インターネットが充実した情報社会で情報を選別し、人に迷惑をかけず、迷惑行為や犯罪から身を守りながらコンピュータやメディアを積極的に使って知的生活に役立てる						
授業計画	<p>第1週：この授業についての全体的な紹介と注意事項</p> <p>第2週：電子メールとネット上のエチケット ・なぜ「ネチケット」?</p> <p>第3週：電子メールとネット上のエチケット ・メールの仕組みとネチケット</p> <p>第4週：電子メールとネット上のエチケット ・メールのスタイルとネチケット</p> <p>第5週：電子メールとネット上のエチケット ・添付ファイル etc.</p> <p>第6週：日本語のメールに関する問題(1)</p> <p>第7週：日本語のメールに関する問題(2)</p> <p>第8週：ソーシャル・ネットワーキング・サイト(SNS) ・SNSの功罪・子供への影響(1)</p> <p>第9週：スパム・メールについて(1)</p> <p>第10週：スパム・メールについて(2)</p> <p>第11週：スパム・メールについて(3)</p> <p>第12週：インターネットの犯罪・迷惑行為 ・Phishingについて(1)</p> <p>第13週：インターネットの犯罪・迷惑行為 ・Phishingについて(1)</p> <p>第14週：授業のまとめと復習テスト</p> <p>第15週：復習テストの返却とレビュー</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	日常的にコンピュータ、インターネットを使用する。						

授業方法	テキスト（プリント）を読みながら講義とディスカッション。
評価基準と評価方法	授業ごとにクイズ（小テスト）をします。小テストと期末テストを合わせて評価します。
教科書	プリントを使用します。
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報と倫理B/Computer and Ethics B						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜5	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	・情報社会を積極的に生きよう						
授業の概要	<p>インターネット上で提供されている、知的生活に役立つサービスや情報などを紹介し、その活用方法や問題点などについて見ていきます。</p> <p>特に前半では Google に注目し、その歴史、ここが提供しているサービスの内容、企業としてこの会社がどうやってなりたっているのか、などを調べます。</p> <p>次にブログ、ツイッター、ポッドキャストなどインターネット上のメディアについて見ていきます。</p> <p>更に、アメリカ最大のSNS MySpace の実態とその子どもへの影響などについて考えます。</p>						
到達目標	インターネットが充実した情報社会で情報を選別し、人に迷惑をかけず、迷惑行為や犯罪から身を守りながらコンピュータやメディアを積極的に使って知的生活に役立てる						
授業計画	<p>Week 1: 授業の内容、方法、評価方法など</p> <p>Week 2: Google: その歴史、サーチ・エンジンの特徴</p> <p>Week 3: Google: さまざまなサービス、企業としての Google</p> <p>Week 4: Google: Cloud computing</p> <p>Week 5: Google vs. Yahoo!</p> <p>Week 6: ブログについて (1)</p> <p>Week 7: ブログについて (2)</p> <p>Week 8: Twitter</p> <p>Week 9: Podcasting (1)</p> <p>Week 10: Podcasting (2)</p> <p>Week 11: SNS: MySpace (1)</p> <p>Week 12: SNS: MySpace (2)</p> <p>Week 13: SNS MySpace (3)</p> <p>Week 14: 復習と復習テスト</p> <p>Week 15: テスト返却と講評</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	日常的にコンピュータ、インターネットを使用する。						
授業方法	授業ごとにクイズ(小テスト)をします。小テストと期末テストを合わせて評価します。						
評価基準と評価方法	授業ごとにクイズ(小テスト)をします。小テストと期末テストを合わせて評価します。						

教科書	プリントを使います。
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	事前設定科目						
担当教員	予備登録						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	火曜1～2	配当学年	1	単位数	0.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画							
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	事前設定科目						
担当教員	予備登録						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	金曜1～2	配当学年	1	単位数	0.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画							
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	スタディスキル／Study Skills						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Skills required for successful study abroad						
授業の概要	This course will build on progress made in TOEFLと海外留学 A,B to further develop the students' ability to function in an English-speaking society and university environment during their semester abroad.						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. To enable students to take a full-part in their academic life overseas. 2. To develop academic reading and listening skills, and the ability to respond orally to such input in the classroom. 3. To give students the English ability they need to deal successfully with commonly-encountered, daily-life situations in an English-speaking country, especially in homestay. 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Course Introduction and Explanation of Poster Presentation 2. Homestay English A 3. iBT Speaking Independent Q 4. iBT Speaking Independent Q 5. Test 1 (10%) 6. Homestay English B 7. iBT Speaking Integrated Q - R/L/S 8. iBT Speaking Integrated Q - R/L/S 9. Test 2 (20%), Show teacher your presentation idea & notes. 10. Homestay English C 11. iBT Speaking Integrated Q - L/S 12. iBT Speaking Integrated Q - L/S 13. Test 3 (20%), Show poster to teacher. 14. Homestay English D 15. Poster Presentations (30%) 						
授業外における学習（準備学習の内容）	Read and understand textbook conversations and handout exercises before class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on class participation (20%), 3 short tests (50%) and a presentation (30%).						
教科書	CD付き ホームステイの直前英会話 著：桑原 功次 () 出版社：ナツメ社 ISBN: 978-4816322440						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	スタディスキル／Study Skills						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Skills required for successful study abroad						
授業の概要	This course will build on progress made in TOEFLと海外留学 A,B to further develop the students' ability to function in an English-speaking society and university environment during their semester abroad.						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. To enable students to take a full-part in their academic life overseas. 2. To develop academic reading and listening skills, and the ability to respond orally to such input in the classroom. 3. To give students the English ability they need to deal successfully with commonly-encountered, daily-life situations in an English-speaking country, especially in homestay. 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Course Introduction and Explanation of Poster Presentation 2. Homestay English A 3. iBT Speaking Independent Q 4. iBT Speaking Independent Q 5. Test 1 (10%) 6. Homestay English B 7. iBT Speaking Integrated Q - R/L/S 8. iBT Speaking Integrated Q - R/L/S 9. Test 2 (20%), Show teacher your presentation idea & notes. 10. Homestay English C 11. iBT Speaking Integrated Q - L/S 12. iBT Speaking Integrated Q - L/S 13. Test 3 (20%), Show poster to teacher. 14. Homestay English D 15. Poster Presentations (30%) 						
授業外における学習（準備学習の内容）	Read and understand textbook conversations and handout exercises before class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on class participation (20%), 3 short tests (50%) and a presentation (30%).						
教科書	CD付き ホームステイの直前英会話 著：桑原 功次 () 出版社：ナツメ社 ISBN: 978-4816322440						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	ステップアップ英文法A						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	何故に答える英文法						
授業の概要	学校文法では、ことばの用法の解説に焦点が置かれているが、ステップアップ英文法Aでは、用法の解説のみならず、一歩踏み込んで、特定の形式がなぜ特定の意味を表すかについてみていく。授業の目的は理論そのものにあるのではなく、英語のことばの仕組みを形式と意味との関係から捉えることにあるので、用例を中心に英語の基本的な文法項目についてその背後にある発想・考え方をみていく。						
到達目標	(1) 英文法の知識の整理ができるようになる。 (2) 英語の発想・しくみがわかるようになる。 (3) 英語についての疑問に答えられるようになる。						
授業計画	第1回 BEとHAVE 第2回 進行形、受身形 第3回 完了形、アスペクト 第4回 テンスとアスペクト 第5回 現在形と過去形 第6回 現在形と未来表現 第7回 与格構文 give a present to her 第8回 二重目的語構文 give her a present 第9回 与格構文と二重目的語構文の比較 第10回 まとめと質疑応答、試験 第11回 試験の返却と解説、まとめ 第12回 MAKE、HAVEと使役構文BE 第13回 第2文型GETと構文の幅 第14回 TOと不定詞 第15回 INGと現在分詞、動名詞						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に沿って、教科書の関連する部分を読み、内容を事前に把握しておくことで授業に対する興味がわく。 授業後学習：授業後に、ノートを整理することが必要である。パソコンを用いて授業のまとめを作成すると、見目の良さもあって、学習が楽しくなる。ノートは前期末に提出しなければならない。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験1回（50%）、レポート提出（30%）、授業への参加度・ノート作成（20%）で評価する。						
教科書	『レキシカル・グラマーへの招待』 佐藤芳明・田中茂範著、開拓社、ISBN978-4-7589-2509-9						
参考書	授業で知らせる						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	ステップアップ英文法B						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	何故に答える英文法						
授業の概要	ステップアップ英文法Aに引き続き、ステップアップ英文法Bでも文法項目ごとに用法の解説と、英語において意味が形式にどのように反映されるのかを見る。形式と意味の關係に言及するのは、ことばを理解するには用例を学んで暗記するだけでは表面を見ているに過ぎず、形式のうしろに隠れている意味の姿を捉えて初めて可能になるからである。授業では、理論に偏らず、豊富な用例を基に意味と形式の關係を考察し英語のことばのしくみをみていく。						
到達目標	(1) 英文法の知識の整理ができるようになる。 (2) 英語の発想・しくみがわかるようになる。 (3) 英語についての疑問に答えられるようになる。						
授業計画	第1回 名詞の性質 第2回 動詞の性質 第3回 名詞と動詞とアスペクト 第4回 itとthatの用法 第5回 法助動詞の意味 第6回 法助動詞can, may 第7回 法助動詞must, should 第8回 まとめと質疑応答、試験 第9回 試験の返却と解説、まとめ 第10回 willと未来表現 第11回 過去の習慣を表すwouldとused to 第12回 forとofと意味上の主語 第13回 前置詞と感情表現 第14回 過去と感情表現 第15回 知覚動詞構文の意味						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に沿って、教科書の関連する部分を読み、内容を事前に把握しておくことで授業に対する興味がわく。 授業後学習：授業後に、ノートを整理することが必要である。パソコンを用いて授業のまとめを作成すると、見た目の良さもあって、学習が楽しくなる。ノートは前期末に提出しなければならない。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験1回（50%）、レポート提出（30%）、授業への参加度・ノート作成（20%）で評価する。						
教科書	『レキシカル・グラマーへの招待』 佐藤芳明・田中茂範著、開拓社、ISBN978-4-7589-2509-9						
参考書	授業で知らせる。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育基礎A						
担当教員	櫻井 敏子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	早期英語の音声表現法と、アルファベットと音声の関係を扱うフォニックスの基本。 幼児・早期・中学・高校英語教師を目指す学生、物語りの読み語りを英語でやってみたい学生向きである。						
授業の概要	早期英語教育の音声表現法とフォニックスの基本を習得する実践的科目である。アルファベットと音声の関係を扱うフォニックスを中学校より導入される国際音声記号(IPA)を用いて学ぶ。この方法で単語の発音から物語の読み語りまでを学ぶ。当該科目Aではcatの母音の場合のようにアルファベットの音読みになる母音のアルファベット、語尾に発音しない'e'がついてアルファベットの名称読みになる母音のアルファベットを中心に学ぶ。 発音トレーニングA Bを履修した後か、同時に履修するのも効果的である。 日本語教授法と共通点が多く将来の可能性に幅が出来る履修生達は日本語教授法の履修も薦めている。						
到達目標	早期英語の音声表現法と、アルファベットと音声の関係を扱うフォニックスの基本の習得が目標である。理論に基づいた実践で、英語教育に携わるに耐えうるレベルの習得を目標とする。 Aでは教科書の24ページあたりまでと64ページ、th, rの発音のコツを学ぶ。2つの短い作品も読み語りする力をつけるのも目標である。						
授業計画	1. short vowels long vowels (AEpp. 14-18) (AEpp. 20-21) a mat mate e pet Pete i Tim time o not note u cup cute Story: The Little Family 2. Short Vowels vs. Long Vowels Story: The Little Family 3. Polite Vowels 最初のスペリングの名前で発音されるもの (AE pp. 26-30) Story: The Little Family 4. 3の続きとstory 5. Murmuring Vowels (AE pp. 50-54) 6. 5の続きとStory 7. Vowel Digraphs (AE pp. 38-42) Story 8. Storyの発表I(時間があればVideo撮影) 9. Storyの発表 課題: videoをした場合は自己評価 10. Storyの読みを前進するための工夫 Story 発表II 11. 既習のものの復習 12. 既習のものの復習 前期試験の準備I 13. 既習のものの復習 前期試験の準備II 14. 前期の復習と定期試験 (paperと 録音による) 15. 定期試験の検討と整理						
授業外における学習(準備学習の内容)	復習を必ずして授業に望むこと。						

授業方法	講義と実践
評価基準と評価方法	1. 日々のパフォーマンス、自分の発音を録音したテープ提出（欠席が評価に影響します）、ビデオ（時間が許せば） 2. 定期試験 平常点30% 定期試験70%
教科書	教科書と過去に用いたハンドアウトや新たに準備するハンドアウトを使用する。 松香洋子・宮清子 著 『Active Phonics』 （松香フォニックス研究所・正進社）
参考書	松井千枝 著 『英語音声学』 （朝日出版社） 978-4-255-15193-9 http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育基礎B						
担当教員	櫻井 敏子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	早期英語音声表現法の基本の全般と絵本の読み語り						
授業の概要	<p>早期英語教育の音声表現法とフォニックスの基本を習得する実践的科目である。アルファベットと音声の関係を扱うフォニックスを中学より導入される国際音声記号(IPA)を用いて学ぶ。</p> <p>当該科目Bではai, oa, oo, au等母音のアルファベットが連続する場合とer, ar等のように母音のアルファベットとrが連続する場合の規則、母音のアルファベットとwが持つ特有の規則、子音のアルファベットと音声の関係を中心に学ぶ。</p> <p>日本語教授法と共通点が多く将来の可能性に幅が出来ると履修生達は日本語教授法の履修も薦めている。</p>						
到達目標	早期英語音声表現法の基本の全般と、基本を応用した物語の読み語りを英語教育に携われるレベルまで習得することを目標とする。						
授業計画	<p>ダイヤ印の項目を念頭に置きながらシラバスに従って習得します。</p> <p>◇ 発音習得のコツの一つは同化現象：あなたは天満(てんま)をどのようにローマ字で表記しますか。「んま」の箇所をどのように発音していますか。「ん」は両唇を閉じて発音する「ま」の影響を受けて発音しています。これを「同化現象」と呼びます。英語でも“did you, comfortable, on the desk”等の下線部分で同じ現象が起こります。</p> <p>◇ Liaison: This is an apple. では単語間の音を続けて発音します。最後はnappleとなります。</p> <p>◇ Aspiration pen, cake, teaのp, t, kではロウソクの炎が消える程の息が出ます。</p> <p>◇ Alveolars: garden, little, のden, tleでは一度も舌先を歯茎から離さずに、グッと舌先に力を入れて発音します。</p> <p>◇ Woman, Woods等 / w/ + /u/のコンビネーションはwが一番小さく丸く、uは少し開けて発音します。日本語のウーとは逆の開け方です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本の強化をしてレベルアップをめざす。 上記の◇のついているところを集中特訓I 2. 基本の強化と◇の集中特訓II 3. 基本の強化と◇の集中特訓III 4. 母音と子音 (AE p. 10), Game Time (AE p. 12) 上記の◇のついているところを集中特訓 Blue Fish又はDr. Mouse 5. Consonant Digraphs (AE pp. 31-36) 上記の◇のついているところを集中特訓 Blue Fish又はDr. Mouse 6. Consonant Digraphsと◇の集中特訓 Blue Fish又はDr. Mouseリハーサル 7. Consonant Digraphsと◇の集中特訓 Blue Fishの発表と可能ならVideo撮影 8. Consonant Blends (AE pp. 43-48) Blue Fish又はDr. Mouseの整理I (ストレスを受ける品詞) 9. Consonant Blends Blue Fish又はDr. Mouseの整理II (ストレスを受ける品詞) Endings (AE pp. 55-61) 10. Endings (AE pp. 55-61) 他の物語への応用 ◇の集中特訓 11. Presentationの工夫 12. 復習：定期試験の準備I 						

授業計画	13. 復習：定期試験の準備Ⅱ 14. 定期試験の検討と整理（既習事項の確認をする早期英語教育の基本固めになる時間です。） 15. 発声準備、既習に項目の質疑応答と定期試験(Paperと録音)
授業外における学習（準備学習の内容）	復習を必ずして授業に臨むこと
授業方法	講義と実践
評価基準と評価方法	1. 日々のパフォーマンス、自分の発音を録音したテープ提出（欠席が評価に影響します）、ビデオ（時間が許せば） 2. 定期試験 平常点50% 定期試験50%
教科書	教科書と過去に用いたハンドアウトや新たに準備するハンドアウトを使用する。 松香洋子・宮清子 著 『Active Phonics』（松香フォニックス研究所・正進社）
参考書	松井千枝 著 『英語音声学』（朝日出版社） 978-4-255-15193-9 http://ksw.shoin.ac.jp/~sakurai/phone/frame.html

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	単語と文のしくみA						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	日本語・英語の語と文のしくみとコンピュータの使用						
授業の概要	日本語・英語の語と文のしくみを現代の言語学がどのように研究しているか基礎的な考え方を概観し、具体的な用例をケース・スタディとして調べてみます。語のしくみを調べていく道具として電子辞書を活用し、語や文が具体的にどのように使用されているかをインターネットで検索して生きたことばの姿を探っていきます。A では語のしくみに焦点を当てていきます。						
到達目標	日本語・英語の語と文のしくみとその背後にある法則性を発見、理解して、語彙力、文法の知識をやしなう。電子辞書、インターネット検索によって情報リテラシーを高める。						
授業計画	第1回：授業の概要説明 第2回：電子辞書とインターネット検索の方法 第3回：語のしくみ 第4回：新造語について 第5回：語形成 (1) 複合語の全体的な問題 第6回：語形成 (2) 複合語の特殊な問題 第7回：語形成 (3) 派生語の全体的な問題 第8回：語形成 (4) 派生語の特殊な問題 (1) 派生語のしくみと接辞 第9回：語形成 (5) 派生語の特殊な問題 (2) 「語の主要部」とは 第10回：語形成 (6) 語形成全体に関わる考え方 第11回：語形成と電子辞書 第12回：語と文の使用とインターネット (1) 検索の方法 第13回：語と文の使用とインターネット (2) 「例外的な文や語」を探そう 第14回：授業のまとめと期末復習テスト 第15回：期末復習テストの講評と復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常的にコンピュータ、インターネットを使用して英語の文章に親しむ。						
授業方法	講義と課題にもとづく作業をしてもらいます。						
評価基準と評価方法	・A: 各授業で小テストを行い、学期全体の成績を100点満点として算出 ・B: 学期の最後に期末復習テストを行う。100点満点。 ・A と B のそれぞれ50%を足した点数をこの授業の成績とします。						
教科書	授業で指示します						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	単語と文のしくみB						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	日本語・英語の語と文のしくみとコンピュータの使用						
授業の概要	日本語・英語の語と文のしくみを現代の言語学がどのように研究しているか基礎的な考え方を概観し、具体的な用例をケース・スタディとして調べてみます。語のしくみを調べていく道具として電子辞書を活用し、語や文が具体的にどのように使用されているかをインターネットで検索して生きたことばの姿を探っていきます。B では文のしくみに焦点を当てていきます。						
到達目標	日本語・英語の語と文のしくみとその背後にある法則性を発見、理解して、語彙力、文法の知識をやしなう。電子辞書、インターネット検索によって情報リテラシーを高める。						
授業計画	第1回：授業の概要説明 第2回：文のしくみ (1) 語順について 第3回：文のしくみ (2) 日英語の語順 第4回：文のしくみ (3) 文を組み立てる 第5回：文のしくみ (4) 動詞の役割 第6回：文のしくみ (5) 他動詞と自動詞 第7回：文のしくみ (6) いろいろな自動詞 第8回：文のしくみ (7) 受け身文って何？ 第9回：文のしくみ (8) 日本語の受け身文 第10回：文のしくみ (9) 文の中の文 that 節について 第11回：文のしくみ (10) 不定詞を含む文 第12回：文のしくみ (11) 疑問文 第13回：文のしくみ (12) 疑問文と日英語の違い 第14回：授業のまとめと期末復習テスト 第15回：期末復習テストの講評と復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常的にコンピュータ、インターネットで英文に親しむ。						
授業方法	講義と課題にもとづく作業をしてもらいます。						
評価基準と評価方法	・A: 各授業で小テストを行い、学期全体の成績を100点満点として算出 ・B: 学期の最後に期末復習テストを行う。100点満点。 ・A と B のそれぞれ50%を足した点数をこの授業の成績とします。						
教科書	教室で指示します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳トレーニングA						
担当教員	清水 陽子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	通訳トレーニングを用いた英語運用能力の強化						
授業の概要	通訳とはどのような作業をおこなうのかに対して理解を深め、それにより情報が正しく伝達されるための要素を学びます。授業では速読、速訳、要約など実際の通訳養成トレーニングを用いて、効果的な英語の学習方法の実践・習得に努めます。英語運用能力を高めるために不可欠な暗唱と反復練習を通して語彙の増強を基本に置き、ペアを組んだクラスメイトとのスピーチ通訳パフォーマンスを行います。さらにはニュースやスピーチ等も教材に取り入れることで知識・教養を深め、総合的な英語の運用能力の向上を目指します。						
到達目標	語彙が増え、口頭による英語伝達力とリスニング力の伸びを実感できるようになります。						
授業計画	1 Unit 1 ラギング、シャドウイング 2 Unit 2 単語クイックレスポンス 単文暗唱 3 Unit 2 ディクテーション 4 Unit 3 発音矯正 5 Unit 3 スピードを上げる 6 Unit 4 速訳 7 Unit 4 要約 8 Unit 5 ニュースの英語 9 Unit 5 国際交流の英語 10 スピーチ通訳原稿作成 11 スピーチ通訳パフォーマンス 12 スピーチ通訳パフォーマンス 13 スピーチ通訳パフォーマンス 14 スピーチ通訳パフォーマンス 15 まとめと試験 毎回授業は前回学習したトレーニング方法を用いますので、第1回から第7回の各トレーニング方法は回を進めることに反復練習します。						
授業外における学習（準備学習の内容）	英語の知識を実際のコミュニケーションが出来るように繋げるには、運動や楽器の場合と同様にトレーニングが不可欠です。授業で習ったトレーニングを授業外における学習で習得するため、毎回課題の宿題をこなしてください。						
授業方法	CALL教室にて、ヘッドセットを用いて通訳トレーニングを行う演習形式です。ペアを組んだクラスメイトとの通訳パフォーマンスもあります。						
評価基準と評価方法	平常点20% 提出物20% スピーチ通訳パフォーマンス30% 試験30%						
教科書	Developing Interpreting Skills for Communication 通訳とコミュニケーションの総合演習 南雲堂						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目																																																																																	
科目名	通訳トレーニングB																																																																																	
担当教員	清水 陽子																																																																																	
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0																																																																											
授業のテーマ	通訳トレーニングによる英語運用能力の強化																																																																																	
授業の概要	前期の通訳トレーニングAから継続して、英語運用能力の向上を目指します。通訳トレーニングAと同じく通訳とはどのような作業をおこなうのかに対してより理解を深め、速読、速訳、要約など既習内容のトレーニング踏まえて、よりステップアップした内容を履修します。暗唱と反復練習は継続的におこない、ペアを組んだクラスメイトとのスピーチ通訳パフォーマンスでより実践力を向上させます。基本的には前期Aと同じ技法をもちいますが、スパイラルな学習法を活用して、内容的により高度なものを取り入れ、更なる実践力を高めます。																																																																																	
到達目標	語彙が増え、口頭による英語伝達力とリスニング力の伸びを実感できるようになります。																																																																																	
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>Unit 6</td> <td>国際交流</td> <td>演習 1</td> <td>ラギング、シャドウイング</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 6</td> <td>国際交流</td> <td>演習 2</td> <td>単語クイックレスポンス 単文暗唱</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Unit 7</td> <td>日本の文化</td> <td>1</td> <td>ディクテーション</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Unit 7</td> <td>日本の文化</td> <td>2</td> <td>発音矯正</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Unit 8</td> <td>海外の文化</td> <td>1</td> <td>スピードを上げる</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Unit 8</td> <td>海外の文化</td> <td>2</td> <td>速訳</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Unit 9</td> <td>社会事情</td> <td>高齢化・少子化現象</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Unit 9</td> <td>社会事情</td> <td>要約</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Unit 10</td> <td>社会事情</td> <td>青少年問題</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Unit 10</td> <td>社会事情</td> <td>要約</td> <td>スピーチ通訳原稿作成</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td colspan="4">スピーチ通訳パフォーマンス</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td colspan="4">スピーチ通訳パフォーマンス</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td colspan="4">スピーチ通訳パフォーマンス</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td colspan="4">スピーチ通訳パフォーマンス</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td colspan="4">まとめと試験</td> </tr> </table> <p>毎回授業は前回学習したトレーニング方法を用いますので、第1回から第6回の各トレーニング方法は回を進めることに反復練習します。</p>							1	Unit 6	国際交流	演習 1	ラギング、シャドウイング	2	Unit 6	国際交流	演習 2	単語クイックレスポンス 単文暗唱	3	Unit 7	日本の文化	1	ディクテーション	4	Unit 7	日本の文化	2	発音矯正	5	Unit 8	海外の文化	1	スピードを上げる	6	Unit 8	海外の文化	2	速訳	7	Unit 9	社会事情	高齢化・少子化現象		8	Unit 9	社会事情	要約		9	Unit 10	社会事情	青少年問題		10	Unit 10	社会事情	要約	スピーチ通訳原稿作成	11	スピーチ通訳パフォーマンス				12	スピーチ通訳パフォーマンス				13	スピーチ通訳パフォーマンス				14	スピーチ通訳パフォーマンス				15	まとめと試験			
1	Unit 6	国際交流	演習 1	ラギング、シャドウイング																																																																														
2	Unit 6	国際交流	演習 2	単語クイックレスポンス 単文暗唱																																																																														
3	Unit 7	日本の文化	1	ディクテーション																																																																														
4	Unit 7	日本の文化	2	発音矯正																																																																														
5	Unit 8	海外の文化	1	スピードを上げる																																																																														
6	Unit 8	海外の文化	2	速訳																																																																														
7	Unit 9	社会事情	高齢化・少子化現象																																																																															
8	Unit 9	社会事情	要約																																																																															
9	Unit 10	社会事情	青少年問題																																																																															
10	Unit 10	社会事情	要約	スピーチ通訳原稿作成																																																																														
11	スピーチ通訳パフォーマンス																																																																																	
12	スピーチ通訳パフォーマンス																																																																																	
13	スピーチ通訳パフォーマンス																																																																																	
14	スピーチ通訳パフォーマンス																																																																																	
15	まとめと試験																																																																																	
授業外における学習（準備学習の内容）	英語の知識を実際のコミュニケーションが出来るように繋げるには、運動や楽器の場合と同様にトレーニングが不可欠です。授業で習ったトレーニングを授業外における学習で習得するため毎回課題の宿題をこなしてください。																																																																																	
授業方法	CALL教室にて、ヘッドセットを用いて通訳トレーニングを行う演習形式です。ペアを組んだクラスメイトとの通訳パフォーマンスもあります。																																																																																	
評価基準と評価方法	平常点20% 提出物20% スピーチ通訳パフォーマンス30% 試験30%																																																																																	
教科書	Developing Interpreting Skills for Communication 通訳とコミュニケーションの総合演習 南雲堂 ISBN4-523-17331-1																																																																																	
参考書																																																																																		

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	比較文化論A／Study of Comparative Culture A						
担当教員	C. L. Starling						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Comparative culture (primarily comparing Western and East Asian culture)						
授業の概要	授業の到達目標及びテーマ到達目標：二つの要素があります。一つは学生を比較文化の概念に慣れさせることです。二つ目は西洋の考え方やふるまいを西洋の文化的歴史の鍵となる側面の学習を通してもっと解りやすくすることです。テーマ：西洋と東アジア（特に日本）の文化：原点の違いと現在の違い。授業の概要比較文化論 A では、文化的差異を理解するためには、（誰の目にも明らかな現象である）文化の表層的な差異だけでなく、その背景となる仮定、動機、価値観なども吟味する必要があるという考え方を紹介する。次に西洋の文化的背景を詳しく調べる。						
到達目標	To develop students' awareness of comparative culture as a discipline. To develop students' knowledge of the Western cultural background and its differences from the background of East Asian cultures. To develop students' listening skill (in particular) and reading and writing skills.						
授業計画	第1回：Course Introduction 第2回：Culture and comparative culture 第3回：Food 第4回：Rhetoric 第5回：Reasoning 第6回：Center and periphery 第7回：Socrates, Plato, Aristotle 第8回：The Voice of conscience 第9回：Freedom and equality 第10回：Women's rights 第11回：Game for key word review of Classes 2-10 第12回：Review (Part One) concerning material of Classes 2-6 第13回：Review (Part Two) concerning material of Classes 7-10 第14回：Summary of main points and examination preparation 第15回：Revision and examination						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students generally need to acquire A or high B level English 1 listening skills before studying in this class. Students of C level should work on their listening skills and take this class in a later year.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	授業中の学習評価を50%、学期試験評価を50%とする。						
教科書	None. Prints are used.						
参考書	Hinds & Iwasaki. (1995). An Introduction To Intercultural Communication. Tokyo: Nan' un-do.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	比較文化論B／Study of Comparative Culture B						
担当教員	C. L. Starling						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Comparative culture (primarily comparing Western and East Asian culture)						
授業の概要	授業の到達目標及びテーマ到達目標：二つの要素があります。一つは東アジア（特に日本人）の考え方や行動を東アジアの鍵となる側面の学習を通して、学生にもっと解りやすくすることです。二つ目は東アジアと西洋の考え方、態度やふるまいを比較対照させることです。テーマ：西洋と東アジア（特に日本）の文化：原点の違いと現在の違い。授業の概要比較文化論 B では、東アジアの文化的背景を詳しく調べ、西洋文化と比較・対照させた上で、今日のそれぞれの社会での日常生活に関連付けて考える。最後に、文化ショックが起こる典型的な原因およびグローバル化が文化にとって意味するものに注目する。						
到達目標	To develop students' awareness of comparative culture as a discipline. To develop students' knowledge of the Western cultural background and its differences from the background of East Asian cultures. To develop students' listening skill (in particular) and reading and writing skills.						
授業計画	第1回：Confucianism 第2回：Wabi-sabi 第3回：Amae 第4回：Communication style 第5回：Marriage 第6回：University life 第7回：Foreigners' surprises in Japan 第8回：Surprises of Japanese abroad 第9回：Game for review 第10回：Perception 第11回：From local to global 第12回：Review (Part One) concerning material of Classes 1-4 第13回：Review (Part Two) concerning material of Classes 5-11 第14回：Summary of main points and examination preparation 第15回：Revision and examination						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students generally need to acquire A or high B level English 1 listening skills before studying in this class. Students of C level should work on their listening skills and take this class in a later year.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	授業中の学習評価を50%、学期試験評価を50%とする。						
教科書	None. Prints are used.						
参考書	Doi Takeo. (2002). The Anatomy of Dependence. Tokyo: Kodansha. Nisbett, Richard E. (2003). The Geography of Thought. London: Nicholas Brealey Publishing.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語A						
担当教員	岡部 浩子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として活躍できる能力を習得する。						
授業の概要	グローバル社会におけるバイリンガル・セクレタリが企業内で果たしている役割を考察し、その業務遂行に必要な基礎知識と必要な英語を学習する。秘書が携わる業務、主に来客受付・応答、電話対応・取次ぎ、メッセージの取り方、レジユメの書き方などについて演習を交えながら学習する。						
到達目標	バイリンガル・セクレタリとして必要な基礎知識を身につけることができます。ビジネスで使える単語、表現、マナーなど、通常の英会話とのちがいなども理解できるようになります。						
授業計画	第1回 Introduction to the course and Unit 1 Job Hunting: part1 In Person 第2回 Unit 1: part 1 In Person and part 2 Telephone Communication 第3回 Unit 1 review quiz and Unit 2 Job Interviews: part 1 In Person 第4回 Unit 2: part 1 and part 2 Telephone Communication 第5回 Unit 2 review quiz and Unit 3 Company Profile: part 1 In Person 第6回 Unit 3: part 1 and part 2 Telephone Communication 第7回 Unit 3 review quiz and Unit 4 Job Description: part 1 In Person 第8回 Unit 4: part 1 and part 2 Telephone Communication 第9回 Unit 4 review quiz and Unit 5 E-mai-Announcing a Meeting: part 1 In Person 第10回 Unit 5: part 1 and part 2 Telephone Communication 第11回 Unit 5 review quiz and Unit 6 Meeting Business Associates at the Airport: part 1 In Person 第12回 Unit 6: part 1 and part 2 Telephone Communication 第13回 Unit 6 review quiz and TOEIC exercise 第14回 TOEIC exercise 第15回 Review and term exam						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書の該当する箇所の内容を理解し、単語の意味を調べておいてください。 授業後学習：学習したことを復習し、英語と日本語双方向に文が作れるようにしてください。また、音読練習も並行して行ってください。						
授業方法	講義・演習						
評価基準と評価方法	平常点（40%）、課題（10%）、試験（小テスト25%・期末テスト25%）						
教科書	Let's Get Down to Business, Kazushige Tsuji, Setsu Tsuji and Margaret M. Lieb, Macmillan Language House ISBN: 9784777363858						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語A						
担当教員	岡部 浩子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として活躍できる能力を習得する。						
授業の概要	グローバル社会におけるバイリンガル・セクレタリが企業内で果たしている役割を考察し、その業務遂行に必要な基礎知識と必要な英語を学習する。秘書が携わる業務、主に来客受付・応答、電話対応・取次ぎ、メッセージの取り方、レジユメの書き方などについて演習を交えながら学習する。						
到達目標	バイリンガル・セクレタリとして必要な基礎知識を身につけることができます。ビジネスで使える単語、表現、マナーなど、通常の英会話とのちがいなども理解できるようになります。						
授業計画	第1回 Introduction to the course and Unit 1 Job Hunting: part1 In Person 第2回 Unit 1: part 1 In Person and part 2 Telephone Communication 第3回 Unit 1 review quiz and Unit 2 Job Interviews: part 1 In Person 第4回 Unit 2: part 1 and part 2 Telephon Communication 第5回 Unit 2 review quiz and Unit 3 Company Profile: part 1 In Person 第6回 Unit 3: part 1 and part 2 Telephone Communication 第7回 Unit 3 review quiz and Unit 4 Job Description: part 1 In Person 第8回 Unit 4: part 1 and part 2 Telephone Communication 第9回 Unit 4 review quiz and Unit 5 E-mai-Announcing a Meeting: part 1 In Person 第10回 Unit 5: part 1 and part 2 Telephone Communication 第11回 Unit 5 review quiz and Unit 6 Meeting Business Associates at the Airport: part 1 In Person 第12回 Unit 6: part 1 and part 2 Telephone Communication 第13回 Unit 6 review quiz and TOEIC exercise 第14回 TOEIC exercise 第15回 Review and term exam						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習: 授業計画に従い、教科書の該当する箇所の内容を理解し、単語の意味を調べておいてください。 授業後学習: 学習したことを復習し、英語と日本語双方向に文が作れるようにしてください。また、音読練習も並行して行ってください。						
授業方法	講義・演習						
評価基準と評価方法	平常点(40%)、課題(10%)、試験(小テスト25%・期末テスト25%)						
教科書	Let's Get Down to Business, Kazushige Tsuji, Setsu Tsuji and Margaret M. Lieb, Macmillan Language House ISBN: 9784777363858						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語A						
担当教員	多賀谷 真吾						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	秘書に求められる英語力を習得する。						
授業の概要	ビジネスの場面で使用する英語を読解しながら、秘書として必要な英語表現、語彙などを理解し、国際社会に通用する英語力の養成を目指す。あわせて、グローバル社会において秘書が企業内で果たしている役割を考察し、その業務遂行に必要な基礎知識と必要な英語を学習する。秘書が携わる業務、主に、来客受付、応対、レジユメの書き方などについて、演習を交えながら学習する。						
到達目標	この授業を受けることで、秘書の実務に必要なジャンルの英語の語彙や表現を習得し、英語読解力を身につけることができ、加えてTOEIC試験などのスコア・アップにも役立つことになる。						
授業計画	第01回 インTRODクシヨN 第02回 基礎読解演習(01) テーマ:天気・気象 第03回 基礎読解演習(02) テーマ:求人広告(01) 第04回 基礎読解演習(03) テーマ:求人広告(02) 第05回 基礎読解演習(04) テーマ:求人広告への応募(01) 第06回 基礎読解演習(05) テーマ:求人広告への応募(02) 第07回 基礎読解演習(06) テーマ:求人応募への不採用通知(01) 第08回 基礎読解演習(07) テーマ:求人応募への不採用通知(02) 第09回 基礎読解演習(08) テーマ:苦情 第10回 基礎読解演習(09) テーマ:苦情への対応 第11回 基礎読解演習(10) テーマ:銀行(01) 第12回 基礎読解演習(11) テーマ:銀行(02) 第13回 基礎読解演習(12) テーマ:航空(01) 第14回 基礎読解演習(13) テーマ:航空(02) 第15回 質疑応答と復習						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習:各プリントの4ページ目の英文を読解してくる事。 授業後学習:各プリントの1~3ページ目の授業で学んだ英文を暗唱できるくらい音読してくる事。						
授業方法	演習方式。						
評価基準と評価方法	毎回の小テスト80%、発表点20%						
教科書	プリントを使用する。						
参考書	なし。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語A						
担当教員	多賀谷 真吾						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	秘書に求められる英語力を習得する。						
授業の概要	ビジネスの場面で使用する英語を読解しながら、秘書として必要な英語表現、語彙などを理解し、国際社会に通用する英語力の養成を目指す。あわせて、グローバル社会において秘書が企業内で果たしている役割を考察し、その業務遂行に必要な基礎知識と必要な英語を学習する。秘書が携わる業務、主に、来客受付、応対、レジユメの書き方などについて、演習を交えながら学習する。						
到達目標	この授業を受けることで、秘書の実務に必要なジャンルの英語の語彙や表現を習得し、英語読解力を身につけることができ、加えてTOEIC試験などのスコア・アップにも役立つことになる。						
授業計画	第01回 インTRODクシヨN 第02回 基礎読解演習(01) テーマ: 天気・気象 第03回 基礎読解演習(02) テーマ: 求人広告(01) 第04回 基礎読解演習(03) テーマ: 求人広告(02) 第05回 基礎読解演習(04) テーマ: 求人広告への応募(01) 第06回 基礎読解演習(05) テーマ: 求人広告への応募(02) 第07回 基礎読解演習(06) テーマ: 求人応募への不採用通知(01) 第08回 基礎読解演習(07) テーマ: 求人応募への不採用通知(02) 第09回 基礎読解演習(08) テーマ: 苦情 第10回 基礎読解演習(09) テーマ: 苦情への対応 第11回 基礎読解演習(10) テーマ: 銀行(01) 第12回 基礎読解演習(11) テーマ: 銀行(02) 第13回 基礎読解演習(12) テーマ: 航空(01) 第14回 基礎読解演習(13) テーマ: 航空(02) 第15回 質疑応答と復習						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習: 各プリントの4ページ目の英文を読解してくる。こと。 授業後学習: 各プリントの1~3ページ目の授業で学んだ英文を暗唱できるくらい音読してくる。こと。						
授業方法	演習方式。						
評価基準と評価方法	毎回の小テスト80%、発表点20%						
教科書	プリントを使用する。						
参考書	なし。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	岡部 浩子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として活躍できる能力を習得する。						
授業の概要	秘書英語Aで学習した内容を基に、秘書として業務を遂行していく上で必要な英語を学び、出張業務、スケジュール管理、パソコンを用いたの文書作成、英文ビジネスレターについて学習する。また、企業で上司のサポートをし、コミュニケーションのパイプ役を果たす秘書がおこなう多岐に渡る業務を円滑に進めることができるよう、発表の機会を増やし、多様な場面で発表や実習を行う。発表を通して、職場で使用する会話表現や文化の違いなどを学習する。						
到達目標	バイリンガル・セクレタリとして必要な基礎知識を基に、それを応用していく技能を身につけることができます。						
授業計画	第1回 Introduction to the course and Unit 7 At the Reception Desk: part1 In Person 第2回 Unit 7: part 1 In Person and part 2 Telephone Communication 第3回 Unit 7 review quiz and Unit 8 Introductions & Exchanging Business Cards: part 1 In Person 第4回 Unit 8: part 1 and part 2 Telephone Communication 第5回 Unit 8 review quiz and Unit 9 Opening Remarks at a Meeting: part 1 In Person 第6回 Unit 9: part 1 and part 2 Telephone Communication 第7回 Unit 9 review quiz and Unit 10 Presentation: part 1 In Person 第8回 Unit 10: part 1 and part 2 Telephone Communication 第9回 Unit 10 review quiz and Unit 11 Negotiation: part 1 In Person 第10回 Unit 11: part 1 and part 2 Telephone Communication 第11回 Unit 11 review quiz and Unit 12 Invitation to Dinner: part 1 In Person 第12回 Unit 12: part 1 and part 2 Telephone Communication 第13回 Unit 12 review quiz and TOEIC exercise 第14回 TOEIC exercise 第15回 Review and term exam						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習：授業計画に従い、教科書の該当する箇所の内容を理解し、単語の意味を調べておいてください。 授業後学習：学習したことを復習し、英語と日本語双方向に文が作れるようにしてください。また、音読練習も並行して行ってください。						
授業方法	講義・演習						
評価基準と評価方法	平常点(40%)、課題(10%)、試験(小テスト25%・期末テスト25%)						
教科書	Let's Get Down to Business, Kazushige Tsuji, Setsu Tsuji and Margaret M. Lieb, Macmillan Language House ISBN: 9784777363858						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	岡部 浩子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として活躍できる能力を習得する。						
授業の概要	秘書英語Aで学習した内容を基に、秘書として業務を遂行していく上で必要な英語を学び、出張業務、スケジュール管理、パソコンを用いたの文書作成、英文ビジネスレターについて学習する。また、企業で上司のサポートをし、コミュニケーションのパイプ役を果たす秘書がおこなう多岐に渡る業務を円滑に進めることができるよう、発表の機会を増やし、多様な場面で発表や実習を行う。発表を通して、職場で使用する会話表現や文化の違いなどを学習する。						
到達目標	バイリンガル・セクレタリとして必要な基礎知識を基に、それを応用していく技能を身につけることができます。						
授業計画	第1回 Introduction to the course and Unit 7 At the Reception Desk: part1 In Person 第2回 Unit 7: part 1 In Person and part 2 Telephone Communication 第3回 Unit 7 review quiz and Unit 8 Introductions & Exchanging Business Cards: part 1 In Person 第4回 Unit 8: part 1 and part 2 Telephone Communication 第5回 Unit 8 review quiz and Unit 9 Opening Remarks at a Meeting: part 1 In Person 第6回 Unit 9: part 1 and part 2 Telephone Communication 第7回 Unit 9 review quiz and Unit 10 Presentation: part 1 In Person 第8回 Unit 10: part 1 and part 2 Telephone Communication 第9回 Unit 10 review quiz and Unit 11 Negotiation: part 1 In Person 第10回 Unit 11: part 1 and part 2 Telephone Communication 第11回 Unit 11 review quiz and Unit 12 Invitation to Dinner: part 1 In Person 第12回 Unit 12: part 1 and part 2 Telephone Communication 第13回 Unit 12 review quiz and TOEIC exercise 第14回 TOEIC exercise 第15回 Review and term exam						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習：授業計画に従い、教科書の該当する箇所の内容を理解し、単語の意味を調べておいてください。 授業後学習：学習したことを復習し、英語と日本語双方向に文が作れるようにしてください。また、音読練習も並行して行ってください。						
授業方法	講義・演習						
評価基準と評価方法	平常点(40%)、課題(10%)、試験(小テスト25%・期末テスト25%)						
教科書	Let's Get Down to Business, Kazushige Tsuji, Setsu Tsuji and Margaret M. Lieb, Macmillan Language House ISBN: 9784777363858						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	多賀谷 真吾						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	秘書に求められる英語力を習得する。						
授業の概要	ビジネスの場面で使用する英語を読解しながら、秘書として必要な英語表現、表彙などを理解し、国際社会に通用する英語力の養成を目指す。あわせて、グローバル社会において秘書が企業内で果たしている役割を考察し、その業務遂行に必要な基礎知識と必要な英語を学習する。秘書が携わる業務、主に、来客受付、応対、レジユメの書き方などについて、演習を交えながら学習する。						
到達目標	この授業を受けることで、秘書の実務に必要なジャンルの英語の語彙や表現を習得し、英語読解力を身につけることができ、加えてTOEIC試験などのスコア・アップにも役立つことになる。						
授業計画	第01回 インTRODクシヨN 第02回 応用読解演習(01) テーマ: 医薬(01) 第03回 応用読解演習(02) テーマ: 車と駐車(01) 第04回 応用読解演習(03) テーマ: 車と駐車(02) 第05回 応用読解演習(04) テーマ: 統計データ(01) 第06回 応用読解演習(05) テーマ: 統計データ(02) 第07回 応用読解演習(06) テーマ: 警告(01) 第08回 応用読解演習(07) テーマ: 警告(02) 第09回 応用読解演習(08) テーマ: レシピ 第10回 応用読解演習(09) テーマ: 旅程表 第11回 応用読解演習(10) テーマ: 金融(01) 第12回 応用読解演習(11) テーマ: 金融(02) 第13回 応用読解演習(12) テーマ: メモランダム 第14回 応用読解演習(13) テーマ: 株式 第15回 質疑応答と復習						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習: 各プリントの4ページ目の英文を読解してくる。こと。 授業後学習: 各プリントの1~3ページ目の授業で学んだ英文を暗唱できるくらい音読してくる。こと。						
授業方法	演習方式。						
評価基準と評価方法	毎回の小テスト80%、発表点20%						
教科書	プリントを使用する。						
参考書	なし。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	多賀谷 真吾						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	秘書に求められる英語力を習得する。						
授業の概要	ビジネスの場面で使用する英語を読解しながら、秘書として必要な英語表現、表彙などを理解し、国際社会に通用する英語力の養成を目指す。あわせて、グローバル社会において秘書が企業内で果たしている役割を考察し、その業務遂行に必要な基礎知識と必要な英語を学習する。秘書が携わる業務、主に、来客受付、応対、レジユメの書き方などについて、演習を交えながら学習する。						
到達目標	この授業を受けることで、秘書の実務に必要なジャンルの英語の語彙や表現を習得し、英語読解力を身につけることができ、加えてTOEIC試験などのスコア・アップにも役立つことになる。						
授業計画	第01回 インTRODクシヨN 第02回 応用読解演習(01) テーマ: 医薬(01) 第03回 応用読解演習(02) テーマ: 車と駐車(01) 第04回 応用読解演習(03) テーマ: 車と駐車(02) 第05回 応用読解演習(04) テーマ: 統計データ(01) 第06回 応用読解演習(05) テーマ: 統計データ(02) 第07回 応用読解演習(06) テーマ: 警告(01) 第08回 応用読解演習(07) テーマ: 警告(02) 第09回 応用読解演習(08) テーマ: レシピ 第10回 応用読解演習(09) テーマ: 旅程表 第11回 応用読解演習(10) テーマ: 金融(01) 第12回 応用読解演習(11) テーマ: 金融(02) 第13回 応用読解演習(12) テーマ: メモランダム 第14回 応用読解演習(13) テーマ: 株式 第15回 質疑応答と復習						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習: 各プリントの4ページ目の英文を読解してくる。こと。 授業後学習: 各プリントの1~3ページ目の授業で学んだ英文を暗唱できるくらい音読してくる。こと。						
授業方法	演習方式。						
評価基準と評価方法	毎回の小テスト80%、発表点20%						
教科書	プリントを使用する。						
参考書	なし。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論A						
担当教員	福田 洋子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者の研究						
授業の概要	<p>企業のトップを補佐する秘書に必要な知識(基礎編) 企業の重責を担う人物を補佐する秘書に必要な知識や技能について解説する。社会の急激な変化に伴い、秘書に求められる知識や技能は広範囲なものとなっている。コミュニケーション能力やホスピタリティマインド、リスクマネジメントなど、事務職に付く人はもちろん、航空、旅行、マスコミ関係などさまざまな職業に活かせる実務知識や常識を身につけさせ、企業とはどのようなところか、働く意味、などの基礎知識を分かりやすく解説する。</p> <p>ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、応用力を養える内容とする。学生自身のライフスタイル、キャリア構築に役立つものとしたい。</p>						
到達目標	企業社会の方向性を理解する。社会で活躍するためにどのような知識をスキルが必要かを学び、準備することができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書とは (グループディスカッション) 2. 情報化時代と秘書 3. 会社の仕組み 4. 会社役員と秘書 5. 会社の経営組織 6. 意思決定システム (グループディスカッション) 7. 秘書による補佐形態 8. 秘書の職務と役割 9. 秘書の職務内容 10. 職業人としての基礎力 (グループディスカッション) 11. 働く意味 (グループディスカッション) 12. キャリアデザインとは 13. 経営環境の変化 14. まとめ 15. 質疑応答と期末試験 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを読んでおく。</p> <p>授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど、解決に努める。</p>						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	筆記試験(70%)と平常点(30%)の総合評価						
教科書	<p>オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成 西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著 (中央経済社) ISBN978-4-502-39920-6</p>						
参考書	<p>CSR働く意味を問う、第一版、編者 日経CSRプロジェクト、ISBN978-4-532-31313-5 脱フリーター宣言!大学生の生き方・考え方、塚谷 正彦 著、実業出版(株)、ISBN4-407-30541-X やさしい経営学、海野 博・所 伸之 編著、(株)創成社、ISBN978-4-7944-2260-6</p>						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論A						
担当教員	福田 洋子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者の研究						
授業の概要	<p>企業のトップを補佐する秘書に必要な知識(基礎編) 企業の重責を担う人物を補佐する秘書に必要な知識や技能について解説する。社会の急激な変化に伴い、秘書に求められる知識や技能は広範囲なものとなっている。コミュニケーション能力やホスピタリティマインド、リスクマネジメントなど、事務職に付く人はもちろん、航空、旅行、マスコミ関係などさまざまな職業に活かせる実務知識や常識を身につけさせ、企業とはどのようなところか、働く意味、などの基礎知識を分かりやすく解説する。</p> <p>ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、応用力を養える内容とする。学生自身のライフスタイル、キャリア構築に役立つものとする。</p>						
到達目標	企業社会の方向性を理解する。社会で活躍するためにどのような知識とスキル必要かを学び、準備することができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書とは (グループディスカッション) 2. 情報化時代と秘書 3. 会社の仕組み 4. 会社役員と秘書 5. 会社の経営組織 6. 意思決定システム (グループディスカッション) 7. 秘書による補佐形態 8. 秘書の職務と役割 9. 秘書の職務内容 10. 職業人としての基礎力 (グループディスカッション) 11. 働く意味 (グループディスカッション) 12. キャリアデザインとは 13. 経営環境の変化 14. まとめ 15. 質疑応答と期末試験 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを読んでおく。</p> <p>授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど、解決に努める。</p>						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	筆記試験(70%)と平常点(30%)の総合評価						
教科書	<p>オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成 西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著 (中央経済社) ISBN978-4-502-39920-6</p>						
参考書	<p>CSR働く意味を問う、第一版、編者 日経CSRプロジェクト、ISBN978-4-532-31313-5 脱フリーター宣言!大学生の生き方・考え方、塚谷 正彦 著、実業出版(株)、ISBN4-407-30541-X やさしい経営学、海野 博・所 伸之 編著、(株)創成社、ISBN978-4-7944-2260-6</p>						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論B						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者の研究						
授業の概要	<p>企業のトップを補佐する秘書に必要な知識(応用編) 企業の重責を担う人物を補佐する秘書に必要な知識や技能について解説する。社会の急激な変化に伴い、秘書の求められる知識や技能は広範囲なものになっている。コミュニケーション能力やホスピタリティマインド、リスクマネジメントなど、事務職につく人はもちろん、航空、旅行、マスコミ関係などさまざまな職業に行かせる実務知識や常識が身につく。 企業とはどのようなところか、働く意味、などを分かりやすく解説する。ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、応用力を養える内容とする。学生自身のライフスタイル、キャリア構築に役立つものとした。</p>						
到達目標	企業社会の方向性を理解する。社会で活躍するために、どのような知識とスキルが必要かを学び、準備することができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書とは 2. 秘書とコミュニケーション I 3. 秘書とコミュニケーション II (グループディスカッション) 4. 人間関係 (グループディスカッション) 5. プロトコール 6. ホスピタリティ 7. コーポレート・ガバナンス 8. 働く目的 (グループディスカッション) 9. リスクマネジメント 10. 秘書のためのレファレンス 11. 経済・政治・地域に関する情報 12. 社会・文化に関する情報 13. 自己決定力(義務・権利・責任) (グループディスカッション) 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを読んでおく。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。</p>						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	筆記試験(70%)と平常点(30%)の総合評価。						
教科書	オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成、西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著 (中央経済社) ISBN978-4-502-39920-6						
参考書	<p>国際ビジネスのためのプロトコール、改訂版、寺西 千代子 著、有斐閣ビジネス、ISBN4-641-06913-1 全図解 日本のしくみ(政治・経済・司法編)、講談社インターナショナル(株)、ISBN4-7700-2726-5 伝説コンシェルジュが明かすプレミアム名おもてなし、前田 佳子 著、ダイヤモンド社、 ISBN978-4-478-00043-4</p>						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論B						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者の研究						
授業の概要	<p>企業のトップを補佐する秘書に必要な知識(応用編) 企業の重責を担う人物を補佐する秘書に必要な知識や技能について解説する。社会の急激な変化に伴い、秘書の求められる知識や技能は広範囲なものになっている。コミュニケーション能力やホスピタリティマインド、リスクマネジメントなど、事務職につく人はもちろん、航空、旅行、マスコミ関係などさまざまな職業に行かせる実務知識や常識が身につく。 企業とはどのようなところか、働く意味、などを分かりやすく解説する。ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、応用力を養える内容とする。学生自身のライフスタイル、キャリア構築に役立つものとしたい。</p>						
到達目標	企業社会の方向性を理解する。社会で活躍するために、どのような知識とスキルが必要かを学び、準備することができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書とは 2. 秘書とコミュニケーション I 3. 秘書とコミュニケーション II (グループディスカッション) 4. 人間関係 (グループディスカッション) 5. プロトコール 6. ホスピタリティ 7. コーポレート・ガバナンス 8. 働く目的 (グループディスカッション) 9. リスクマネジメント 10. 秘書のためのレファレンス 11. 経済・政治・地域に関する情報 12. 社会・文化に関する情報 13. 自己決定力(義務・権利・責任) (グループディスカッション) 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを読んでおく。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。</p>						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	筆記試験(70%)と平常点(30%)の総合評価。						
教科書	オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成、西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著 (中央経済社) ISBN978-4-502-39920-6						
参考書	<p>国際ビジネスのためのプロトコール、改訂版、寺西 千代子 著、有斐閣ビジネス、ISBN4-641-06913-1 全図解 日本のしくみ(政治・経済・司法編)、講談社インターナショナル(株)、ISBN4-7700-2726-5 伝説コンシェルジュが明かすプレミアム名おもてなし、前田 佳子 著、ダイヤモンド社、ISBN978-4-478-00043-4</p>						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語A/English in the Media A						
担当教員	J. Angel						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	English in the Media						
授業の概要	We will look at a few useful topics in the news including weather, headline news, entertainment and advertising. We will read news on the internet and watch TV news.						
到達目標	To improve students' ability to understand English in various media forms.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. The Weather 1 3. The Weather 2 4. News on the Net 1 5. News on the Net 2 6. News on TV 1 7. News on TV 2 8. Newscasts 9. Entertainment News 1 10. Entertainment News 2 11. Advertisements in the News 12. Talking about the News 13. Finding movie and concert times on the Net 14. Media Stereotypes 15. Entertainment Reports 						
授業外における学習（準備学習の内容）	Nothing						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based 30% on attendance and 70% on two presentations						
教科書	None						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語A/English in the Media A						
担当教員	川中 紀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画で学ぶコミュニケーションのための英語						
授業の概要	<p>映画で学ぶコミュニケーションのための英語</p> <p>映画『ゴースト：ニューヨークの幻』を見ながら、ナチュラル・スピードの英語の聞き取りに挑戦します。字幕なしで映画を見ることは、受講生にとって憧れの1つでしょう。この授業では、そのための第一歩として、やや高度な英語の聞き取りに挑戦します。</p> <p>英語圏に留学・旅行した際に、すぐに役に立つ会話表現を身につけるため、機能別に英語の表現を学び、英語コミュニケーション能力を養うことを目指します。</p> <p>また、英語のヒットソングを用いて、音声変化の法則を体系的に学び、聴き取る能力を向上させることも目標とします。メディアの英語A、Bは独立した科目ですが、できれば通年で履修すれば、留学など、実際に異文化間コミュニケーションが必要になった場合の英語力の向上に役に立つでしょう。</p>						
到達目標	字幕無しで映画を理解する力を身につけ、高度な英語の聴解力を養成すること。						
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション</p> <p>第2回：意見・感想を求める表現</p> <p>第3回：予定を尋ねる表現</p> <p>第4回：提案の表現</p> <p>第5回：勧誘の表現</p> <p>第6回：推量の表現</p> <p>第7回：伝達の表現</p> <p>第8回：謝罪の表現</p> <p>第9回：指摘・説明の表現</p> <p>第10回：挨拶の表現</p> <p>第11回：警告の表現</p> <p>第12回：別れの表現</p> <p>第13回：英語の音声変化の法則</p> <p>第14回：英語字幕の活用法・シャドーイングの活用法</p> <p>第15回：復習テストと前期のまとめ</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習、復習を十分にしておいて授業にのぞむこと。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	受講状況（出席・発表）を考慮に入れ、試験（8割）と課題（2割）の総合評価。						
教科書	<p>『ゴースト：ニューヨークの幻』角山輝彦 著（センゲージ ラーニング） ISBN 978-4-86312</p> <p>『ポップスで学ぶ総合英語（改訂新版）角山輝彦 著（成美堂）978-4-7919-3086-9</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語A/English in the Media A						
担当教員	川中 紀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画で学ぶコミュニケーションのための英語						
授業の概要	<p>映画で学ぶコミュニケーションのための英語</p> <p>映画『ゴースト：ニューヨークの幻』を見ながら、ナチュラル・スピードの英語の聞き取りに挑戦します。字幕なしで映画を見ることは、受講生にとって憧れの1つでしょう。この授業では、そのための第一歩として、やや高度な英語の聞き取りに挑戦します。</p> <p>英語圏に留学・旅行した際に、すぐに役に立つ会話表現を身につけるため、機能別に英語の表現を学び、英語コミュニケーション能力を養うことを目指します。</p> <p>また、英語のヒットソングを用いて、音声変化の法則を体系的に学び、聴き取る能力を向上させることも目標とします。メディアの英語A、Bは独立した科目ですが、できれば通年で履修すれば、留学など、実際に異文化間コミュニケーションが必要になった場合の英語力の向上に役に立つでしょう。</p>						
到達目標	字幕無しで映画を理解する力を身につけ、高度な英語の聴解力を養成すること。						
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション</p> <p>第2回：意見・感想を求める表現</p> <p>第3回：予定を尋ねる表現</p> <p>第4回：提案の表現</p> <p>第5回：勧誘の表現</p> <p>第6回：推量の表現</p> <p>第7回：伝達の表現</p> <p>第8回：謝罪の表現</p> <p>第9回：指摘・説明の表現</p> <p>第10回：挨拶の表現</p> <p>第11回：警告の表現</p> <p>第12回：別れの表現</p> <p>第13回：英語の音声変化の法則</p> <p>第14回：英語字幕の活用法・シャドーイングの活用法</p> <p>第15回：復習テストと前期のまとめ</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習、復習を十分にして授業にのぞむこと。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	受講状況（出席・発表）を考慮に入れ、試験（8割）と課題（2割）の総合評価。						
教科書	<p>『ゴースト：ニューヨークの幻』角山輝彦 著（センゲージ ラーニング） ISBN 978-4-86312</p> <p>『ポップスで学ぶ総合英語（改訂新版）角山輝彦 著（成美堂）978-4-7919-3086-9</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語B/English in the Media B						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	英国のテレビ・ドラマの英語						
授業の概要	<p>テレビ・ドラマの英語</p> <p>英国で実際に放送されたテレビ・ドラマを見て、ナチュラル・スピードの英語の聴解力を伸ばし、英語圏の文化についての理解を深めます。</p> <p>アメリカ英語が教材となることが多いですが、今回はイギリス英語とイギリス文化に焦点を当てます。字幕なしで映画やテレビドラマを楽しみたい、字幕翻訳者になりたい人にも適した授業です。</p>						
到達目標	ブリティッシュ・イングリッシュの聞き取りに習熟すること。						
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション、イギリス英語の特色とイギリス文化</p> <p>第2回：エピソード1、パート1-1</p> <p>第3回：エピソード1、パート1-2</p> <p>第4回：エピソード1、パート2-1</p> <p>第5回：エピソード1、パート2-2</p> <p>第6回：エピソード2、パート1-1</p> <p>第7回：エピソード2、パート1-2</p> <p>第8回：エピソード2、パート2-1</p> <p>第9回：エピソード2、パート2-2</p> <p>第10回：エピソード3、パート1-1</p> <p>第11回：エピソード3、パート1-2</p> <p>第12回：エピソード3、パート2-1</p> <p>第13回：エピソード3、パート2-2</p> <p>第14回：まとめと復習</p> <p>第15回：テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習と復習を十分にして授業にのぞむこと。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	出席状況を含む平常点を考慮に入れ、試験（8割）と課題（2割）の総合評価。						
教科書	『英国コメディで楽しむ総合英語』杉本豊久 著 金星堂						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語B/English in the Media B						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	英国のテレビ・ドラマの英語						
授業の概要	<p>テレビ・ドラマの英語</p> <p>英国で実際に放送されたテレビ・ドラマを見て、ナチュラル・スピードの英語の聴解力を伸ばし、英語圏の文化についての理解を深めます。</p> <p>アメリカ英語が教材となることが多いですが、今回はイギリス英語とイギリス文化に焦点を当てます。字幕なしで映画やテレビドラマを楽しみたい、字幕翻訳者になりたい人にも適した授業です。</p>						
到達目標	ブリティッシュ・イングリッシュの聞き取りに習熟すること。						
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション、イギリス英語の特色とイギリス文化</p> <p>第2回：エピソード1、パート1-1</p> <p>第3回：エピソード1、パート1-2</p> <p>第4回：エピソード1、パート2-1</p> <p>第5回：エピソード1、パート2-2</p> <p>第6回：エピソード2、パート1-1</p> <p>第7回：エピソード2、パート1-2</p> <p>第8回：エピソード2、パート2-1</p> <p>第9回：エピソード2、パート2-2</p> <p>第10回：エピソード3、パート1-1</p> <p>第11回：エピソード3、パート1-2</p> <p>第12回：エピソード3、パート2-1</p> <p>第13回：エピソード3、パート2-2</p> <p>第14回：まとめと復習</p> <p>第15回：テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習と復習を十分にして授業にのぞむこと。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	出席状況を含む平常点を考慮に入れ、試験（8割）と課題（2割）の総合評価。						
教科書	『英国コメディで楽しむ総合英語』杉本豊久 著 金星堂						
参考書							